

③花のSDGs～ウェルブローミング～ 花店と花流通の環境アクション活動



well-blooming
project

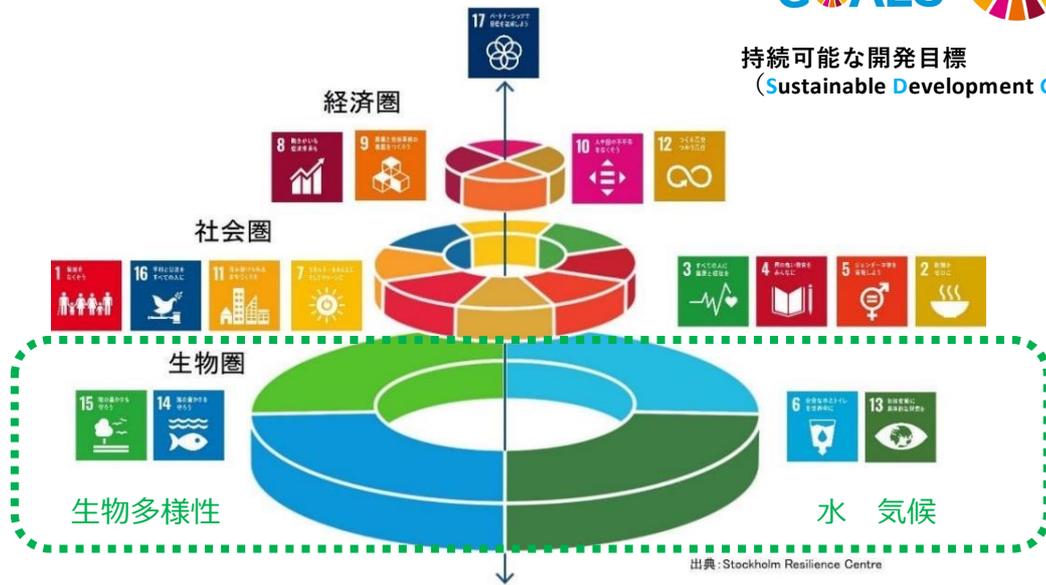
③ 花店と花流通の環境アクション活動

◆はじめに

SDGsの概念図「ウェディングケーキモデル」



持続可能な開発目標
(Sustainable Development Goals)



生物圏/自然資本の健全性が人間社会・経済活動の持続可能性の土台に

気候変動による農産物アラート



気候変動による影響の要因

- 気温の上昇は、野菜の生育を早め、収穫時期を前進させる。
- 気温の上昇、降水パターンの変化は、野菜の生育障害、品質の低下、収量の減少等をもたらす。
- 冬季の気温の上昇は、施設生産における燃料消費の減少が期待できる。夏季の高温は生産抑制、品質低下をもたらす。
- 大気中の二酸化炭素 (CO₂) 濃度の増加は、施肥効果として野菜の生育に影響を及ぼすことが想定される。

花きの場合、開花の前進・遅延や生育不良・障害を生じさせ、出荷時期の変化や収量・品質の低下をもたらす。

現在の状況

- 全国的に気候変動の影響が現れていることは明らかである。
- 露地野菜では、多種の品目で収穫期が早まる傾向があり、生育障害の発生頻度の増加等もみられる。
 - 葉菜類：生育不良や生理障害等
 - 果菜類：着果不良、生育不良等
 - 根菜類：生育不良や発芽不良等
- 施設生産では、冬季の気温上昇により燃料消費が減少するとの報告がある。
- **花きでは、高温による開花の前進・遅延や生育不良が報告されている。**

将来予測される影響

- 葉根菜類は、生育期間が比較的小さいため、栽培時期をずらすことで栽培そのものは継続可能な場合が多いと想定される。
- キャベツ、レタス等の葉菜類では、気温上昇による生育の早期化や栽培成立地域の北上、CO₂濃度の上昇による重さの増加が予測されている。
- 果菜類 (トマト、パプリカ) では気温上昇による果実の大きさや収量への影響が懸念される。

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆はじめに

プラスチック問題は地球の3重危機に直結



EUの最新情報：PPWRを施行へ (インパック様に教えていただきました)



2022年11月、欧州委員会は、EU域内の包装全般の廃棄物の削減等を目的に、**包装・包装廃棄物規則案 (PPWR: Packaging and Packaging Waste Regulation)** を提案。2024年3月、欧州委員会、EU理事会及び欧州議会は、トリログで本規則案に暫定合意。2024年4月の欧州議会本会議で暫定合意案を可決。今後、EU理事会で採択予定。

食品に限らず**全ての包装及び包装廃棄物が対象**

包装廃棄物削減に向け、以下の取組を強力に推進

- ① 廃棄削減 (prevention/avoiding waste)
- ② 再利用 (reuse)
- ③ リサイクル (recycling)

輸入品を含め、多くの規制が2030年より適用



出典：EU理事会HP
<https://www.consilium.europa.eu/en/policies/packaging/>

③ 花店と花流通の環境アクション活動

◆ well-blooming project キックオフ

well-blooming project のネーミングに込めた思い

well-blooming project は、

今も未来も、自然も人も
ウェルビーイングでサステイナブルに咲きつづけることを目指して、
花業界の皆で取り組むプロジェクト名です。



昨今、世界中で時代のキーワードとされる「**Well-being**」
（ウェルビーイング＝心身が健康で社会的にも満たされた幸福な状態）と
「**blooming**」（ブルーミング＝花が咲く、咲き誇る）を掛け合わせた言葉。

自然の恵みを享受している花業界だからこそ
環境問題にもまっすぐ向き合いながら、
持続可能、かつ人々の幸せに貢献する存在であり続けたい……！
と願いをこめて、命名されました。

well-blooming project の意義



花業界全体の
アクションの「プラットフォーム」に

#ビタミンFを語り
消費拡大したいなら
業界の環境対策は必須

はじめませんか？
『ウェルブルーミング』
よりよい未来のために
花業界の皆で
ひとつひとつ
私たちにできることから

本プロジェクトでは、

- 01 使い捨てをできるだけせずに、
素材の見直しや資源の循環を目指す「環境のこと」
- 02 花や植物がウェルビーイングに
どのように寄与するかを探り・伝える「#ビタミンF」

活動は両輪

当面この2大テーマに取り組んでいきたいと考えています。

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) well-blooming project キックオフ

国需協公式サイトに wbp 新規コーナー公開 (5/29)

URL : <https://homeuse-hana.jp/wellblooming/>

国産花き需要拡大推進協議会
Council for expanding demand for domestic flowers

日本全国「花のある暮らし」を広げる大作戦!



Flower ABC Workshop

well-blooming project

自然も、人も、健やかに。
花業界の環境アクション推進 & 花と緑の
暮らしの「#ビタミン」も広える活動
ウェルブルームングプロジェクトを起動!

目的・組織 | 令和4年度活動報告 | 令和5年度活動報告

もっと花のある暮らしを。花のホームユース需要拡大のために

well-blooming project (ウェルブルームングプロジェクト)

自然も、人も、健やかに。



well-blooming project

「サステナブル」と「ウェルビーイング」の2つを柱とする花業界のSDGs活動を、「well-blooming project (ウェルブルームングプロジェクト)」と総称し、花業界全体で「環境アクション」を推進していく、および、花や緑物が人間の「ウェルビーイング」に与える好影響を「#ビタミンF」(英語: flowerのF) という言葉とともに、社会に広めていくことを目指します。

業界内における互いの垣根を越えて、花業界全体、ひいては地球のために皆で学び、共に考えながらチャレンジしていこう! という本プロジェクトは、資材メーカーや運送業などを含むフラワービジネスにまつあらゆる業種の方々、さらには花店のお客様一人一人にもご理解・ご協力いただきながら、共に育てていく活動になります。いずれは本プロジェクトが当たり前のこととして定着し、10年後20年後の次世代に継げる花業界でいられるよう、仲間を増やしながら推進してまいります。

- 📄 ニュースリリース (2024年9月25日配信)
- 📄 ニュースリリース (2024年5月30日配信)
- 📄 ニュースリリース (2024年4月23日配信)

well-blooming project
参加店・参加企業専用ページ

店頭販促ツール (POP)・サイト用バナーのダウンロード、およびロゴ申請フォーム

エントリーフォーム (随時受付中)

「well-blooming project」に公式に参加いただくためには、エントリーフォームへのご登録が必要となります。

エントリーいただく…(2024年5月中旬～展開予定)

- ◆ ダウンロードツールのご提供
- ◆ 店頭用POPの雛形データ
- ◆ well-blooming project ロゴデータ申請書など
- ◆ 店頭用ステッカー提供
- ◆ 半期毎の活動レポート共有
- ◆ 国産花き需要拡大推進協議会などの公式サイトに
参加花店名・企業名の掲載

など、順次充実させます



well-blooming project

2024年、私たち
「#ビタミンF」は
「#ゼロハン」の使用を
推進することを目標します!

フラワーショップ〇〇

専用パスワード : wbp2024

well-blooming project 参加店・参加企業専用ページ

●ダウンロードツール

POP

■well-blooming project説明用POP

■環境アクション宣言用POP

■Sample POP

A3 [JPEG] > [PDF] >
A4 [JPEG] > [PDF] >
A5 [JPEG] > [PDF] >

A3 [POP] > [PDF] >
A4 [POP] > [PDF] >
A5 [POP] > [PDF] >

白店・自社で決めた「環境アクション」を記載し、お客様や社外への告知にご活用ください。

サイト用バナー

①

②

③

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) well-blooming project キックオフ
エントリー状況

4/25
6月環境月間に向けて
Zoom説明会開催

3月末現在、約400花店を含む110企業・団体が参画！

- 花店（大手チェーン）： 8社
- 花店（専門店）： 55社
- 資材メーカー・卸： 11社
- 市場： 10社
- 仲卸： 5社
- 生産者： 7社
- 輸出入商社・加工流通・
種苗会社・その他（NFD他）： 14社
- オフィシャルパートナー： MPSジャパン

卸売市場			
卸売市場	宮城	株式会社仙花	https://www.senkacity.jp/
卸売市場	東京	株式会社大田花き	https://otakaki.co.jp/
卸売市場	東京	株式会社東日本福寿花き	https://www.hik.co.jp/
卸売市場	東京	東京フラワーポート株式会社	https://www.tokyoflowerport.com
卸売市場	愛知	豊明花き株式会社	https://www.toyokake.or.jp/
卸売市場	愛知	株式会社名古屋花き	https://www.flonet.co.jp/
卸売市場	大阪	株式会社丹島福寿生花	http://www.h-kensei.jp/
卸売市場	広島	株式会社花満	https://hanaman.co.jp/
卸売市場	福岡	福岡花市場	https://www.fukuhana.jp/
卸売市場	大分	株式会社大分福寿花市場	https://www.oita-engei.co.jp/
仲卸			
仲卸	東京	株式会社フローラルコレクション	http://www.floral.co.jp/
仲卸	東京	株式会社大森花卉	https://www.comoriakki.jp/
仲卸	東京	株式会社プランツパートナー	https://plantspartner.co.jp/
仲卸	東京	はなどんやアンシエ	https://www.hanadonya.com/875.html
加工流通			
加工流通	東京	株式会社セントコーポレーション	https://zentoku.co.jp/
生産			
生産	宮城	神往ハナ園	https://www.instagram.com/kano_roses/
生産	千葉	新原園芸	http://oriharagenji.jp/
生産	栃木	エフエフヒライデ	https://ffhirade.biz/
生産	静岡	やぎバラ育種農園	https://yagirosebreedingfarm.com/
生産	愛知	ジャパンフラワードリーム	https://jd-mum.net/
生産	奈良	中川園芸	https://www.instagram.com/agriworth_/
生産	徳川	香花園	https://www.facebook.com/profile.php?id=100070059095186
種苗会社			
種苗会社	広島	イノチオ種苗株式会社	https://www.seikoen-kku.co.jp/

エントリー時の「環境アクション宣言」

エントリーに際し、各社様には「環境アクション宣言」をしていただく

1

プラスチック製ラッピング資材・容器を減らそう・なくそう・見直そう

- ラッピングのセロハンをできる限り減らす。
- ホームユースには、紙や自然素材に対応する。
- アレンジや鉢物の花器やリボンのプラ製を減らし、自然由来のアイテムに切り替えていく。
- バイオマス素材や再生プラスチック素材のものを積極的に使用する。



初年度
ほとんどの花店の目標はココ！

01 環境のこと

環境への負荷を減らすことは、地球をより住みやすい場所にするために必要です。花店からできることは、日々の業務の中でできることから始めていくことです。まずは、プラスチック製のラッピング資材・容器を見直し、減らそう・なくそう・見直そうを心がけてください。

02 プラスチック製のラッピング資材や容器の削減方法

削減方法として、紙や自然素材のラッピング資材・容器を使用すること、自然由来のアイテムに切り替えること、バイオマス素材や再生プラスチック素材のものを積極的に使用することなどが挙げられます。

03 環境にやさしい選択や行動を

環境にやさしい選択や行動をすることで、地球への負荷を減らすことができます。例えば、プラスチック製のラッピング資材・容器を減らすこと、自然由来のアイテムに切り替えること、バイオマス素材や再生プラスチック素材のものを積極的に使用することなどが挙げられます。

まずはやってみよう!

花屋さんの環境アクション

ひとつひとつの花束から変えていく well-blooming な未来へ

04 環境に配慮して生産されている花

環境に配慮して生産されている花を使用することで、地球への負荷を減らすことができます。例えば、プラスチック製のラッピング資材・容器を減らすこと、自然由来のアイテムに切り替えること、バイオマス素材や再生プラスチック素材のものを積極的に使用することなどが挙げられます。

05 地域の花店・花市場と協力してプラスチック資材の回収やリサイクル活動に参加しよう!

地域の花店・花市場と協力してプラスチック資材の回収やリサイクル活動に参加することで、地球への負荷を減らすことができます。例えば、プラスチック製のラッピング資材・容器を減らすこと、自然由来のアイテムに切り替えること、バイオマス素材や再生プラスチック素材のものを積極的に使用することなどが挙げられます。

③ 花店と花流通の環境アクション活動

各花店・各企業による環境アクション宣言 2025/6/30現在

【ご参照】2025/6/30時点 well-blooming project エントリー花店様・企業様の環境アクション宣言事例ご紹介

7. 業種	10. 所在地	12. 自店・自社の環境アクション	14. 本活動へのご意見・ご質問
小売（花専門店）	福島県福島市	これから検討します	
小売（花専門店）	東京都大田区	レジ袋が必要か確認をする。	
小売（花専門店）	長野県長野市	現在の使用している各種資材に関して、より環境に優しい資材に切り替えることを検討します。	
小売（花専門店）	茨城県つくば市	私達は切花処理時や花束アレンジ作成時に出る茎葉をゴミとして自治体へ出さず、畑に処理し土への循環を目指します	他店の取り組みを参考にアクションをさらに広げていきたいと思ひます
小売（花専門店）	広島県広島市	エコラッピング、なるべく環境に配慮した資材を使用	
小売（花専門店）	三重県津市	2024年、セロファン（oppフィルム）の使用を最小限にする。国産バイオマス「ライスレジン」製のレジ袋を使用し、プラスチックを減らす。必ず実行。	
小売（チェーン店）	東京都港区	環境に配慮された紙製の新しい器を使った新商品の販売。（6/1〜）MPS認証を取得されている産地さまとのフェア販売。（6月前半予定）	
小売（花専門店）	千葉県柏市	再生園芸資材アクアセルを使い、花のロス率低下、水量の削減、ゴミ削減を目指しております	
小売（花専門店）	三重県北牟婁郡	セロハンの使用を半減しています	
小売（花専門店）	福岡県北九州市	ラッピングなど、できる限り石油由来の資材を天然素材に変更し、セロハンなどの過剰包装を減らします。	
小売（チェーン店）	東京都港区	2024年、わたしたちはMPS認証の花フェアを開催し、環境に配慮して生産された花の販売をいたします。	
小売（花専門店）	北海道札幌市	1. お客様からのフラワーベースの回収と再利用。 2. フラワーフォームは生分解するエコフォームを使用。 3. セロファンの使用を抑え、使用する場合も生分解するタイプへと徐々に変更。 すべてを一気に変えるのは無理ですが、少しずつ取り組んでいきます。	中々理解はしていても行動に移すににくい活動ではありますが、根拠よく、そして長く続けてほしいと思ひます。ウェルブローミングがフラワーアレンジメントの様に、メディアで何度もご紹介して頂けるよう頑張りますよ。
小売（花専門店）	千葉県船橋市	吸水性スポンジを使わない花留めの提案をします。	
小売（花専門店）	三重県桑名市	2024年、わたしたちは、「セロハン」の使用を減らし、ギフトラッピングには「紙素材のリボン」を取り入れ、プラスチックを減らすことを目指します。	
小売（花専門店）	青森県青森市	私たちは、ラッピング資材としてのセロハン使用を極力、別の素材へ移行させ、プラスチックを減らすことを目指します。	まだまだ勉強中ですが、自分だけの学びではなく、店のスタッフと一緒に取り組み、実行していきたいと思ひています。何卒よろしくお願ひします。
小売（花専門店）	秋田県大館市	開店祝い等で回収した胡蝶蘭、花鉢の容器、または自社で廃棄した容器は生産者へ返還し、リサイクルからプラスチック削減へ繋げます。	
小売（花専門店）	千葉県市原市	・吸水性スポンジをしっかりと乾かして潰して捨てる ・ごみ処理業者と打ち合わせて減らす方法を模索する ・アレンジバッグを紙製に変更する打ち合わせを始める	
小売（花専門店）	鳥取県八頭郡	プロジェクト参加をきっかけに、ギフト商品に必ず行っていたセロハンラッピングを減らしていきます。また、スーパーで販売するバック花に使用するセロハンストリップの再利用を模索し、プラごみ削減を目指します。	地球の未来につながる素晴らしいプロジェクトにお誘ひいただきありがとうございます。この活動はお店でも経費の削減にも繋がりますし（セロハン）拡大したくないこと無いじゃないかと、思ひながらもいけれど…小さなことからコツコツと…です！たくさんのお店さんが賛同し、ご一緒できることを祈っております。当方も初の試み、ラッピング方法の変更やお客様への活動の周知など課題は多いので、また、アドバイスなど頂けたら幸いです。
小売（花専門店）	岐阜県大垣市	2024年、わたしたちは、「セロハン」の使用を半減し、プラスチックを減らすことを目指します。	よろしくお願ひします！
小売（園芸店）	千葉県流山市	装飾で一時的に利用した植物たちを自社温室で養生メンテナンスし、新しいオーナーに植物の命を繋げていく植物の二次利用、セカンドハンド販布に取り組みます。	
小売（花専門店）	愛知県尾張旭市	私たちは環境を配慮し再利用可能な素材を活用した包装や容器の導入を目指します。	
小売（チェーン店）	東京都目黒区	長持ちが環境配慮に直結するかわかりませんが、鮮度保持素材の包材や、MPSに認証を受けた工場での花束加工の戻りを行っています。6月には間に合いませんが、パッケージフラワーなどの包材を環境配慮型の素材に切り替えていきたい。	未来のために、是非取り組んでいくべきと考えている方は非常に多いと思ひます。一方で具体的なアクションに繋がっていく内容がなかなか難しく、またコストアップにつながる部分から判断を躊躇ってしまう、エントリーに躊躇している方もいらっしゃるのかなと思ひます。取組みやすい具体的な事例は是非引き続き情報として共有いただけたら助かります。
小売（花専門店）	福岡県那珂川市	バック花（スーパーさんでの置き花）のセロファンの回収BOXを売り場に設けリサイクルに努めます。自店では花束、アークラッピング方法を見直し、セロファンの使用を減らします。	
小売（花専門店）	神奈川県藤野市	セロハン減らします！	
小売（花専門店）	山形県鶴岡市	私たちはプラスチック容器の回収を行い、リデュース・リユース・リサイクルに取り組みます。	SDGsは自社で取り巻くものがあるのか分からなかった時に、ウェルブローミングプロジェクトを通じてお知りやすくなり提示されたのでありがたかったです。今回の取り組みを交わりに、奮闘を交えていければと思ひます。先陣で旗を振ることは出来なくても、同じ向きを向いて進んでいきます！
小売（チェーン店）	奈良県橿原市	新しいショップを環境に配慮した生分解性素材で開発を進めます。	よろしくお願ひいたします。
小売（花専門店）	広島県広島市	2024年、私たちは、 ①包装紙・セロハン・袋などの過剰使用を低減します ②環境にやさしい資材を導入します ③流通資材をリサイクル・リユースします 大切な最初の1歩を確実に行動に移し、近い未来の成功をイメージしながら日々の取組を継続させていきます	
小売（チェーン店）	東京都大田区	2024年、私たち「○○○」のフラワーショップ各店では、「セロハン」の使用を半減し、プラスチックを減らすことを目指します。	
小売（花専門店）	島根県出雲市	「セロハン」の使用を半減し、プラスチックを減らすことを目指します。	
小売（花専門店）	山口県光市	アレンジの容器は紙製、木製に切り替え申す。また、ビタミワークショップと題して、切り花の扱い方を説明しながら簡単に生活に取り入れるためのアイデアを提供しています。	

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) 各花店・各企業による環境アクション宣言

色付きセル
2025/1以降の
エントリー

小売 (花専門店)	大分県中津市	<ul style="list-style-type: none"> ・「切花ゴミの増悪化」地域業者と調査・研究を行う。 ・「つくる責任、つかう責任」引き続き、割ラッピングやゼロハンの不利用の取り組みについて、お客様に理解頂けるよう働きかける。 ・「カーボンニュートラルに向けて」社用車のEV化・「企業の資源化」産業廃棄物の一部を分別し、一般廃棄物と同様資源の再利用ができるよう行政と再度調査・研究を行う。 ＊廃プラ (PETボトル、ラッピング資材、仕入れ時付属プラ等) ＊紙屑 (ラッピング資材等@段ボールは資源化済み) ＊金属類 (空き缶等) 他 	<p>(廃棄)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「資源の資源化」産業廃棄物の一部を分別し、一般廃棄物と同様資源の再利用ができるよう行政と再度調査・研究を行う。 ＊廃プラ (PETボトル、ラッピング資材、仕入れ時付属プラ等) ＊紙屑 (ラッピング資材等@段ボールは資源化済み) ＊金属類 (空き缶等) 他
小売 (花専門店)	東京都葛飾区	ビニール袋の削減	
小売 (花専門店)	滋賀県多賀城市	OPゼロハンとプラスチックお買い物の使用削減	
小売 (花専門店)	静岡県熱海市	<ul style="list-style-type: none"> ・配達ルートへの工夫 (ガソリンの節約) なるべく到着指定受を減らすことで、地域でまとめてお届けする。事前準備で忘れ物を減らす。 ・ゼロファンラッピングを減らす (プラスチック使用を減らす) 「本当にそのラッピングが必要ですか？」を言葉に紙で良いものは紙に、過剰包装を避ける 	
小売 (花専門店)	東京都渋谷区	<ul style="list-style-type: none"> ゼロファンの使用を減らす 不織布のペーパーから紙素材のペーパーへ移行する リポソムラファイア素材のものを強力使用する 店内のメモ帳、FAX用紙は買わない、使用後の紙類を使う 生け込み等、花の持運びは新聞紙を使う 検査エンジンには「ECOSIA」(検索サーチエンジン)使用 	<p>プラスチックは、天然、継続的に使用も生産も減少せず、完全リコース、リサイクルへの移行が最終的に必要不可欠だと思っていますが、素材のバイオマスマークの製造を生産する事の、リソース、リサイクルを回す利便は向かい知っています。ようい意識の面で、結局分別せずに燃えるゴミで捨てるから、その負荷をせめて軽減しようという事なのか、</p> <p>自治体によっては、リサイクルの仕組みが整っていないから結局燃やすゴミにせざる負えない現状があるからという事なのか、とても知りたいです。バイオマスマークの製品は素晴らしい取組だと思いますが、「生産」をあと押しするのは本意ではないと感じています。</p>
小売 (花専門店)	静岡県三島市	2024年、わたしたちは、「ゼロハン」の使用を半減し、プラスチックを減らすことを目指します。	
小売 (花専門店)	大阪府大阪市	2nd Flower という取り組みを以前より行っております。店舗でのロスフラワーをドライフラワーとして再生、そのまま束ねてブーケとして販売を行ったり、ワークショップを開催したり、市販のドライフラワーやプザーブドフラワーに混ぜて商品として再生させる取り組みを百貨店などと共同して行っております。	<p>私どもの業界以外にもこの活動に興味を持たれていると日々感じています。ワークショップ開催時にもなるべくビニール製の包装紙などを使用せずに準備がないよう意識しておりますが、商品と比べるとやはり多少の差が生じてしまうのが寂しいかなと思います。ただでなくこの活動全体をみずみまで推進して行うにはどのようにすれば良いか、良いアイデアあればご教示します！</p>
小売 (花専門店)	愛知県名古屋市	2024年、私たちはプラスチックを減らし、再生可能な資材を多く使用していきます。	
小売 (花専門店)	北海道釧路市	<ul style="list-style-type: none"> ・花束のラッピングにアルミホイルを使用しない ・オアシスを使用しないスタンディングブーケの花飾りを提案 ・オアシスをプレミアムエコに変更 ・アレンジに使用した器を引き取る ・自宅用の花を包む持ち帰りの包装を新聞紙に 	
小売 (花専門店)	滋賀県栗東市	エコロジー資材や商品など、積極的に利用しプラスチックを減らす努力をする	
小売 (花専門店)	千葉県香取市	エコバックなどの、お手持ちの持ち帰り袋をなるべくご利用いただけます。再配達ゼロを目指し、御在宅確認のTELにご協力いただいております。	
小売 (花専門店)	広島県広島市	わたしたちは、ゼロハン及び持ち帰り用袋の仕様を半減し、プラスチックを減らすことを目指します。	
小売 (花専門店)	広島県広島市	2024年、わたしたちは、「ゼロハン」の使用を半減し、プラスチックを減らすことを目指します。	
小売 (花専門店)	秋田県秋田市	当店は、ゼロハンの使用を30%減らすこと、バスケットやプラスチックのアレンジ用入れ物をお客様から持ち込み (使用済み可) していただいて、リサイクル出来る環境をもっと進めたいことを目指します。	<p>一つの例として、大手の花屋がゼロハンを掲げないで待っていてアレンジはお客様は納得するが、小さな花屋がゼロハンをしていかないのは不満があるらしい、特に私どもも得意は、つまり、なにをするにも大手が関わって来なければ広がらないことだと思うので、大きな店舗や組織に働きかけをお願いしたい。</p>
小売 (花専門店)	埼玉県熊谷市	頑張ります！	
小売 (花専門店)	東京都中央区	ゼロハンの使用を削減することを目標とします。	
小売 (花専門店)	東京都品川区	当店でオアシス使用量を30%削減し、更に全てのオアシスを環境配慮型のエコオアシスに切り替えます。	
小売 (花専門店)	東京都千代田区	当店で環境に配慮し、ゼロハン・プラスチック製品の使用を減らす努力をしています	
小売 (花専門店)	滋賀県仙石市	2024年、私たちは、「自然に花が美しく咲く環境を維持していく」ために、リサイクル・リソースでの資源の有効活用、廃棄物の削減を推進して環境への負荷を軽減していきます。	
小売 (花専門店)	大阪府豊中市	<p>環境問題…即！当たり前に使っていた物を使用出来ない…は、現時点で、若干の無理があり…販売側も、一般ユーザーも、戸惑います。なので、環境問題を発信し続けて…分別意識を高めるために…対人販売時に店舗側が、お客様に環境問題を発信して、ゼロハンから紙巻きにして…ゼロハン回収&リサイクルからスタートしたいです。</p> <p>そして、店舗では…業者ゴミで出しているので、全てごちゃ混ぜでゴミを出してしまいましたが…分別するように！指示しました。</p>	<p>協力ながら、環境問題一取組む事を約束します！</p>
小売 (花専門店)	群馬県太田市	2024年、私たちは花のラッピングを不織布から紙資材に順次移行していき、環境負荷の低減を目指します。	
小売 (花専門店)	埼玉県川越市	当店で、環境に配慮した素材の持ち帰り袋の配布やラッピング資材などもこだわり、地域にやさしい花屋を目指します。	
2025年1月以降のエントリー			
小売 (花専門店)	静岡県富士市	OPPフィルム廃止	
小売 (花専門店)	静岡県静岡市	ゼロハン使用ゼロを目指します	
小売 (花専門店)	静岡県三島市	商品に対し、まずはOPP,PP素材の使用を強力使用しない方針で検討始め、実行に移す。そのためエコ資材で何が環境負荷軽減に寄与出来るか資材業者様とも情報交換を密にします。	
小売 (花専門店)	静岡県田方郡	わたしたちは、ゼロハンの使用減とコンポストによる切り花ごみの再利用を目指します。	
小売 (チェーン店)	東京都品川区	OPPの軽減、簡易包装の推進	
小売 (スーパー)	鳥取県米子市	わたしたちは、引き続き、過剰包装の禁止やゼロハンから紙のラッピングへ切り替えていきます。	
小売 (オンライン)	東京都杉並区	<ul style="list-style-type: none"> 事前オーダーによる制作により、過剰に仕入れない キーパー (冷蔵庫) を使わない 店舗を構えず、オンラインによるオーダーでリピート顧客をつくるSNSの積極活用 ロスフラワーによる2次製品の開発は検討中です 	<p>日々の業務をこなすだけになってしまい、環境への取り組みを他の方々がどのように工夫しているか、共有出来たら、大きな意識の変化になると思います。</p>

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) 各花店・各企業による環境アクション宣言

色付きセル
2025/1以降の
エントリー

小売 (チェーン店)	東京都千代田区	2025年、まずはオアシス商品を20%減を目指します (特に母の日など多く販売するメイン商品開発を強化する) またアレンジに使用する器は紙や天然素材を増やします 店舗でのロスフラワーを使いリメイク商品開発をします (キャンドル、サシェ、バスソルト、バンドルタイなど)	本活動を通じて自身の理解を深めて未来に繋がる取り組みをしたいと考えています 御願いいたします。
小売 (花専門店)	東京都世田谷区	2025年、私たちはゼロファンを使用したラッピングを半減し、ラッピングを見直します。石油資源の使用量・廃棄量が削減できるペーパー利用にスライドしていきます。使用済みのプラスチックを焼却する際に発生する温室効果ガスの抑制に貢献します。	
小売 (花専門店)	東京都目黒区	スタンド花には弊社で開発したダンボール製フラワースタンド「フラダンボ」を使用し、「地域に優しい贈り花」にする。花束などにもゼロファン、リボンは使用せず環境に配慮する。アクアセル、シリットを使用し、ロスフラワーを削減する。	“大変意義のある活動をされていて興味深いです。 色々勉強させていただきたいです。”
小売 (花専門店)	宮城県仙台市	2025年 私たちは、持続可能な社会を目指し、環境アクションに対しての意識を持ちながら、お客様にきれいなお花を提供して参ります。 主な取組：環境にやさしい資材を積極的に利用する、ゼロファンの使用を減らす	
小売 (花専門店)	宮城県仙台市	2025年 私たちは、持続可能な社会を目指し、環境アクションに対しての意識を持ちながら、お客様にきれいなお花を提供して参ります。 主な取組：環境にやさしい資材を積極的に利用する、ゼロファンの使用を減らす	
小売 (オンライン)	東京都世田谷区	廃棄ロスの削減/生花からドライにすることで花の寿命を延ばす 余ったドライフラワーや緑材をリメイクし、新たな作品やワークショップを展開 サステナブルなメッセージの発信。環境に配慮しながらも、インテリアとして楽しめる提案をし続ける発信をしていきます。	いつも素敵な活動拝見してます！ 小さいですが、少しでもお力になればと思います！
小売 (無店舗)	千葉県船橋市	取り扱い資材を見直し、ゼロハンの使用率は少しずつですが削減できました。今後も継続していきます。また、ご自宅用のお花に関しては新聞紙や紙類を使用してお持ち帰りいただくなど、小さなアクションも取り入れています。その他にも小さな店舗でも今すぐ始められる取り組みをしたらいいなと思っています。	紙のトリエfacebookページの投稿を拝見し、ご応募させていただきました。
小売 (花専門店)	千葉県松戸市	今月はロスを極力減らすようフラワーギフトなどは事前のご予算に協力していただき、仕入れの調整をいたします。また、花苗を植え替える季節です！高齢の方などには、新しく寄せ植えを販売するのではなく、自宅にあるプランターや植木鉢にこちらが手数料をいただき植え替えてお届けもいたします	花業界が、産業廃棄物を減らす今後、どのような取り組みを考えているのか、一緒に考えていきたいです。
小売 (花専門店)	愛知県大府市	2025年にはエコ資材を利用しての花束やアレンジフラワーの制作心がけて、危険なゴミの量を減らします	ロスフラワーの取り扱いはなされるのでしょうか？

1. 業種	1.0. 所在地	1.2. 自・自社の環境アクション	1.4. 本活動へのご意見・ご質問
製造業	東京都新宿区	リサイクル素材を原材料に使用した、アーティフィシャルフラワー&グリーン「○○○」シリーズや、フラワー資材「○○○」シリーズなど、環境に配慮した製品の開発に取り組んでいます	
製造業	東京都大和市	私たちは環境にやさしい商品の開発と販売を促進します。既プラスチックの取り組みとして、植物由来の原料の使用や紙素材の商品のラインナップを充実させるなど環境にやさしい商品の提供に積極的に取り組んでまいります。	
製造業	東京都港区	今年創立70周年を記念し、「70th アンバーサリーブフラワーデザインコンペティション」を実施します。継続中のサステナブルな取り組みの一環として、環境配慮型製品「○○○」を使用し、「エコなフラワーデザイン」を募集します。	
製造業	大阪府東大阪市	原材料の一部にパンパルパウダー、トモロコシパウダーを使ったコンポートをはじめ、地球環境にやさしい商品の販売や、同じ用途の商品では、リサイクル推奨マークの付いた80%リサイクルPET製商品をご紹介します。出来ることからコツコツと取り組みます。	
製造業	東京都新宿区	当社の環境保全への取り組みや環境に配慮した商品を、積極的にアピールしていきます。	
製造業	神奈川県横浜市	2024年、わたしたちは容器に使用しているプラスチックの削減を目指します。	
製造業	東京都台東区	軽包装資材における、主に使い捨てられるワンウェイ包装資材を可能な限り単一素材化、環境負荷の少ない加工、リサイクル素材由来またはリサイクル可能な仕様の提供ができるように提案致します。 また、資材その他の残棄物のリサイクル材への活用を目指します。	
製造業	東京都台東区	本年度、当社は、一部の製品について原材料への再生ポリエステル使用率の向上、リボン製造時に排出される端材の再利用等を積極的に進めてまいります	環境問題は、もはや待ったなしの状況にあります。私たちも決して他人ごととすることなく、可能な限り当活動を推進していきたいと考えております。
製造業	大阪府大府市	私たちは、ギフトラッピングの資材を企画開発をしております。環境に配慮した素材を取り入れた商品の開発も取り組んでおりますが、素材以外にリユースしてご利用いただけることも念頭に置いて企画をしております。捨てずにとっておくことも環境に配慮した取り組みだととらえて企画を進めていきます。	
製造業	東京都港区 (大塚府)	今後の取り組みとして、リサイクルしやすいPET素材のベースを幅広く展開していく予定です。リサイクルが容易な単一素材という特性を生かし、仕組み構築や再生素材で製品開発に取り組んでいけたらと思います。	社会全体においてSDGsという意識は認知されているものの、まだまだ日本では本質的な理解や実践は自分もふくめて取り進めていない現状であると思います。本活動を通じて、自身の理解を深めるとともに、業界での取り組みの浸透に寄与できれば幸いです。今後とも発信よろしくお願ひ申し上げます。
製造業	神奈川県横浜市	弊社は、環境にやさしいリサイクル素材を使用した造花を開発展開しています。100%リサイクルされたポリエステル、再資源化されたプラスチックを原材料に配合した通常商品より環境負荷を軽減したコレクションを展開しています。	
製造業	東京都世田谷区	環境に配慮し、プラ、ワイヤーなどを使用しない資材を取り扱っており、今まで以上に販促PRを展示会等で強化する。	
2025年1月以降のエントリー			
製造業	愛知県名古屋市中区	2024年環境に配慮したフラワーリースの市場流通に注力、2025年はフラワーロスイベントを先導していきます	STOP! フラワーロス撲滅書2025.pdf

1. 業種	1.0. 所在地	1.2. 自・自社の環境アクション	1.4. 本活動へのご意見・ご質問
卸売市場	東京都板橋区	市場から出る廃棄物の再資源化を検討。 6月に環境認証である「MPS」の特別競りレーンを設置。	
卸売市場	愛知県豊明市	私たちは繁忙期後のプラスチックトレーを回収しリユースする取り組みを行います。この取り組みは毎年で行っています。	花き業界のみならずこの取り組みが様々な業種に対する意識の向上に繋がると幸いです。
卸売市場	宮城県仙台市	プロジェクトチームを作る	よろしくお願ひ致します。
卸売市場	広島県広島市	現在、プラスチックトレー、バケツのリユースには取り組んでいますが、その他の製品、素材についての再生、再利用等にも可能なことから取組み、資源、環境に関する意識を高めてまいります。	

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) 各花店・各企業による環境アクション宣言

色付きセル
2025/1以降の
エントリー

卸売市場	東京都大田区	市場におけるダマの回収から、水平リサイクルに繋げるチャレンジをしています。前年度より電気使用量を5%削減します。市場に到着するトラック・自動車のアイドリングストップを呼びかけます。買参人にwell-bloomingプロジェクトへの参加を呼びかけます。	
卸売市場	東京都江戸川区	可燃物や不燃物、プラごみなどの重量計量実証実験に参加します。	
卸売市場	福岡県福岡市	当市場は、花商様とともに、輸送時に不要になった段ボール、古紙、トレーなどを回収、再利用、再資源化に取組む、市場内や室内の温度調整の節電に取り組めます。	
卸売市場	大阪府豊中市	私達は、卸売市場という立場からできる限り社会の課題に向き合い、業者様から消費者様へ新しい価値を提供するため、そして私達市場も日々成長するため、SDGsへの取り組みを行っております。	
卸売市場	大分県大分市	使用済みのトレー、バケツを市場が回収しリユースする取り組みをします。	
卸売市場	東京都京都市	2024年、私たちは、商品提供までのリードタイム短縮と温度・品質管理を徹底することで、花の鮮度・日持ち性を向上させアラウワスの低減を目指します。	当社でもSDGs宣言を致しておりますが、花き業界において何が求められているか、また皆様どのような活動を行ってられるか情報の集約と発信を行って頂ければ、当社としてもよりお役に立てるか存じます。宜しくお願い致します。
仲卸	東京都世田谷区	・紙資源の廃棄リスクを軽減するように努めています。 ・再利用出来る資源や資材を積極的に業務に取り入れています。	当社はwell-blooming projectに共感しました。様々な活動を通して業界に貢献するとともに、これからの時代に向けて多くの方に知ってほしいコンテンツです。
仲卸	東京都大田区	現在、店舗で販売するお花に使用するスリーブやゼロハンの使用を以前の20%ほど減らしています。2023年度までに50%削減を目標に掲げました。	大きな数になると良いですね(1)
仲卸	東京都大田区	店舗のお花 NOスリーブ NOゼロハン ビニール、プラスチックゴミをお客様のところで出しません!	
仲卸	埼玉県和光市	おそくなりましてすみません。	
2025年1月以降のエントリー			
仲卸	宮城県仙台市	店内のバケツは自社洗浄してリユースを徹底。できる限り花の廃棄を減らします。スリーブなど包装用プラスチックの量をできるだけ減らしていきます。	

7. 業種	1.0. 所在地	1.2. 自店・自社の環境アクション	1.4. 本活動へのご意見・ご質問
加工流通	東京都大田区	納品、流通させる段ボールを削減し、薄い箱を使用する事で、今まで使っていた段ボールを出来る限り無くしていく。	

7. 業種	1.0. 所在地	1.2. 自店・自社の環境アクション	1.4. 本活動へのご意見・ご質問
生産	東京都足利郡	しいたけ農家さんの使用した土をいただいて6ヶ月かけて堆肥にして再利用予定。	
生産	栃木県宇都宮市	施設園芸農家としては、冷房などを導入し、花を届ける努力をしています。一方で、これらの技術にもエネルギーが必要であるため、土壌汚染などを負荷の少ないものに変更するなどして、使用するエネルギー使用量を減らしながらも、花の生産を継続する努力をしています。	
生産	千葉県南房総市	国際花き栽培認証であるMPSに参加し、農薬、水、燃料、電気などの使用量を日々記載し軽減する努力を行っています。花市場へ出荷する容器も、使い捨てではなくリターナブルである「LFBバケツ」の利用を増やし環境アクションに取り組んでいます。スタッフ皆が働きやすい環境を整えられるよう努めています。	
生産	東京都厚木市	MPS認証 出荷箱の二次利用	
生産	神奈川県横浜市	私たちは、環境を意識し、農薬使用量の削減や水資源の保全を進めながら、カーネーションの品質向上に努めます。また、自社の植物残渣をたい肥化することで、自社と地域の循環型農業を推進します。加温や冷房のエネルギー効率を改善し、化石燃料の削減にも取り組むことで、持続可能な農業を目指します。	
生産	静岡県菊川市	出荷資材の見直しをおこない、プラスチックの削減をめざします。	
生産	東京都昭島市	自社販売の出荷箱のテープ類を俗に言う自然由来なものへ変更。(市場出荷分も変更中) 花束用のラッピングも以前からゼロハンの使用は見た目の流儀的にも省いていたが、ペーパー自体も紙っぽい素材に変更しました。 生産面での取り組みとしては、バラ生産温室でのエネルギー消費が大きい分、遊休農地を使用した露地での核や草花栽培を拡大し、こちらではCO2の吸収が出来るように努めています。まだ計算等はしてないのですが、なるべく当回事業全体でCO2収支はプラマイ0くらいにはしたいと思っています。	

7. 業種	1.0. 所在地	1.2. 自店・自社の環境アクション	1.4. 本活動へのご意見・ご質問
販売会社	広島県府中市	苗やカタログなど出荷の際、環境負荷低減に資する環境マーク付き資材を使用します。	

7. 業種	1.0. 所在地	1.2. 自店・自社の環境アクション	1.4. 本活動へのご意見・ご質問
その他	長野県千曲市	〇〇〇は石油由来の素材を使用しないので、海洋マイクロプラスチック問題の低減に繋がります。プラスチックの容器から〇〇〇に置き換えていただくことで貢献につながるので、その普及活動をしています。	本道の委託で業界一歩先のプロジェクトとして動いていくには、色んな規制やルールは取らなければならないと思いますが、その辺は柔軟に対応していただけたら、より目的達成に近づけると思っています。
その他	東京都世田谷区	押し花は、花の命を永遠のものにかえる事ができます。自分で育てた愛おしい花、贈られた大切な花、思い出が詰まった唯一の花など、どんな花も枯れて無くなるものという意識を案え、押し花がある日常の豊かさを伝えていくことを目指します。	
その他	東京都港区	・事業運営に係る電気使用量(電灯・エアコン)、紙の使用量削減など環境に配慮した運営を行います。 ・1,100店舗の加盟店の活動への参画を招致し、多くの加盟店と共に、花店の環境アクションと花の効果効用を広げる活動を行います。	6月の環境月間としての環境宣言として進めますが、今後、更にインターフローなどの情報と本プロジェクトの情報を含め、花店としての環境への取組、花の効果効用の消費家への周知など、順次進めていきますので、共有させていただきます。
その他	東京都国立市	自サイトにて、花定期便や花のオンラインショップを紹介しています。令和6年6月の「環境月間」では、環境に配慮した花の配達や梱包、選別を行うサービスを徹底し、特集記事を作成・公開します。	
その他	東京都港区	GREEN×EXPO2027開催1,000日前イベントに参画し、規格外のエキゾチックな花々や、リサイクル素材を活用したワークショップ「アップサイクルに挑戦! フローラルアタセサリづくり」を開催。	
その他	東京都世田谷区	人工的な副素材(プラスチックなど)を多く用いた花装飾ではなく、花・植物そのものの姿を活かしたフローラルデザインをクライアントへご提案、実施します。	
その他	大阪府大阪市	弊社は対面ではなく配達でのお届けが主になりますので簡易ラッピングの説明をリーフレットにして同梱していきたいと思っています。	
2025年1月以降のエントリー			
その他	東京都杉並区	2025年 当スタジオでは「ゼロハン」の使用を半減し、プラスチックを減らす事を目指します。	・・・2005年から、アレンジメントが変わって、ブーケを中心にしています。現場からでもフローラルフォームの使用を減らす様にしています。ウェルブルームプロジェクトの活動を知り、共感いたしました。今年さらさらラッピング資材の見直しをしたいと目標を掲げることになりました。

③ 花店と花流通の環境アクション活動

well-blooming project 参加表明ステッカー



↑ 花店の店頭

↑ 市場の入口

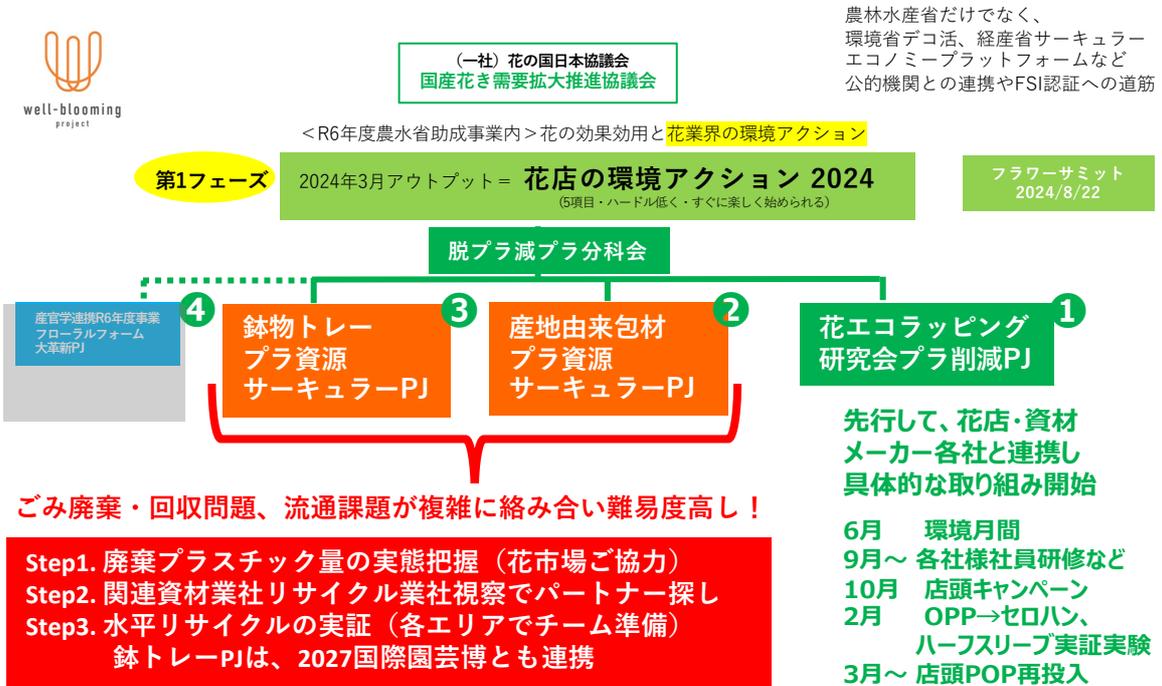
③ 花店と花流通の環境アクション活動

業界向け啓発冊子

啓発冊子・花エコ資材カタログ／雑誌『フローリスト』連載 2024年6月号～2025年4月号



◆3つの脱プラ減プラ分科会活動（2023年準備・2024年～本格稼働）



③ 花店と花流通の環境アクション活動

分科会①

花エコラッピング研究会 プラスチック削減PJ

SDGs目標12「つくる責任、つかう責任」



限りある地球の資源を守るため、物の作り方・売り方（買い方）・使い方を**変革**、**持続可能な生産と消費のバランスを形成**する



製造・消費それぞれの段階で発生する**廃棄物の発生抑制の徹底、再利用・再生利用の促進**により、**持続可能な生産消費形態を確保**



③ 花店と花流通の環境アクション活動

花店からお客様の手に渡るプラ製品や、花店のごみの様子



消費者の手元でプラごみに
ラッピング資材 (セロハンなど)
袋、リボン、ピック
フローラルフォーム
プラ鉢、花器
アクリルケース などなど



「3R+Renewable」環境アクションの優先順位

現場で見聞きた、花業界でごみになっているプラスチック製品

**市場・花店で
ごみになる
プラスチックの例**

- 鉢物栽培トレー
- PPバンド
- 種まきカップ (グルマ)
- 産物由来スリッパ
- など

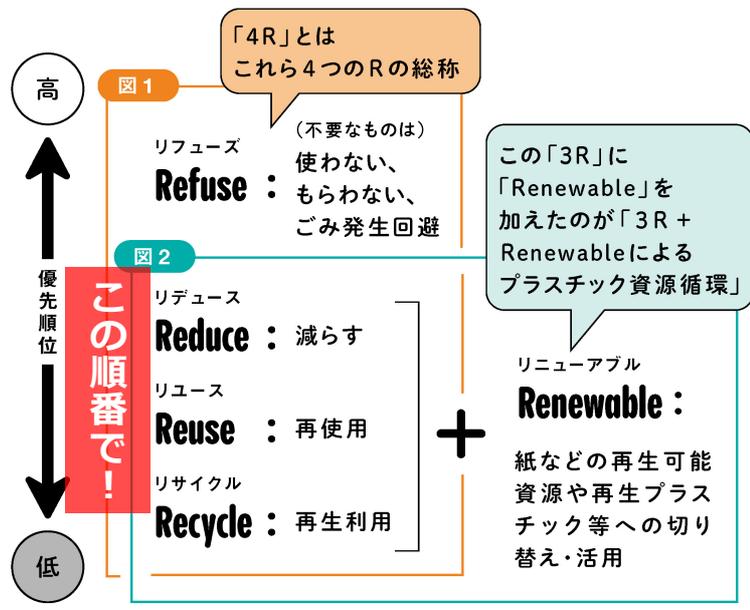
**お客様の手元で
ごみになる
プラスチックの例**

- 商品と一緒の
付いたままの
サリタには不
燃なプラスチック
- セロハン (OPPフィルム)
- フローラルフォーム (発泡性スポンジ)
- アクリル製
の容器
- などタース機

「容器」と「包装」。花屋さんからお客様に渡るラッピング資材は、「容器包装リサイクル法」の対象アイテムです！

Check!

国上り製品(日本)において廃棄物の最終処分場が満杯化する中、容器や包装にまつ「ごみ」を「資源」として取り戻すために、「容器包装リサイクル法」という法律があります。消費者、自治体、事業者すべての人が相互に協力し、持続可能な社会を目指します。



③ 花店と花流通の環境アクション活動

◆6月環境月間「well-blooming project」推進！

ニュースリリース第二弾配信（5/30）

PRTIMES : <https://prtmes.jp/main/html/rd/p/00000026.000054763.html>

NEWS RELEASE



報道関係者各位

2024年5月30日
一般社団法人 花の国日本協議会

自然も、人も、健やかに。
花業界初、「環境アクション」&「#ビタミンF」を伝える活動
ウェルブローミングプロジェクト

6月環境月間から全国約300の花店で
「well-blooming project」推進！
環境アクション宣言 & 実行スタート

<https://homeuse-hana.jp/wellblooming/>

一般社団法人花の国日本協議会（東京都港区・理事長 井上英明、以下花の国日本協議会）は、農林水産省「持続的生産強化対策事業のうちジャパンフラワー強化プロジェクト推進」の助成支援を受けて、事務局をつとめる「国産花き需要拡大推進協議会」の活動の中で、令和5年度より準備をしてきました「サステナブル」と「ウェルビーイング」の2つを柱とする花業界のSDGs活動を「well-blooming project（ウェルブローミングプロジェクト）」と総称し、2024年4月より活動を開始しました。

＜ご参照：4/23ニュースリリース：<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/00000025.000054763.html>＞

花業界全体で「環境アクション」を本格的に推進、かつ、花や植物が人間の「ウェルビーイング」に与える好影響を「#ビタミンF」（英語、FlはFlowerのF）という言葉とともに、社会に広めていくことを目指す本プロジェクトのうち、6月の「環境月間」をきっかけに、より具体的な「環境アクション」を各花店・各企業で考え、宣言し、実行していくものとします。



スタートとなる本年度の「環境月間」では、全国の約300の花小売店（チェーン店を含む）および、ラッピング資材メーカー・卸売市場・加工流通・花生産者・種苗会社など23社が活動に参画します。

花店店頭には「well-blooming project」の共通ステッカー（画像左）や「環境アクション」宣言内容を記したPOPなどが掲出され、社内啓発やお客様（消費者）へご理解・ご協力を促すものとします。

これらの活動は今後、毎年6月の「環境月間」や9月の「SDGs週間」を活用しつつ盛り上がりを創出し、全国の花店・企業がそれぞれに、毎年独自の「環境アクション」を宣言・実行し、成果を年々積み上げながら、共に花業界全体の大きなムーブメントに育てていきます。

いずれは本プロジェクトが当たり前のこととして定着し、10年後20年後の次世代に誇れる花業界でいられるよう、仲間を増やしながら推進してまいります。

《 本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先 》
花の国日本協議会 事務局
Mail: info@hananokuni.jp（担当：小川・新井）

1

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ニュースリリース第二弾配信 (5/30)

NEWS RELEASE



(画像左) 「well-blooming project」説明POP
 (画像中上) 参加花店・企業共通ステッカー
 (画像中下) 参加花店・企業用サイトバナー
 (画像右) 「環境アクション」宣言用POP例



全国の花店・資材メーカーにおける、具体的な「環境アクション」事例紹介

花の商流それぞれの過程で向き合うべき課題はありますが、お客様（消費者）との最終接点である「花店における環境アクション」を先行して推進していきます。特に花のラッピングに関わる資材については、資材メーカーとの連携も非常に重要につき、現状は開発の過渡期と思われる環境配慮素材についても、その利点や弱点を理解しながら、よりよい選択肢を増やしていけるよう、共に努力してまいります。

また、この「well-blooming project」への参画を通じて、「SDGsは自店で何から取り組めばよいかかわからず」にいたが、このプロジェクトを通じて取り組みがわかりやすく提示されありがたかった。これを皮きりに、意識を変えていければと思います。」（山形県鶴岡市・ファンシーフラワー）といった声も寄せられており、花店の行動変容の一つのきっかけになっていることがわかります。



(画像上) 花工資材カタログ vol.1 より「4R」とその優先順位
 (画像右) 花業界向け環境啓発冊子より「花屋さんの環境アクション」



③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ニュースリリース第二弾配信 (5/30)

NEWS RELEASE



花の国日本協議会
Flowering Japan Council

◆より具体的な環境配慮商品の提案や、MPS認証の花※のフェア開催など

全国チェーンの大手花店では、より具体的な環境配慮商品提案を始めます。青山フラワーマーケットは、創業から早い段階から紙製のラッピング資材が中心で、もともとプラスチックの使用量が少ないブランドですが、今年は環境月間にあわせて社内の意識づけ強化とともに新素材の紙製花器を開発。また、日比谷花壇では2年ほど前からゼロハン（OPPフィルム）の使用を削減しており、現在は店頭でほぼ使用しないことが実現できており、社内啓発とお客様理解が進んでいる状況です。ラッピングにおける減プラスチックの取り組みが先行している2社の、一歩踏み込んだ活動内容をご紹介します。

【全国チェーン】青山フラワーマーケット

環境月間である6月に、サステナブルな取り組みを進めるべく、日本初上陸の新素材を使ったアレンジメント用容器の取り扱いを開始。新素材は、リサイクルパルプをハンドメイドで成形し、内側に天然ゴムで防水コーティングを施した、サステナブルな素材です。国際的な認証を受けているスリランカの工場で製造され、製造工程でも化学物質や色素を一切使用せず、製造中に出る端材もさらにリサイクルして使用しています。



(画像上) 新素材の器を使用したアレンジメント
(画像右) 環境月間店頭POP

さらに、6月3日(月)～6月9日(日)にMPS環境認証を取得されている産地さんの花を取り揃えたフェアを開催。フェアを通して、環境に配慮した持続可能な生産が行われている産地さんや、MPS認証を知っていただきたいという想いから開催します。

* 取り組みの詳細は、青山フラワーマーケットニュースリリースをご参照ください。
URL: <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000147.000007230.html>



【全国チェーン】日比谷花壇

日比谷花壇の店頭では 6月4日(火)～6月30日(日)の期間に、環境に配慮して生産されたMPS認証を取得している生花を販売します。

同時に、エシカルなラッピング※を採用した置き型の花束「シュシュフルール」において、ブルーを基調とした新柄のラッピングペーパーを展開します。ラッピングペーパーのデザインは、日比谷花壇のデザイナー石井千花が監修。ポジティブで美しい花言葉を持つデルフィニウムやクレマチスといった花々をオリジナルで描き下ろしています。

当社のエシカルな取り組みだけでなく、環境に配慮して生花を生産する全国の産地さん、そして花き業界全体での環境問題に対する意識や課題解決への取り組みを知っていただき、共に環境にやさしい選択をする機会としていただきたいと思います。

※「シュシュフルール」のエシカルなラッピングとは
2023年8月にラッピング資材を全面リニューアル。花束の保水部分をプラスチックのカップから無漂白の紙製カップに変更するなど、プラスチックを削減する工夫を重ねています。

* 取り組みの詳細は、日比谷花壇ニュースリリースをご参照ください。
URL: <https://www.atpress.ne.jp/news/396511>



(画像上) 父の日や夏のフラワーギフト向けの「シュシュフルール」

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ニュースリリース第二弾配信 (5/30)

NEWS RELEASE



花の国日本協議会
Flowering Japan Council

◆ お客様の手元でごみになるプラスチックの問題から取り組む宣言 (一部抜粋)

● 花専門店

【北海道札幌市】フルーロン花佳

※「セロハン」は、OPPフィルムのことを指します。

- ①お客様からのフラワーベースの回収と再利用。
- ②フラワーフォームは生分解するエコフォームを使用。
- ③セロハンの使用を抑え、使用する場合も生分解するタイプへと徐々に変更。
すべてを一気に変えるのは無理ですが、少しずつ取り組んでいます。

【青森県青森市】花と雑貨の店 Y's Style

私たちは、ラッピング資材としてのセロハン使用を極力、別の素材へ移行させ、プラスチックを減らすことを目指します。
店のスタッフと一緒に取り組み、学んでいきたいと思っています。

【茨城県つくば市】ウイズガーデン つくば

私たちウイズガーデンは、切花処理時や花束アレンジ作成時に出る茎葉をゴミとして自治体へ出さず、畑に処理し土への循環を目指します。

【静岡県熱海市】花と緑のキタザワ

セロハンラッピングを減らす(プラスチック使用を減らす)。
「本当にそのラッピングが必要ですか？」を合言葉に、紙で良いものは紙に変更していく。

【三重県桑名市】平田花園

2024年、わたしたち「平田花園」は、「セロハン」の使用を減らし、ギフトラッピングには「紙素材のリボン」を取り入れ、プラスチックを減らすことを目指します。

【奈良県橿原市】karendo (チェーン展開)

新しいショッパーを環境に配慮した生分解性素材で開発を進めます。

【広島県広島市】花好きみなと・フラワーショップみなと

2024年、私たちフラワーショップみなとは、
①包装紙・セロハン・袋などの過剰使用を低減します
②環境にやさしい資材を導入します
③流通資材をリサイクル・リユースします
大切な最初の1歩を確実に行動に移し、近い未来の成功をイメージしながら日々の取組を継続させていきます。

【福岡県北九州市】フローラルポート

ラッピングなど、できる限り石油由来の資材を天然素材に変更し、セロハンなどの過剰包装を減らします。

● 資材メーカー

【東京都東大和市】インバック株式会社

インバック株式会社は環境にやさしい商品の開発と販売を促進します。脱プラスチックの取り組みとして、植物由来の原料の使用や紙素材の商品のラインナップを充実させるなど環境にやさしい商品の提供に積極的に取り組みます。

【東京都新宿区】東京リボン株式会社

当社の環境保全への取り組みや環境に配慮した商品を、積極的にアピールしていきます。

※東京リボンでは、自社のエコ資材を集めたWEBカタログを公開(2024年5月) :

<https://tokyoribbon.actibookone.com/content/detail?param=eyJib250ZW50TnVtIjo0NDc3NDN9&detailFlq=0&pNo=2>

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ニュースリリース第二弾配信 (5/30)

NEWS RELEASE



花の国日本協議会
Flowering Japan Council

※MPS認証の花とは

「MPS」とは、人にも環境にも配慮した花き認証システムです。危険な農薬を使用せず、環境負荷の低減に取り組んでいることを、国際認証機関「MPS」より証明された生産者が作った花のことです。

MPS
Sustainable Quality



* 生産者情報は、「最新の認証資格リスト」をご参照ください URL : <http://www.mps-ifma.net/member/>

◆MPS認証を取得している生産者の「環境アクション」宣言事例

【栃木県宇都宮市】 有限会社エフ.エフ.ヒライデ (ユリ生産者)

施設園芸農家としては、冷房などを導入し、花を届ける努力をしています。一方で、これらの技術にもエネルギーは必要であるため、土壌消毒などを負荷の少ないものに変更するなどして、使用するエネルギー使用総量を減らしながらも、花の生産を継続する努力をしています。

◆卸売市場などの「環境アクション」宣言事例

「well-blooming project」では、生産地→卸売市場・仲卸→花店に切り花を輸送する際に利用されているプラスチック製保水バケツ (ダルマ) や、鉢物の輸送に利用されているプラスチック製の鉢トレーなど、現在使い捨てや壊れて廃棄となる資材に着目し、将来的な水平リサイクルを目指した2つの分科会、「産地由来包材プラ資源サーキュラープロジェクト」「鉢物トレープラ資源サーキュラープロジェクト」を推進中。それらの分科会に参画中の企業他、花業界のさまざまな企業の「環境アクション」宣言をご紹介します。また、東京都の世田谷市場内の仲卸・株式会社フローラルコレクションでは、花の仕入れに通う花店に「環境啓発冊子」を積極的に配布。手にする花店の反響から「今後の活動の広がりに期待。活動を通して花業界に貢献するとともに、これからの時代に向けて多くの方に触れてほしい。」との声が寄せられています。

●卸売市場

【東京都大田区】 株式会社大田花き

市場におけるダルマの回収から、水平リサイクルに繋げるチャレンジをしていきます。前年度より電気使用量を5%削減します。市場に到着するトラック・自動車のアイドリングストップを呼びかけます。買参人 (花店) にwell-blooming projectへの参加を呼びかけます。

【東京都板橋区】 株式会社東日本板橋花き

市場から出る廃棄物の再資源化を検討。6月に環境認証である「MPS」の特別競りレーンを設置します。

【東京都江戸川区】 東京フラワーポート株式会社

可燃物や不燃物、プラごみなどの重量計量実証実験に参加します。

【愛知県豊明市】 株式会社豊明花き

私たち豊明花き株式会社は通年で、プラスチックトレーを回収リユースする取り組みを行います。

●加工流通

【東京都大田区】 株式会社ゼントクコーポレーション

納品、流通させる段階ボールを削減し、通い箱を使用する事で、今まで使い捨てだった段ボールを出来る限り無くします。

●種苗会社

【広島県府中市】 イノチオ精興園株式会社

苗やカタログなど出荷の際、環境負荷低減に資する環境マーク付き資材を使用します。

※参画花店・企業の一覧 : <https://homeuse-hana.jp/wellblooming/>

③ 花店と花流通の環境アクション活動

◆ 花店・企業からの中間報告（2024年6月～7月頃）



目次		
1 北海道 札幌市／小売（花専門店） フルーロン花佳	8 岐阜県 大垣市／小売（花専門店） 西濃フラワー	15 山口県 光市／小売（花専門店） Flower Shop hana plus
2 千葉県 流山市／小売（園芸店） Forest（株式会社プランツスケープ）	9 三重県 津市／小売（花専門店） 花やの六さん	16 福岡県 那珂川市／小売（花専門店） 花urara
3 千葉県 船橋市／小売（花専門店） くさむすぶ	10 三重県 桑名市／小売（花専門店） 平田花園	17 大分県 中津市／小売（花専門店） 池田生花店
4 千葉県 習志野市／小売（花専門店） 伸共花店	11 大阪府 大阪市／小売（花専門店） サトウ花店	18 東京都 新宿区／関連資材 東京リボン株式会社
5 東京都 目黒区／小売（スーパー） 東光フローラ	12 広島県 広島市／小売（花専門店） フラワーショップみなと	19 神奈川県 横浜市／関連資材 パレス化学株式会社
6 東京都 大田区／加工流通 ゼントクコーポレーション	13 広島県 呉市／小売（花専門店） 新宅生花店	
7 静岡県 熱海市／小売（花専門店） 花と緑のキタザワ	14 鳥取県 八頭郡／小売（花専門店） 小椋生花店	(所在地北から・業種順、敬称略)

北海道 札幌市／小売（花専門店） **フルーロン花佳**

レポート日：2024/08/05

<http://hanaka.tv>

当店・当社の環境アクション宣言！

- 1, お客様からのフラワーベースの回収と再利用。
- 2, フラワーフォームは生分解するエコフォームを使用。
- 3, セロハンの使用を抑え、使用する場合も生分解するタイプへと徐々に変更。すべてを一気に変えるのは無理ですが、少しずつ取り組んでいきます。

- well-blooming活動を始めて感じたのは、お客様が予想以上に協力的だということです。
- 正直、環境に無関心な方も少なくありませんが、セロハンの使用を減らしている理由や容器回収のお話をすると、今はそういう時代だからねー。とご理解下さる方も多いです。まだまだハードルは高いとは思いますが、少しずつ取り組んでいこうと思います。

▼10月17日ご追記

- 当店が実施しております環境意識の消費者との共有ですが、多くのお客様がご理解はして下さるものの、現実にはまだまだ時間がかかると感じています。
- この時期からアレンジメントには凍結防止のため、セロハンの使用は必須となり、植物由来の代替え商品の使用も並行して考えておりましたが、価格の面、使用時の扱いにくさ問題もあり、今はテスト的な使用となっております。

とはいえ、今回の10days challenge期間は、配達すべてのアレンジメントのセロハン使用をやめて、ご説明のリーフレットを伝票にお付けして納品しましたが、1件もクレームは有りませんでした。内心少しドキドキでしたが、とりあえず安堵しました。

10月 well-blooming 10days challengeの成果も追加ご報告



③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆花店・企業からの中間報告 (2024年6月～7月頃)

千葉県 流山市 / 小売 (園芸店)

レポート日: 2024/07/11

Forest (株式会社プランツスケープ)

https://www.instagram.com/forest_nagareyama/?hl=ja

当店・当社の環境アクション宣言!

装飾で一時利用した植物たちを自社温室で養生メンテナンスし、新しいオーナーに植物の命を繋げていく植物の二次利用、セカンドハンド頒布に取り組みます。

・取り組み

大型装飾やイベント使用後の戻り植物等を廃棄せず自社温室で養生させ、植物の命のバトンを繋ぐ二次利用先として店舗で販売する。「セカンドハンド植物の取り組み」

・スタッフの様子: 取り組みに対して積極的でない為、社内から意識を変えていく必要がある。スタッフ教育の必要性。

・お客様の反応: 購入者は主に、取り組みに賛同して商品を購入するというより、価格で商品を選択されている。

・課題: セカンドハンド植物を店舗で販売する場合は、既存の販売スペース以外に、スペース確保が必要となる。ディスプレイと物量の見直し。既存の販売商品と明確に差別化する必要がある。環境アクションの取り組みが周知できていない為、認知度を上げる活動が必要である。

Why not buy plants secondhand?

セカンドハンド植物頒布

株式会社プランツスケープのGREEN PATHの「FOREST」では、廃棄物削減のために、本社のディスプレイで利用した植物を自社温室でメンテナンスし、セカンドハンド頒布として店舗に提供しています。

植物たちに新しい生活の場を提供できれば、廃棄量が減り、環境負荷軽減の効果が期待できます。

いかにしても、「FOREST」から帰る植物のセカンドハンドをヨイスですというアイディアを思いつけば幸いです。

ぜひ、積極的に参加してくださいませ。

Forest

・ イベント出店

先環境アクションに興味がある、刺さるターゲットが購買層のイベントに出店する。



千葉県 船橋市 / 小売 (花専門店)

レポート日: 2024/07/13

くさむすぶ

<https://www.instagram.com/reimarigold/>

当店・当社の環境アクション宣言!

吸水性スポンジを使わない花留めの提案をします。

- 6/28、29無農薬無化学肥料のブーケの販売をいたしました。沢山の方へ花にもオーガニックという選択肢がある事をお伝えできました。
- 吸水性スポンジを使わない花留めを作る陶芸体験を企画しましたが、お子さんが多く他の物を作って楽しまれ、花留めを作ったのは私だけでした残念。



③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆花店・企業からの中間報告 (2024年6月～7月頃)

千葉県 習志野市 / 小売 (花専門店)

レポート日: 2024/07/09

伸共花店

<https://sk-flower.com/>

当店・当社の環境アクション宣言!

エコバッグなどの、お手持ちの持ち帰り袋をなるべくご利用いただきます。再配達ゼロを目指し、御在宅確認のTELにご協力いただいております。

- ゴミについて考えていくうちに、プラスチックが紙に変わればそれでいいのか、環境にやさしい素材なら、手提げを渡し続けていいのか、アレンジや花束のラッピングの場合、水に強いのは必須条件、花の保護にはセロファンも欠かせず、配達でのお届けであっても、車をお届け先に横付けできるとも限らず、駐車場所から、風雨の中を歩かざるを得ない状況や、店内から車への積み込みでさえも、ビル風など、風の少ない日は少なく、花傷みを考えると、とても花をセロファンなしで持ち出し出来とは思えず、今現在、最低限の使用に控えているセロファンを、簡単にやめる方向もみつからず、まだ協力も成果も見当たりません。
- ただ、そういう目で、ゴミを減らすべく、工夫などを考え出そうという意識が芽生えたことが、大きな前進です。



東京都 大田区 / 加工流通

レポート日: 2024/08/05

ゼントクコーポレーション

<https://zentoku.co.jp/>

当店・当社の環境アクション宣言!

2024年、私たち「ゼントクコーポレーション」のフラワーショップ各店では、「セロハン」の使用を半減し、プラスチックを減らすことを目指します。

- まだまだ本格的な取り組みには至っておりませんが、ロールセロハンの使用量削減に努めております。
- お客様からのご要望がある場合を除き、「well-blooming project」の趣旨をご案内して、セロファンなしの花束のラッピングをお勧めしています。
- 大方のお客様にはご理解をいただいておりますが、セロファンでのラッピングをご希望されるお客様も少なからずいらっしゃるのが現状です。
- また、作り置きのお勧め束も「セロファン+不織布」でのラッピングは行わず、クラフト紙でのラッピングに切り替える等の対応を行っております。
- セロハンの使用削減量は店舗スタッフの体感となってしまう、店舗による差もございますが、おおよそ1/2～1/3との報告を受けております。



③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆花店・企業からの中間報告 (2024年6月~7月頃)

東京都 目黒区 / 小売 (スーパー)

レポート日: 2024/07/05

東光フローラ

http://www.tokyu-flora.com/

当店・当社の環境アクション宣言!

長持ちが環境配慮に直結するかわかりませんが、鮮度保持素材の包材や、MP Sに認証を受けた工場での花束加工の既に行っております。6月には間に合いませんが、パッケージフラワーなどの包材を環境配慮型の素材に切り替えていきたい。

- 「well-blooming project」については、まずは参加の表明と従業員への周知ということで1歩を踏み出したというレベルで各社様ほどの取組みはやりきれてないかと思えます。

6月5日に向けて再共有

【参考①】 well Blooming project とは - 花業界全体の環境負荷削減の取組みのこと

【参考②】 well Blooming project 当社の取組み

【参考③】 well Blooming project スケジュール

【参考④】 店舗でやっていただくこと

▲5月ショップの店長会議での説明の抜粋資料

- 各店では、いただいたPOPなどの参加表明ということで、アクリルのケースを購入して掲出させていただいております。
- また、親会社でもある東急ストアもサステナブル経営を打ち出す中では、この6月は環境月間ということで、ある意味その取組みに便乗できる機会をいただいたことに感謝しています。



- ショップでは、まずは持ち帰り用の袋について、ほぼクラフト素材か、バイオマス素材を使っているのですが、デザイン性もあって一部まだ通常のビニール袋を使用しているため切り替えを検討しています。
- また社内でもラッピングでセロハンを使わない選択肢があるか?といった話もできています。
- そうすると、青フラさんのようにもう少しコシのある、紙の素材が必要といった話もあってそもそもの包材の見直しをもう一歩踏み込んでいく必要があって、社内でもまだ賛否があつてなかなか進まない状況です。
- そこが固まってくるともう少しお客様にコミットできる内容が定まってくるのかなと思っています。
- いずれにせよ、これだけの猛暑が続くと、環境への取組みはまったなしな状況ですので、
- 包装資材を極力使わない、環境負荷の少ない包材のチョイスは進めてまいります。

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆花店・企業からの中間報告 (2024年6月～7月頃)

静岡県 熱海市 / 小売 (花専門店)

レポート日: 2024/08/06

花と緑のキタザワ

https://atami-kitazawa.com

当店・当社の環境アクション宣言!

- ・配達ルート工夫 (ガソリンの節約) ...なるべく時間指定受注を減らすことで、地域でまとめてお届けする。事前準備で忘れ物を減らす。
- ・セロファンラッピングを減らす (プラスチック使用を減らす) ...「本当にそのラッピング必要ですか?」を合言葉に紙で良いものは紙に、過剰包装を避ける

弊社の取り組み

「そのラッピング本当に必要?」を合言葉に、6月から取り組んでまいりました。



▲店頭へのステッカー掲示



▲ラッピング資材置き場、作業台に合言葉を掲示

経過

資材の仕入れへの変化: ほぼなし

現時点での検証 進まない理由

ギフト需要がホテルを通じてのオーダーが7割を締めているので、オリジナル商品などは変更が難しい。更に、ホテル経由のお客様はラッピングまで指定 (ご希望)の方が増えている。(インスタからの抜き出し、メール等簡単に画像が送れる)



◀お客様からホテル経由で送られてくる希望写真。最近では韓国風のモリモリラッピングが多い

ダイレクト受注の場合も、ご高齢のお客様は特に、ギフトはラッピングがきちんとしていないと失礼と思いがち。

(進まない理由、つづき)

開店などの胡蝶蘭などは特に、中身よりラッピングくらの感覚。での対応。

対策

①身近なかたに送るギフトからの提案 ラッピング見本を作っておいてご提案する。

②現状、ラッピング代は特に頂いていないのですが、エコラッピングをオリジナルとして、オリジナルラッピングご希望の方は無料、それ以外は有料化を検討中。

③ホテル用のカタログにもエコラッピングの選択を掲載することを検討中。

④ラッピング資材の見直し。紙製品での対応。

是非!!

1社の取り組みでは難しい事、資材の新規開発、一般のお客様への啓蒙活動、他社様の取り組みやアイデアの共有。

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆花店・企業からの中間報告 (2024年6月～7月頃)

岐阜県 大垣市 / 小売 (花専門店)
西濃フラワー

<https://seinoflower.net/>

レポート日：2024/07/12

当店・当社の環境アクション宣言！

2024年、わたしたち「西濃フラワー」は、「セロハン」の使用を半減し、プラスチックを減らすことを目指します。

【店頭スタッフ、社員の方々の様子や意気込み、意識や行動の変化】

- 20歳の新入社員が入ったことをきっかけに、セロハンの使用率がグッと下がりました。花束のラッピングは雨の時や大きくて形が保たれにくいもの以外はほぼセロハンなしで販売できています。
- 新入社員はすでに花の専門学校に2年通って、学生の頃から繁忙期にはバイトに来てくれたので、すぐに即戦力です。最初に作ってくれた花束がセロハンなしで、それが当たり前といった感じでした。なので、そのままセロハンなしで私も作り始めたという流れです。
- 不織布はまだまだよく使っていますが、ワックスペーパーをクラフト紙に変更しています。



▶ FSC* 認証のクラフトペーパーに変更

* FSCとは「適切に管理された森林からの木材を区別して購入できる認証制度の必要性が検討され、26カ国の環境NGO・林業者・林産物取引企業・先住民団体などが中心となって設立されたのがFSC (Forest Stewardship Council、森林管理協議会)」のこと <https://jp.fsc.org/jp-ja>

- アレンジメントに関しては、配達ほぼセロハンなしです
- ただ、アレンジメントにかんしてはこちらからセロハンの有無を聞くので、8割方はセロハン希望されます。(環境のことを考えて、、、とか話してる途中でセロハンでラッピングし始めてしまいます)

【実際のお客様のご反応】

- 花束はセロハン欲しいお客様にはおつけしていますが、何も言われない方がほとんどです。アレンジメントはお客様の希望に沿うと、まだつけて欲しい方がほとんどです。
- お客様よりも私たち花屋の方にセロハンへの固執があるだけだなあと感じました。



③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆花店・企業からの中間報告 (2024年6月～7月頃)

大阪府 大阪市／小売 (花専門店)

レポート日：2024/07/16

サトウ花店

<http://www.satoh-hanamise.co.jp/>

当店・当社の環境アクション宣言！

2nd Flower という取り組みを以前より行っています。店舗でのロスフラワーをドライフラワーとして再生、束ねてブーケとして販売したり、ワークショップを開催したり、市販のドライフラワーやプリザーブドフラワーに混ぜて商品として再生させる取り組みを百貨店などと共同して行っています。

- 「well-blooming project」及びSDGSの活動はなかなかむずかしいですね。お花はギフトで贈られる方が多く、大阪という地域柄、派手に派手になってお客様からの要望もあり実際は思うように進みません。なので、地道ではありますができることから徐々にという感じです。
- 百貨店等と共同イベントを行いました。話題性優先で継続性がなく、イベントも一度きりだったりでせっかく生産地や市場に協力いただいても後が続かずに結局根付かない状況が続いています。このような活動は継続こそが大切なのではないかと思うのですが、私共自身も日々このテーマを取り入れて活動しているかと胸に手を当てて考えると申し訳ない気持ちになります。
- このような状況だったので「2nd Flower」は数年前に立ち上げましたが継続して店頭で展開していたかと言われると胸を張れません。時々思い出したようにイベントがあるのでその際に商品や活動内容を刷新したり、ワークショップなどでお客様に発信したりという感じです。



<http://www.satoh-hanamise.co.jp/>

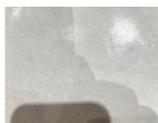
- 今回新たに高島屋大阪店さまの「TSUNAGU ACTION」として10月(10月9日～予定)よりイベント開催。
- ディスプレイ装飾を行いました。愛知県のみまわり農協バラ部会さまにご協力いただき、市場に流通しない基準以下の薔薇を買い取りました(30cmほどのもの)。それをドライフラワーに加工し、ペットボトルの再利用で作られた服などとディスプレイいたしました。弊社では「2nd Flower」という名称だったのですが、活動内容が少し異なりまして高島屋さまとの取組みということで「tsunagu flower」と変更しております。
- 日々の営業における活動については、前述の通りお客様のご要望もあり思い切った施策を行う事ができていません。未だに店頭で韓国風ラッピングの画像を持ってこられるお客様もいらっしゃいますので、時としてこの活動と逆行した商品を提供する事もあります。→



▲ 2nd Flowerワークショップ例



▼ 2nd Flowerブースの展示。思いをつたえる大きなPOP



▲ エコラッピング用のペーパー、ラフィアなど



▼ アレンジメント用のノンワイヤーのカゴ

- そのような中でスタッフと話し合ったところ「せめてお客様が選べるように準備をしよう」ということになりました。
- ご希望のお客様にはエコラッピング・紙袋・ノンワイヤーのカゴを使ったアレンジなど選択できるようにPOPを配置し無理やりでなくお客様ご自身で決めてもらえる環境を作りつつあります。
- 例えば花束の場合、通常ラッピングとエコラッピングのどちらかを選んでいただき、エコラッピングの場合はノンゼロハン・天然素材リボン・紙袋などご案内します。
- アレンジはノンワイヤーのカゴなどを店舗定番としています。
- 困ってしまうのが鉢物でほぼ今までと変わらない販売方法となっています(特にギフトに関して)
- 地道ではありますが、以上のような活動を一部店舗で行っています。また2nd Flowerの商品販売・ワークショップは2度百貨店とのコラボイベントとして行っています。(今回の高島屋さんは除いて)

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆花店・企業からの中間報告 (2024年6月～7月頃)

三重県 津市／小売 (花専門店)

レポート日：2024/07/14

花やの六さん

https://www.hanaya-63.co.jp

当店・当社の環境アクション宣言！

2024年、花やの六さんは、セロファン (oppフィルム) の使用を最小限にする。国産バイオマス「ライスレジン」製のレジ袋を使用し、プラスチックを減らす。必ず実行。

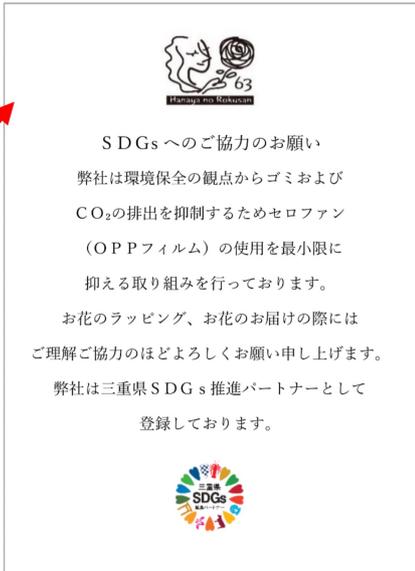
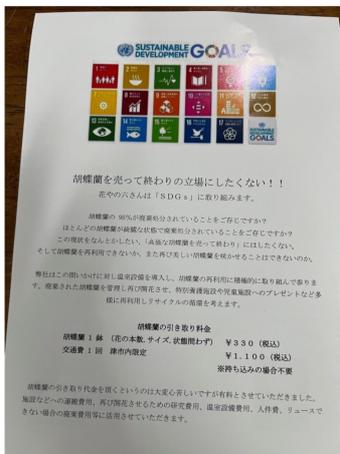
- スタッフの環境への意識が変わってきた。社内会議でリーフレットの共有。
- セロハンをできる限り減らしている。お客様向け案内の作成 (添付)
- 3年前から実行している胡蝶蘭の回収サービス (次ページ添付)
- 取り組みの1つとして春より「セロハンの削減」から始めました。セロハン無しに抵抗感がありましたが、お客様に説明をさせていただきだと思った以上にご理解いただけていると実感しております。スタッフ間で環境への取り組みを中心に行うチームを立ち上げ、ポップやカードの作成など取り組みを提案し、社員全体で共有する体制を整えました。
- 「花屋として私達ができること」「私達が広げること」「受け入れること」を軸とし、取り組みの姿勢が明確に分かるようにできる限り数字化することにいたしました。これからも環境への一助となりますよう、肩の力を入れるのではなく、楽しみながら取り組んでまいります



▲「三重県SDGs推進パートナー」にも登録

▶お客様へのSDGsへのご協力をお願い (75×105) サイズ

▼3年前から実行している胡蝶蘭の回収サービス



③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆花店・企業からの中間報告 (2024年6月～7月頃)

三重県 桑名市／小売 (花専門店)

レポート日: 2024/06/10

平田花園

https://hirata-kaen.jp

当店・当社の環境アクション宣言!

2024年、わたしたち「平田花園」は、「セロハン」の使用を減らし、ギフトラッピングには「紙素材のリボン」を取り入れ、プラスチックを減らすことを目指します。

- 母の日から取り入れた紙素材のリボン、スタッフからも可愛いと好評で一部の商品から始めようと思っていたのですが、最終的に結構な割合で使いました。
- お客様からもリボンが細いとか、従来に比べ質素に感じる、などのご意見も今のところなく、やはり自然のもの(花)には自然素材のものがしっくりくるんだな、と実感しています



▲Instagramでも顧客に向けてわかりやすくポスト。ちなみに、発売30年になる『スタンディングブーケ』には、再生プラ製のブーケホルダー(フランス製)を使用。目に見えない部分も環境に配慮している

▲紙リボンとPOPで思いを伝えるディスプレイ

広島県 呉市／小売 (花専門店)

レポート日: 2024/08/03

新宅生花店

ウェブサイト無し

当店・当社の環境アクション宣言!

エコラッピング
なるべく環境に配慮した資材を使用

常日頃から環境問題には注視していましたが、この活動に参加させて頂き、取り組みのきっかけになりました。店主だけでなく、店頭スタッフへの理解が進んだように思います。

- エコラップへの移行→強度の難
- リボンの移行→未だてつがず
- セロハンの使用減→アレンジ配達時は使用しない。花束やアレンジのラップ量を減らす
- 今流行りの韓流ブームのような過剰なラッピングはしない
- 不織布から紙への移行
- セロハンで保護する代わりに、和紙を使う

等、模索しながら進めている

【お客様への声かけ】も積極的に行えたようです理解下さる方もありますが、まだまだ見た目重視のお客様もある

- 自店舗のスタイルをスタンダードとしてどう確立していくか?
- 皆さまの取り組みを参考にしていきたいと思えます。
- 毎年、中学校の「生物育成授業」の授業を任されていますが、今年度から容器を土に還る物(STEMN)を使用しての寄せ植えを行い、SDGs,社会課題解決の理解を促す取組をしています



③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆花店・企業からの中間報告 (2024年6月～7月頃)

広島県 広島市 / 小売 (花専門店)
フラワーショップみなと

レポート日: 2024/07/05

https://flowershop-minato.com/

当店・当社の環境アクション宣言!

2024年、私たちフラワーショップみなとは、

- ①包装紙・セロハン・袋などの過剰使用を低減します
- ②環境にやさしい資材を導入します
- ③流通資材をリサイクル・リユースします

大切な最初の1歩を確実に行動に移し、近い未来の成功をイメージしながら日々の取組を継続させていただきます

- 弊社では、WBPを下記の内容で社内共有しており、2024/08/01～2025/07/31のみなど年間企業目標にも記載しております。

1.包装紙・セロハン・輪ゴム・袋などの過剰使用を低減します

具体的行動: 会計時に目的と必要かどうかを確認し、使用を減らす (全店) 検証方法: 年間発注量 (6月始まり) を前年度と比較 (本社)

2.環境にやさしい資材を導入します

具体的行動: 資材発注の際に、環境アクションの有無を確認し変更する (本社) 検証方法: 導入実績をリスト化し数量を把握 (本社)

3.流通資材をリサイクル・リユースします

具体的行動: 鉢トレー・保水バケツなど、受け入れ先を探してリサイクル・リユースする 検証方法: 導入実績をリスト化する (本社) 大切な最初の1歩を確実に行動に移し、近い未来の成功をイメージしながら日々の取組を継続させていただきます



これまでに行った内容に関しまして、

1.5月下旬 店長会で趣旨説明を行い、翌日からショップにて主に①の包装紙削減の提案開始

2.6月上旬 社内報告書で実施内容を検証

店頭でのお客様への使用削減提案は50～80%の方のできている / 提案したお客様の50～80%は削減を受け入れてくれている

3.6月上旬 加工で出る葉や茎を肥料の原料として受け入れていただけるか生産者様へ提案 (1件)

←不可 (提案した生産者様は水耕栽培だったため)

4.6月中旬 WBPロゴ入りTシャツ作成 (少量ですが仕入れなどで社外にでるスタッフが着用)

▼10月17日御追記

5.7/10 広島県資源循環プラットフォーム補助事業へ参加

8/19～9/30の期間、保水プラスチックバケツを回収し花エコバッグへのリサイクル開始 (③) (ユニリーバ・ジャパン株式会社/広島県/株式会社花満/花の国日本協議会)

well-blooming project(ウェルブローミングプロジェクト) 報告書

先月の店長会から開始したプロジェクト (花き業界版SDGs) の中間報告をしてください

包装紙・セロハン・輪ゴム・袋などの過剰使用を低減します
具体的行動: 会計時に目的と必要かどうかを確認し、使用を減らす (全店)

①	POPなどの掲示をすでに開始した	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
②	自身の店舗は積極的に削減提案ができていますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
③	使用削減の提案状況	<input type="checkbox"/> 100% <input type="checkbox"/> 80% <input type="checkbox"/> 50% <input type="checkbox"/> 10% <input type="checkbox"/> 0%	
④	提案したお客様の中で、使用削減を受け入れていただいた状況	<input type="checkbox"/> 100% <input type="checkbox"/> 80% <input type="checkbox"/> 50% <input type="checkbox"/> 10% <input type="checkbox"/> 0%	
⑤	上記資料を必要とされたお客様の理由 (お花の保護は除く)		
⑥	多くの場合、包装紙がなくても問題ないと感じるか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
⑦	オペレーションの改善提案や意見などは記入してください		

私たちが今すぐに行動に移すことで、未来は大きく変わっていきます。
真摯にこのプロジェクトに取り組んでいきましょう!

____月 ____日 ____店



▲WBP社内報告書

▼WBPロゴ入りTシャツ

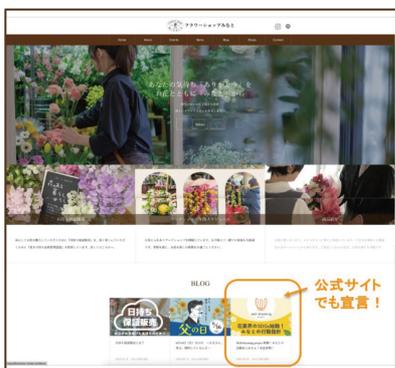
③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆花店・企業からの中間報告 (2024年6月～7月頃)

広島県 広島市 / 小売 (花専門店)
フラワーショップみなと

レポート日: 2024/07/05

<https://flowershop-minato.com/>



6月環境月間にあわせ、
 自社公式サイトでも宣言



2024年、フラワーショップみなとでは

- ①包装紙・セロハン・袋の過剰包装を減らします。
- ②環境にやさしい資材を導入します。
- ③流通資材のリサイクル・リユースをします。

ありがたいことに、お花を包む包装紙やセロハンいらんよ!と仰ってくださる方、増えています。エコバックやレジ袋を持参してくださる方、増えています。うれしいです!ありがとうございます!

環境に配慮した、鉢カバーを使う。アレンジかごを選ぶ。
 鉢トレーや保水バケツなど受け入れ先を探してリサイクル・リユースする。
 環境アクションを行っている生産者さんや資材屋さんを応援する。
 みなとができること、スタッフがすること、お客様と一緒にできること、最初の一步を
 確実に行動に移し、近い未来の成功をイメージしながら日々の取り組みを継続します!

いらん!いらん!なんもせんでええけ!
 そのままでええよ、近いんじゃけ!
 街の身近なお花屋さんとして、地域のお客様と一緒に、このプロジェクトに参加します。
 無理なく、お花を楽しみながら地球もお客様もハッピーを目指して頑張ります!

10月 well-blooming 10days challengeの成果も追加ご報告

▼10月17日ご追記 (前ページからのつづき)

6. 8/1 店舗ごとの年間考動計画にWBP (SDG s) を設定

7. 10/1~10/10 「減らそう、使い捨てラッピング」キャンペーン

※アンケートについては、1件/日×10日×5店舗=50件の獲得を目標に実施

8. 10・11月 SDG s とWBPについて全スタッフ対象に社内勉強会を開催

課題点は、

- (1) ①の検証方法: 前年の数値がないため、年間仕入数量での比較になる
- (2) ①: SDG s 活動の説明をせず包装紙削減だけを伝える事例が多く、簡単説明フレーズを決定した
- (3) ②については実行できていない
- (4) 熱い思いを伝え続けなければ止まってしまう

売上90%以上はエンドユーザーへの小売であるので、特に①に重きを置いて確実な実行・継続・習慣化に取り組んでいます。



▲well-blooming 10days challengeの様子



◀8/19~9/30の期間、保水プラスチックバケツを回収し花エコバッグへのリサイクル開始 (広島県資源循環プラットフォーム補助事業)

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆花店・企業からの中間報告 (2024年6月～7月頃)

鳥取県 八頭郡／小売 (花専門店)

レポート日：2024/07/10

小椋生花店

ウェブサイト無し

当店・当社の環境アクション宣言！

プロジェクト参加をきっかけに、ギフト商品に必ず行っていたセロハンラッピングを減らしていきま
す。また、スーパーで販売するパック花に使用するセロハンスリーブの再利用を模索し、プラごみ削
減を目指します。

- スタートより1ヶ
月。当店では
「スーパー置き花
に使用するパック
花のスリーブの再
利用」を第一目標
に掲げておりま
す。
- 残念ながら売れ残
り売り場から帰っ
てきたお花のス
リーブは極端に汚
れがひどい物以外
はすぐに捨てずに
再利用。
- 社長、スタッフ
共々みんなで取り
組んでいます。



- 汚れのひどいものは、カットし
てスーパーに置く鉢物の「水受
け」として、使っています。
- もう一点「アレンジ、花束のセ
ロハンラッピングを削減する」
という点に関してはまだまだ良
いやり方を模索中ですが、以前
は「大きめに切って、サイズを
切りながら調整」してしまっ
たが、無駄の少ないようにカット
セロハンで対応できるサイズの
花はロールセロハンを使わずに
対応するなどしています。
- 1ヶ月経過の印象としては、ウェ
ルブローミングプロジェクトに
関しては、再利用や使い方を
変える事で経費の削減にも繋がる
ので、店全体で自然と取り組
めている印象です。
- まだまだお客様へ周知がうまく
出来ていないのが課題です。



③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆花店・企業からの中間報告 (2024年6月～7月頃)

山口県 光市 / 小売 (花専門店)

レポート日: 2024/07/06

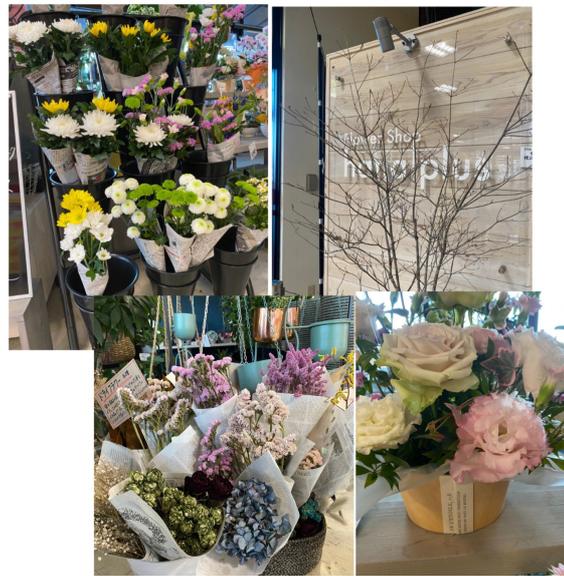
Flower Shop hana plus

ウェブサイト無し

当店・当社の環境アクション宣言!

アレンジの容器は紙製、木製に切り替え中です。また、ビタミンFワークショップと題して、切り花の扱い方を説明しながら簡単に生活に取り入れるためのアイデアを提供しています。

- 好評の新聞巻きセット
- 花チェックや巻き直しも簡単にフィルムゴミが減りました
- 木や紙の器のアレンジ花完全にフィルムを無くすことは難しいですが、最小限の使用を心掛けています
- ドライになる花も多く仕入れています廃棄率を減らすことも大切です
- 葉っぱの巻いてきたドウダンツツジこれまでは葉っぱが巻いたものは切って捨てていましたが、巻いた葉を全部取ってまた水につけました木が生きていれば、葉っぱが出てくるし木が枯れてもオブジェとして飾り、売ることになりました



③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆花店・企業からの中間報告 (2024年6月～7月頃)

福岡県 那珂川市 / 小売 (花専門店)

レポート日 : 2024/07/21

花urara

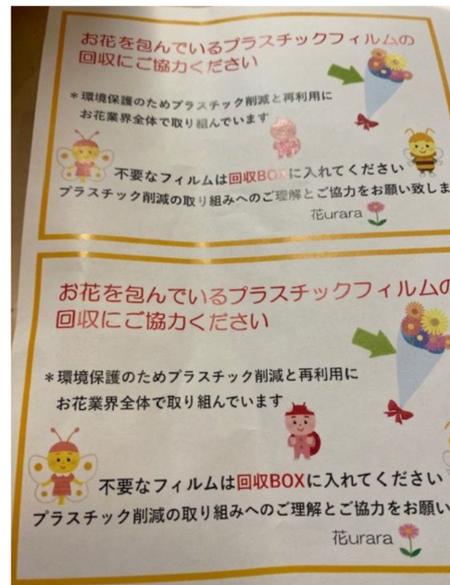
<https://www.instagram.com/urara.saku/>

当店・当社の環境アクション宣言!

パック花 (スーパーさんでの置き花) のセロファンの回収BOXを売り場に設けリサイクルに努めます
自店では花束、ブーケラッピング方法を見直し、セロファンの使用を減らします

生協さんの置き花セロファン回収の取り組み

- ・ 生協スタッフさんに今回の取り組みたい内容をお話に行きました
- ・ ご協力いただいた内容 : 開始1ヶ月1本ずつセロファン回収の案内メモを作っていたが、私たちが納品の時に全パックに投入していきました。
- ・ メモはコープさんが作って下さいました→→→→→→
- ・ 現在は全部でなく、10分の1程度のお花に投入してます
- ・ 月にセロファンに巻いているお花の販売数は500束程度
※セロファンに巻かないものもあります
- ・ そのうち回収はわずか6月は35枚にとどまりました。
- ・ 7月はもう少し回収率が上がっている主観です



課題

- ・ 回収BOXに綺麗に投入下さる方とわしゃわしゃっと投入される方といるため、わしゃわしゃなものは廃棄になります。綺麗なものはパック花に再利用してます
- ・ 自身の反省としては日常業務の中で積極的に活動を推せてない
- ・ 店舗ではラッピング材を見直したり、セロファンの使用を減らせるラッピングのやり方を再度検証し、以前より意識している

↓

そのためちょっと人に持って行きたいな、まとめて持ち帰りたいなと言う方用に生協さんのペーパーを無料で使用できるようにして下さいました

あまりまとまりない回答ですが
引き続きやってみます

- ・ 回収率が悪い
- ・ 回収するセロハンの状態が悪いものがあり再利用できない
- ・ 店舗作業で回収したセロファンの保管、再利用に手間がかかる

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆花店・企業からの中間報告 (2024年6月～7月頃)

大分県 中津市 / 小売 (花専門店)

レポート日: 2024/07/16

池田生花店

<https://www.ikedahanaya.com/>

当店・当社の環境アクション宣言!

- ・「切花ゴミの堆肥化」地域業者と調査・研究を行う。
- ・「つくる責任、つかう責任」引き続き、剩ラッピングやセロハンの不使用の取り組みについて、お客様に理解頂けるよう働きかける。
- ・「カーボンニュートラルに向けて」社用車のEV化

1. プラスティック製の花器のリユース宣言

- ・アレンジやお供え花に使う資材「プラスチック製の花器」を、お客様のご理解とご協力のもと、家庭のゴミとして処分せず、可能な限り回収し、リユース(再使用)を行い、循環型社会形成の一端を担う取り組みです。
- ・成果: 使用済みの花器をお持ちくださったお客様が約30名程度(ここ半年、未カウント)いらっしゃいます。今後は、POPを添えるなどの工夫をしてリユースを加速させたいと考えています。



▶「資材リユースの取り組みご協力」お願いの掲示



レポート日: 2024/07/16

2. 過剰ラッピング(セロハン)を減らす努力の継続

使用量としての(ロール数、ロールの減り具合、発注数)に関しては中期データ取得の必要があり追って報告になります。

- ・使用回数(花束、アレンジ、鉢物の個数)においては、当社が本格的に取り組みだした2~3年前に比べてロールセロハンの使用は5分の1程度になっています。
- ・花束は基本的に不使用(一部要望があったときのみ使用)
- ・アレンジ、外周を覆うセロハンは要望があったときのみ。一部、水漏れ防止の底じきとして使用。
- ・鉢物は、植物を覆うセロハンは廃止、一部、葬儀需要の胡蝶蘭の水漏れ、及び底面給水の水漏れの心配があるとき時のみ底じきとして使用



【コメント】

セロハンの不使用など、当初スタッフは頭では理解しているが、対面でラッピング時等、物足りなさ等から、かなりの抵抗があり、中々取り組みが進みませんでした。あきらめずに継続していると段々と自然に取り組めるようになってきました。

これまでの常識を変えていくときは様々な抵抗があるかと思いますが、スタッフ間で目的を共有して継続していくことで意識の変化していくことができると思っていますので、今後も循環型社会の一端を担えるよう努力していきます。

▶お客様用の袋は、再生可能な生物由来のバイオマスプラスチック製。温室効果ガス排出防止や化石燃料の使用低減などのメリットがある



③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆花店・企業からの中間報告 (2024年6月～7月頃)

東京都 新宿区 / 関連資材

レポート日: 2024/07/09

東京リボン株式会社

<https://tokyoribbon.com/>

当店・当社の環境アクション宣言!

当社の環境保全への取り組みや環境に配慮した商品を、積極的にアピールしていきます。

- ・ 弊社は環境月間において、弊社の環境保全への取り組みや環境に配慮した商品を、市場や生花店訪問時、展示会、本社ショールームなどにおいてアピールしました。
- ・ お客様の反応としては、弊社の環境配慮型商品の数や種類の豊富さに驚かれることが多く、好意的な意見をいただきました。
- ・ 社内の意識や行動の変化は部署により様々ですが、商品開発担当者は、環境配慮型商品のさらなる開発の必要性や既存品アピールの重要性を再認識したり、ショールーム担当者は、環境配慮型商品をまとめた販促物が発刊されたことによりお客様へ提案しやすくなって接客に自信が持てるようになった、といった変化がありました。



▲FSC認証を取得したラッピングペーパーなどを展示



◀展示会のブース

神奈川県 横浜市 / 関連資材

レポート日: 2024/07/09

パレス化学株式会社

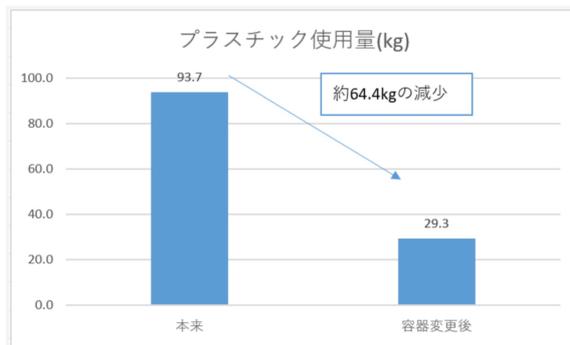
<https://the-flower.biz/>

当店・当社の環境アクション宣言!

2024年、わたしたち「パレス化学」は容器に使用しているプラスチックの削減を目指します。

- ・ パレス化学(株)では商品容器を変更いたしました。
- ・ それに伴いプラスチックの使用量が本来93.7kgのところ、64.4kg減少し、29.3kgにすることができました。

▼左旧容器、右新容器



③ 花店と花流通の環境アクション活動

◆10days challenge「減らそう 使い捨てラッピング」

ニュースリリース第三弾配信（9/25）

PRTIMES : <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000027.000054763.html>

NEWS RELEASE



報道関係者各位

2024年9月25日
一般社団法人 花の国日本協議会

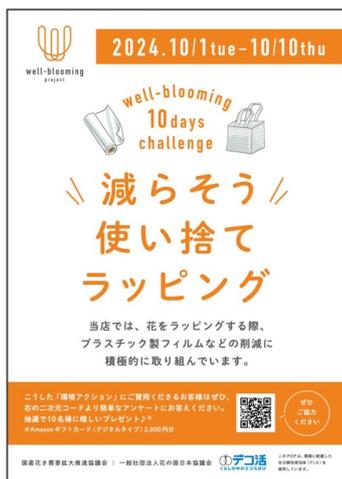
自然も、人も、健やかに。
花業界発、「環境アクション」&「#ビタミンF」を伝えるSDGs活動
well-blooming project

10月1日から 10days challenge
全国約400の花店で
「減らそう 使い捨てラッピング」環境アクション推進！
<https://homeuse-hana.jp/wellblooming/>

9月28日 HAPPY EARTH FESTA2024 にもワークショップで参加！

一般社団法人花の国日本協議会（東京都港区・理事長 井上英明、以下花の国日本協議会）は、令和6年度農林水産省「持続的生産強化対策事業のうちジャパンフラワー強化プロジェクト推進」の助成支援を受けて、事務局をつとめる「国産花き需要拡大推進協議会」の活動の中で、令和5年度より準備をしてきました「サステナブル」と「ウェルビーイング」の2つを柱とする花業界のSDGs活動を「well-blooming project（ウェルブローミングプロジェクト）」と総称し、2024年4月より活動を開始、花業界全体で「環境アクション」を本格的に推進すべく、6月の環境月間より活動を本格化しました。

<ご参照：5/30ニュースリリース： <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000026.000054763.html> >



なかでも「サステナブル」な活動については、具体的な「環境アクション」を各花店・各企業で考え、宣言し、実行していくスタイルで実施しています。5月30日時点で60社だった参画企業が、9月25日時点では90社に、花店数も300店から400店に増え、活動の輪が着々と広がっています。

活動の機運をより盛り上げていくため、9月25日のGLOBAL GOALS DAY（国連がSDGsを採択した記念日）より告知をスタート、10月1日～10月10日の10日間、全国約400店舗の花店にて、well-blooming 10days challenge「減らそう 使い捨てラッピング」と題したキャンペーンを実施する運びとなりました。

店頭では、購入客を中心に花店スタッフからお声がけをし、キャンペーンの主旨を説明します。プラスチック素材のラッピング（花束を覆うOPPフィルムや持ち帰り用のビニール製バッグなど）を減らすことにご協力をいただくよう促し、スマートフォンで二次元コードを読み込んでいただきアンケートに回答いただくようご案内します。

アンケートでは、こうした花店の環境アクションへの評価や、エンガールなライフスタイルへの共感性について回答いただき、向こう3年間、同時期に本キャンペーンを継続することで、お客様の行動変容や活動の浸透度を可視化する計画です。

《 本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先 》
花の国日本協議会 事務局
Mail: info@hananokuni.jp (担当：小川・新井)

1

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ニュースリリース第三弾配信 (9/25)

NEWS RELEASE



花の国日本協議会
Flowering Japan Council

**本キャンペーンを、花店店頭にてお客様に環境アクションを「伝える」きっかけに！
まずは、お客様の手元でこみになってしまう「使い捨てプラスチック」を減らしていきます**

全国の花店から寄せられている本年度「環境アクション宣言」の多くは、花束のラッピングや、配達などの輸送時に使用している透明の「OPPフィルム」を減らしていくことを目標に掲げています。とすると過剰包装に陥りがちな要素をできるだけ排除し、お客様がご自宅で即廃棄することになる「使い捨てプラスチック」類をできるだけ減らそう、という目的です。

6月の環境月間を機に（もしくはそれ以前から自主的に）取り組んでいる花店からは、「思いの外スピーディに軽減できているという声がある一方で、「長年の習慣もあってなかなか取り組みが進まない」「お客様の理解が得られるか不安」といった声もあり、今回の「well-blooming 10days challenge」企画をきっかけに、花店からお客様に積極的にコミュニケーションを図る機会を創出し、活動の推進を実現してまいります。

【キャンペーン概要】

- ◆**キャンペーンタイトル**： well-blooming 10days challenge 「減らそう 使い捨てラッピング」
- ◆**実施期間**： 10/1（火）～10/10（木）（9/25～SDGs週間にあわせてPOP・ミニPOPレット掲出開始）
- ◆**対象店舗**： well-blooming project に参画中の花店約400店舗
※店舗リストは公式サイトをご参照ください→ <https://homeuse-hana.jp/wellblooming/>
- ◆**プレゼント**： アンケート回答者のうち、プレゼント希望の方から抽選で10名様にAmazonギフトカード（デジタルタイプ）2,000円分を贈呈






本キャンペーンで初採用！環境配慮型素材「RETONA FOAM BIO」のPOP

環境アクションを推進する本キャンペーンを通じて、花店店頭で活用するツール類の素材にも環境に配慮していきたいと考えています。国産花き需要拡大推進協議会（事務局：花の国日本協議会）が主催するキャンペーンでは初めて、積水化成工業株式会社（本社：大阪市北区社長：柏原正人）の、PLA（ポリ乳酸）を主成分とした生分解性発泡体「RETONA FOAM BIO」をPOPに採用しました。

「RETONA FOAM BIO」は、植物由来原料を改質して生まれた、新しい生分解性発泡体です。発泡体の特長である省資源・軽量化に加えて、コンポスト（堆肥）など自然界で存在する微生物の働きによって、水と炭酸ガスに分解される環境に配慮した素材で、ハネルに直接印刷加工されたものになります。

さらに新しいチャレンジとして、キャンペーン終了後、全国の花店よりPOPを回収し、使用済みの「RETONA FOAM BIO」を、肥料やメタン発酵に再利用する実証実験も予定しています。

（積水化成工業株式会社は、PLAの開発・市場展開について、戦略的基幹提携契約パートナーのハイケム株式会社と協働）

【詳細は、各社様の下記ニュースリリースをご参照ください】

- * 積水化成工業株式会社
<https://www.sekisukasei.com/jp/a.php?id=705>
- * ハイケム株式会社
<https://highchem.co.jp/topics/240925/>

（画像上）「RETONA FOAM BIO」HSグレードを使用したPOP





* 店頭でお客様に配布する、well-blooming project

（画像左上）「well-blooming project」ミニPOPレット表紙
（画像左下）同・裏表紙 （画像右）同・中面見開き





※全国チェーン「青山フラワーマーケット」「日比谷花壇」では、オリジナルデザインPOPで展開します
注：これらのPOPは、「RETONA FOAM BIO」ではありません。

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(ご参照) コラボ企業からもニュースリリース

SEKISUIKASEI

積水化成工業株式会社

東京都新宿区西新宿2-7-1 〒163-0727
新宿第一生命ビルディング

Tel. 03-3347-9711
ir_pr@sekisuikasei.com

News Release

2024年9月25日

積水化成工業株式会社(本社:大阪市北区西天満2-4-4 社長:柏原正人)の、生分解性発泡体「RETONA FOAM BIO」が、一般社団法人花の国日本協議会(事務局:東京都港区南麻布1-6-30 5F 理事長:井上英明)が推進する、花業界のSDGs活動「well-blooming project」の一環として実施する環境アクション用POPに採用されました。

「RETONA FOAM BIO」が 花の国日本協議会が推進する 花業界のSDGs活動「well-blooming project」の 環境アクション用POPに採用

1. 経緯

花の国日本協議会では、「サステナブル」と「ウェルビーイング」の2つを柱とする花業界のSDGs活動を「well-blooming project」と総称し、環境アクションの推進と、花や植物が人のウェルビーイングに与える好影響を社会に広めていくことを、花業界全体で目指しています。この度、環境アクションの一環として実施するキャンペーンwell-blooming 10days challenge「減らそう 使い捨てラッピング」(2024年10月1日~10日開催)のPOPとして、全国の花店に設置するプリントドサイネージに「RETONA FOAM BIO」を採用いただきました。

2. 内容

「RETONA FOAM BIO」は、植物由来原料を改質して生まれた、新しい生分解性発泡体です。発泡体の特長である省資源・軽量に加えて、コンポスト(堆肥)など自然界で存在する微生物の働きによって、水と炭酸ガスに分解される環境に配慮した素材です。

今例においては、PLAを主成分としたHSグレードを使用し、その剛性や優れた印刷特性を活かして、ディスプレイ向けの板材として使用しています。キャンペーン期間後、全国の花店に回収を協力いただき、使用済みの「RETONA FOAM BIO」を、肥料やメタン発酵に再利用する実証実験も予定しています。

(PLAの開発・市場展開について、戦略的基本提携契約パートナーのハイケム株式会社®と協働)

3. 今後の展開

今後、環境に配慮したサインディスプレイ分野のプリントドサイネージ用製品として、認知度向上を図るとともに、展示会などイベントで使用される他資材分野での拡販を推進していきます。

積水化成工業グループは、持続可能な社会の実現を目指し、既存の資源を有効活用して社会経済活動を循環するサーキュラーエコノミーへの移行に向けて、広くソリューションを提案していきます。

※ハイケム株式会社: <https://highchem.co.jp/>

Copyright: SEKISUI KASEI CO., LTD. All Rights Reserved.



「well-blooming 10days challenge」POP



RETONA FOAM BIO HSグレード

以上

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆10days challenge「減らそう 使い捨てラッピング」 キャンペーンツール (全国約380店で展開)

2024.10/1 tue-10/10 thu

well-blooming project

well-blooming 10days challenge

減らそう 使い捨てラッピング

当店では、花をラッピングする際、プラスチック製フィルムなどの削減に積極的に取り組んでいます。

こうした「環境アクション」にご賛同くださるお客様はぜひ、右の二次元コードより最新のアンケートにお答えください。抽選で10名様に残賞品プレゼント♪

※Amazonギフトカード(デジタルタイプ)2,000円分

ぜひご協力ください

国産花き需要拡大推進協議会 | 一般社団法人花の国日本協議会

well-blooming project 10days challenge 「減らそう 使い捨てラッピング」キャンペーン
←↓店頭POP&お客様配布用ミニパンフ

2024.10/1 tue-10/10 thu

well-blooming project

well-blooming 10days challenge

減らそう 使い捨てラッピング

花屋さんの環境アクションはじまります

自然も人も 健やか♡

COVER FLOWER 【フリーワード】
切花の包装はこれこそ花言葉は健康【長寿】がテーマです。

チャレンジに参加している花店では、花をラッピングする際のプラスチック製のラッピング材を削減し、環境に優しいラッピング材への変更に取り組んでいます。*well-blooming project をこれからはじめたいです！

この10日間チャレンジが終わっても花店の環境への取り組みは続いています。*well-blooming project をこれからも応援してください！

国産花き需要拡大推進協議会 | 一般社団法人花の国日本協議会 | 発行:2024.9.26 | 印刷:2024.9.26 | 印刷所:株式会社印刷 | 印刷所:株式会社印刷 | 印刷所:株式会社印刷

What's "well-blooming"?

今も未来も、自然も人も
ウェルビーイングでサステナブルに
咲きつづけることを目指して

well-blooming project

そんな思いで2024年春からスタートした「well-blooming project」(ウェルブローミングプロジェクト)は、花店、ラッピングなどの資材メーカー、花市場、花産地など、花業界みんなで取り組もうとしている新しいプロジェクトです。

昨年、世界中で時代のキーワードとされる「Well-being」(ウェルビーイング=心身が健康で社会的にも満たされた幸福な状態)と「blooming」(ブローミング=花が咲く、咲き誇る)を掛け合わせたプロジェクト名は、自然の恵みを受けている花業界だからこそ環境問題にもまっすぐ向き合いながら、持続可能、かつ人々の幸せに貢献する存在であり続けたい……!と願いをこめて、命名されました。

活動はまだまだはじまったばかりですが、環境に配慮したアクションに加え、花やグリーンが人々の心身に良い影響をおよぼす驚きのチカラを伝える「#ビタミンF」といった言葉や活動などを通じて、よりよい未来をめざして進んでいきたいと考えています。

Why do we do it? What do we do?

できることから、ひとつずつ
まず取り組むのは
“使い捨てプラスチック”を減らすこと

今夏も酷暑、ゲリラ豪雨などもすごくて……近年地球は温暖化を乗り越えて沸騰化! 農産物などにも影響がでてます。地球はもう待たない状況だと肌で感じている方も多いのではないのでしょうか。

プラスチックの大量生産・大量消費・大量廃棄は、そうした気候変動の加速要因のひとつ。その問題は海洋汚染の深刻化や生物多様性の損失にもおよんでいます。さらに、プラスチックは有限かつ再生困難な化石燃料(石油)が原料で、資源の有効利用のためにも使い捨てプラスチックを減らすことは優先順位が高いとされているのです。

そこで「well-blooming project」では、まずは花店からお客さまの手に渡る“使い捨てプラスチック”を見直すことにしました。

たとえば…

- 使う素材を見直す。
 - プラスチックを紙(紙は分別すれば再生紙としてリサイクルできる)や、バイオマス素材に置き換えるなど、チャレンジを。
 - マイバッグを推奨する。
 - 花店によっては素敵なエコバッグを販売しているところも。要チェック!
- ラッピングのゼロハンをできる限り減らす。
 - 薄いゼロハン(OPPフィルム)はリサイクルが困難。できれば減らしたいプラスチックなのです。

▶このほか、それぞれの花店独自で取り組んでいるアクションも!

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆10days challenge「減らそう 使い捨てラッピング」

店頭展開、アプリ・各店SNSで活動紹介

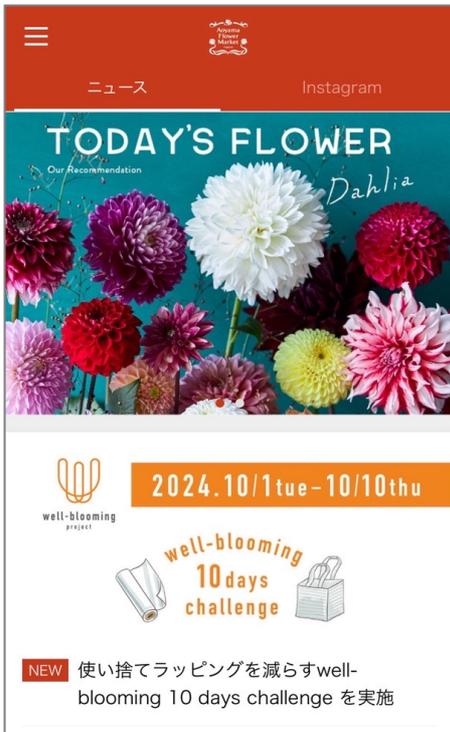


↑日比谷花壇店頭



←リベルテ店頭

↓青山フラワーマーケットアプリ



西濃フラワーSNS ↓



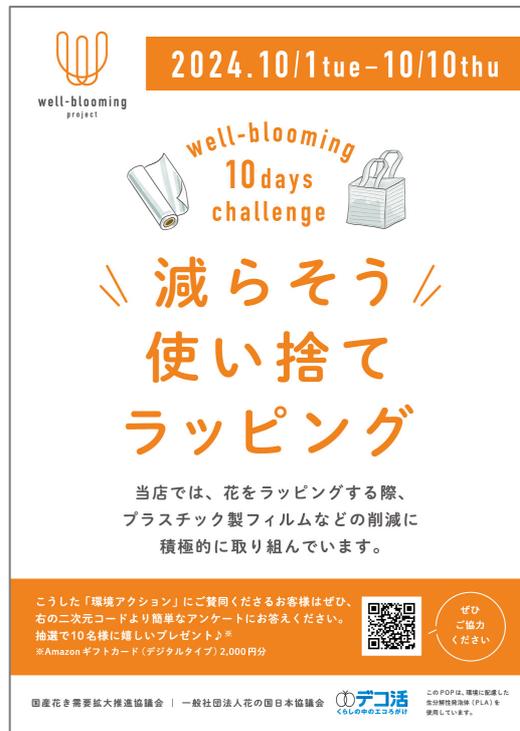
平田花園SNS ↓



③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆10days challenge「減らそう 使い捨てラッピング」

環境について特化したお客様店頭アンケート、初実施



実施期間：2024/10/1（火）-10/10（木）の10日間

実施場所：全国約380店の花店店頭

実施方法：店頭にてお客様にお声がけいただき
POPのQRコードよりご回答いただく

総回答数：**493名**

* 回答者の割合は、首都圏4割、その他道府県が6割
首都圏のお客様の声だけではない点もポイント
環境意識は必ずしも 都市部> 地方 ではない

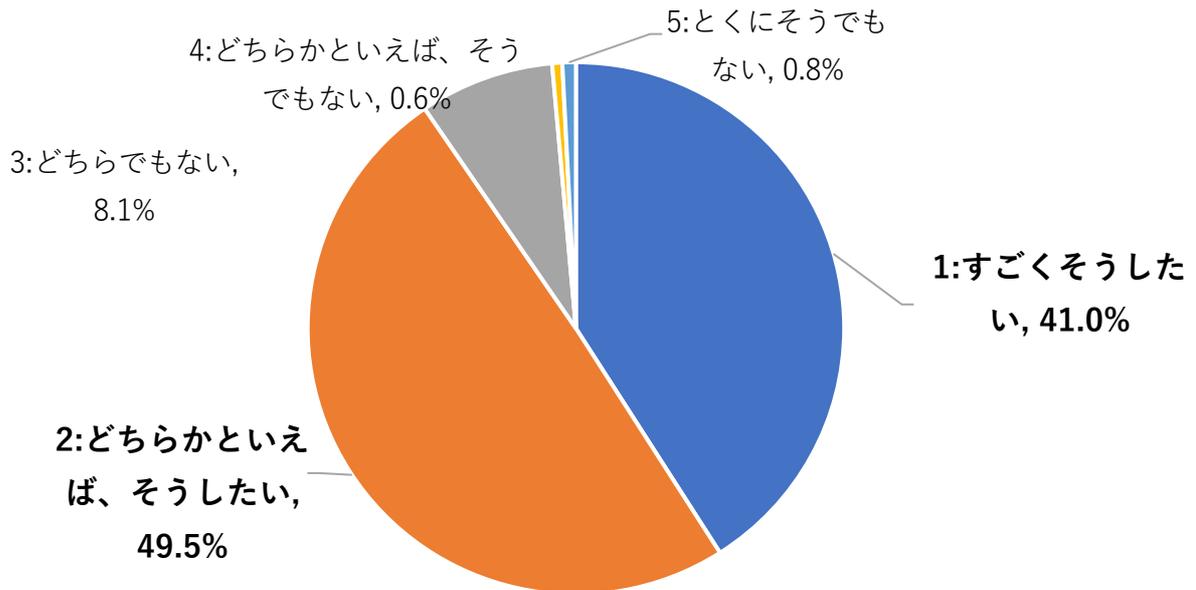
* 回答者の7割が月1回以上花を購入しているヘビーユーザー

* **フリーアンサーの設問への回答率が驚異の7割越え！**
花店の環境アクションに期待、応援する声が予想以上に多かった

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆10days challenge「減らそう 使い捨てラッピング」

Q. 今後、花を購入する際に、
環境への取り組みがある花屋さんを利用したいですか？



回答	人数	割合
1:すごくそうしたい	202	41.0%
2:どちらかといえば、そうしたい	244	49.5%
3:どちらでもない	40	8.1%
4:どちらかといえば、そうでもない	3	0.6%
5:とくにそうでもない	4	0.8%

「すごくそうしたい」
「どちらかといえばそうしたい」
が、全体の9割

ヘビーユーザー（主にホームユース）のお客様が
花店の環境アクションを支持くださっている、と捉えてよいのでは！

※留意点：回答者の7割が月1回以上花を購入しているヘビーユーザー
なので、全てのお客様の9割ではない点に要注意、
花のある暮らしを実践している、花を愛するお客様の声、と
捉えるべし！

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆10days challenge「減らそう 使い捨てラッピング」

今回のキャンペーン&アンケートでわかった重要なこと

超重要：環境配慮の店を支持する お客様の生の声（ほんの一例）

- * 環境への配慮を行なっているお店だと好印象を持つ。
- * 自然の一部である植物に関心があるからこそ、環境への取り組みをぜひしてほしい
- * 花を楽しめる環境が続いてほしいから
- * 花という自然のものを好きなら、自然を大切にす行動として環境について配慮したいと思うから。
- * 自然や地球の環境に対して、関心を持ち取り組む企業から買いたいから。
- * 環境に配慮しているお店は信頼感を感じる。

**花のある暮らし実践者 = 花の売り上げを支えている
花ヘビーユーザーの声である、という点が非常に重要！**

今まで花店の環境施策について聞いていなかったからわからなかった、顧客側の意識の高さ！

- 花も自然の一部 = 環境あつての花
→ 環境アクションにぜひ取り組んでほしい、という応援の声多数
- 自然環境に配慮した花店・企業への共感、信頼感
→ 選ばれる花店へ…！

③ 花店と花流通の環境アクション活動

【ご参照】

全国の花店様店頭でお客様にご協力いただきましたアンケート（493名）の方の多くが、フリーアンサー（自由回答）欄にコメント記入。驚くほど集まったコメント文を「AI」に要約してもらった

Q. このたびは花店の環境の取り組みにご賛同いただき、ありがとうございます！

今後についてお教えてください。花を購入する際に、環境への取り組みがある花屋さんを利用したいですか？

1. すごくそうしたい	環境に配慮したお店を利用することで、エコ意識を持つことができ、買い物が気持ち良く、お店に対して信頼感を抱く。過剰な包装やプラスチックを避け、ゴミ削減に貢献することが重要だと感じている。花を扱うお店には自然を大切に作る姿勢が求められており、自宅用ではシンプルな包装を希望する人が多い。
1. すごくそうしたい	環境問題に対する関心が高まっており、身近な取り組みから始めたいと考える人が多い。SDGsやエコな行動を意識し、環境への配慮は社会貢献であるとの意識が強く、エコフレンドリーな企業を支持する傾向がある。特に、花は自然の一部であるため、環境に優しい取り組みが求められている。
2. どちらかといえばそうしたい	花を購入する際、必要な花を選ぶことが最も重要であり、特に自宅用の場合は過剰な包装を避け、環境への配慮を重視する人が多い。プレゼント用にはある程度の包装が求められるが、環境に優しい素材を使用した包装が好まれる。多くの人が、無駄を省きゴミを減らすことに協力したいと考えている。
2. どちらかといえばそうしたい	花屋を選ぶ際、花の品質やセンスが最優先されるが、環境への取り組みも選択の一因となる。環境問題に対する意識が高まり、店舗がエコな取り組みを行っている、購買意欲が高まる傾向がある。多くの人が、自宅用の花には簡素な包装を望む一方、贈り物には見栄えを重視し、環境配慮も考慮する。

回答者の9割・約450人

3. どちらでもない	お花を購入する際、用途に応じてラッピングの必要性が変わる。自宅用には簡易的な包装で十分だが、プレゼント用には美しいラッピングが求められる。多くの人は、環境への配慮を考えつつも、花の鮮度や見栄えを重視している。
3. どちらでもない	環境への取り組みは重要だが、具体的な内容が分からないため、購入者には実感が乏しいと感じている。理想的には、環境に優しいラッピングを使用しつつ、好みの花を購入できる店舗を選びたいという声が多く、選択はケースバイケースである。
4. どちらかといえば、そうでもない	プレゼントとして買うなら、ラッピングで見た目を良くして欲しいから
4. どちらかといえば、そうでもない	やはり見た目の方が大切かなと思います
5. とくにそうでもない	行っているお花屋さん取り組みがあるならば応援はしたいですが、わざわざ取り組みをしているお花屋さんを選んで行かないと思います。
5. とくにそうでもない	環境に配慮よりも、品質が良くセンスのいい所を選びたい。

回答者の1割・約50人

Q. そのほか、当プロジェクトへのご希望やご意見等ございましたらお願いいたします！

定性コメントをAIが3つの意見にまとめたもの	エコへの期待と協力: 多くの企業が環境に配慮した取り組みを実施することを望み、消費者としても協力したいという意見が多く見られました。特に、環境に優しいシールやエコバッグの導入に興味を持ち、参加したいと考える人が多いです。
	ラッピングと包装の工夫: プレゼント用の豪華なラッピングと自宅用のシンプルな包装の使い分けが求められています。特に、使い捨てないラッピングやエコな素材を使用した包装が期待されています。
	花屋の取り組みと改善点: 花屋さんの取り組みやサービスを評価しつつ、より気軽に購入できる環境や、廃棄される花の再利用など、さらなる改善や新しいアイデアが必要だという意見も多かったです。

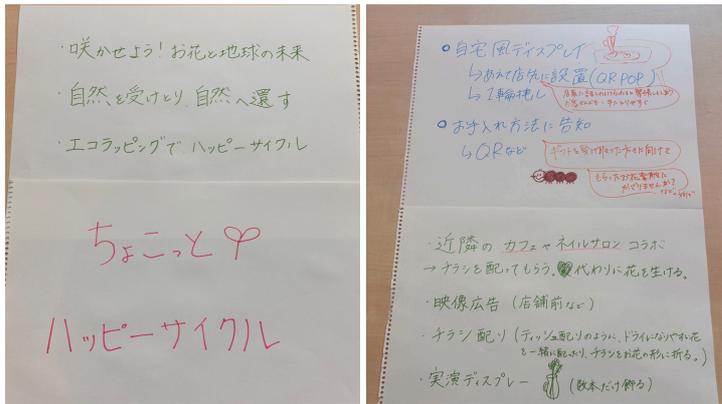
③ 花店と花流通の環境アクション活動

◆well-blooming project セミナー・登壇・勉強会

●小売企業研修

(2024/9/10) 青山フラワーマーケットマネージャー会議

(2024/10/24) リベルテ社内研修会 (内容: wbp、花のABCワークショップ)



対象:
次期店長クラスメンバー

グループワークで活動キャッチコピーや
WS集客方法などグループワーク

●プラスチック業界との交流

大阪万博プレイベント～OBPNセミナー

OBPN=
大阪バイオプラスチックビジネス推進ネットワーク

小川登壇: 「花業界も環境アクション始動!
well-blooming project」

宇山先生のお陰で
こちらで出会った
企業・団体・行政と
現在連携中

OBPN会員他
100名以上がご参加

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆well-blooming project セミナー登壇・勉強会



JFMA 新春セミナー・賀詞交換会
「花き業界のSDGsの取り組み」
 ～サステナブルな花き生産とは～
 ～well-blooming:花き業界の環境アクション活動～

日時：2025年1月15日(水) 14:00-16:30
 (17:00-19:00賀詞交歓会)

場所：ビジョンセンター市ヶ谷 204号室 (東京都千代田区九段南4-8-21)

参加費：5,000円 (賀詞交歓会参加者は別途 6,000円)

定員：50名 (定員になり次第締切)

主催：一般社団法人日本フローラルマーケティング協会

■13:30-14:00 受付 (セミナー開始5分前までにご着席願います)

■14:00-14:05 開会の辞 (敬称略)

■14:05-14:10 開会挨拶 JFMA会長/法政大学名誉教授 小川 孔輔

■14:10-14:40 講演「サステナブルな花き生産とは？」～世界の動向、日本では？～
 MPSジャパン MPS認証コーディネーター 彦田 岳士

■14:40-14:50 休憩

■14:50-16:25 パネルディスカッション 「花き業界の環境アクション活動」

コーディネーター	JFMA会長/法政大学名誉教授	小川 孔輔
パネラー	ジャパンフードフーズ 代表取締役COO	藤目 健太
	東日本板橋花き 代表取締役	樋口 博紀
	日比谷花壇 執行役員 統括部長	藤井 毅
	花の国日本協議会 プロモーション推進室室長	小川 典子

■16:25-16:30 閉会挨拶

■17:00-19:00 賀詞交歓会 @ブルーラウンジ市ヶ谷

2024年の花き業界を振り返ると、気象、円安、物流など様々な問題に影響を受けた年でした。...
 ばせながら、「SDGs」「環境アクション」という言葉が話題にのぼるようになった年でもありました。...
 今あることをどう継続させるか？今やっていることをどう現状に合わせて進化させるのか？そこをこま...
 と気づき、動き始めました。今回は、生産、流通、小売のそれぞれのみなさん、そして環境アクシ...
 き、現状の取り組み、今後可能性についてディスカッションをします。

●業界団体主催

JFMA会員様の
32名がご参加

ハンナ会加盟の
資材メーカー様18社
約40名がご参加



イーどうほくフェスタ
eaTOHOKU FESTA
× フラワーアレンジメント in 青葉の風テラス

イーどうほくフェスタは、花壇にやさしい花と暮らすテーマにした、エコロジー・フレンドリーなイベントです。楽しみながら、学びながら、環境にやさしい花と暮らすための知識やスキルを身につけてください。

★フラワーアレンジメントの基礎から応用まで、お花の魅力を学びたい方におすすめの講座です。

★フラワーアレンジメントの基礎から応用まで、お花の魅力を学びたい方におすすめの講座です。

★フラワーアレンジメントの基礎から応用まで、お花の魅力を学びたい方におすすめの講座です。

環境にやさしいモノづくりって？

#花のABCワークショップ
& 環境にやさしいエコラッピングブーケ作り

お花の初心者大歓迎！
 小学生（高学年程度）からご参加いただけます。

これさえわかれば大丈夫、初めて花と暮らす時に知っておきたい基礎知識を楽しく学ぶ「#花のABCワークショップ」を開催。
 お花業界のサステイナブルな取組について学び、環境にやさしいエコラッピングブーケを仕上げ、eaTOHOKU FESTA特別企画もあわせて行います。
 フラワーアレンジメントをイメージしたピンク系の春の花やアブリュージュをご用意しております！
 小学生以下の参加者は保護者の付き添いをお願いいたします。

花材費：3,000円 (当日現金でのお支払)
 ワークショップで仕上げたブーケをお持ち帰りいただけます。(持ち帰り袋込み)
 手ぶらでお気軽にご参加ください！

ワークショップの参加申し込みはコチラ

講師
 (一社)花の国日本協議会
 フラワーアレンジメントプロデューサー
 小川 典子
 Noriko Ogawa

会社勤めとバラで23歳より花師
 フラワーアレンジメント講師、ブライ
 産直サイト他様々な経験を積ん
 2018年、MPS在職中に花業界
 キャンペーン「フラワーアレンジメン
 進リダーとして花の消費拡大活動
 開始。
 花のあるライフスタイル創造に向け
 「WEEKEND FLOWER 花と素敵な
 未来を」[4年間のABCワークショップ]、
 「ピタピン」の発信などプロモーションを
 開。2024年より花業界のSDGs活
 「well-blooming project」定立上
 環境アクションの推進に着手。未来
 繋がる花文化を創造する活動に感
 中、近著に「花と暮らす素敵な合
 方」(誠文堂新光社)。

ワークショップ
Workshop 11:00-12:30

※花のABCワークショップ
 申し込みはコチラ

WEEKEND FLOWER
 公式Instagram

東北農政局主催イベントにて初めて
 一般消費者向きにwbpの取り組み紹介
 約40名がご参加

ハンナ会 新年会オンライン特別講演

well-blooming project で繋がる持続可能な環境アクション

2025
1.23 THU
 15:00 ~ 16:30
 (90分)

【当日スケジュール】

15:00 ご挨拶
 15:15 ~ 16:15 講演会
 16:30 終了予定

WEB会議システム「ZOOM」
 を使って開催します。

※お申し込みいただいたメールアドレスに
 ミーティングIDとパスワードを弊社に
 お知らせします。

※14:50になりましたらZOOMへ入室を
 お願いします。

※参加者の画面はONにしてください。

講師
 Ogawa Noriko
 小川 典子 氏
 一般社団法人花の国日本協議会プロモーション推進室室長
 国産花き需要拡大推進協議会タスクリーダー
 フラワーアレンジメントプロデューサー

PROFILE
 アパレル、飲料メーカーの花部門・食品部門にて20年間マーケティングに従事。
 2010年より全国キャンペーン「フラワーアレンジメント」推進リーダーとして花の消費
 拡大活動を開始。協議会設立に携わり2014年より現職。花のホームユース提案
 「WEEKEND FLOWER 花と素敵な未来を」、超初心者向け「花のABCワークショップ」、
 ウェルビーイングに貢献する「#ピタピン」の発信など、花のあるライフスタイル
 の定着と未来に繋がる花文化の創造に邁進中。2022年より花業界をめぐる環境課題
 に着手。花店や市場と協業でフェア・ごみ削減に向けた環境アクション、植物残渣を活
 用した地域・異業種連携のサーキュラーエコミーを目指す準備を開始。
 近著に「花と暮らす素敵な合合わせ方」(誠文堂新光社)。

花のある暮らしを応援します
誠文堂新光社
 www.c-w.co.jp

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆well-blooming project セミナー登壇・勉強会

●JFTD花キューピット57静岡支部 講習会 (1/21)

※支部役員・静岡県「花とみどりのキタザワ」取締役 渡辺浩子さんの発案で実現



JFTD 花キューピット
57静岡支部 会員各位

2024年12月吉日

JFTD 花キューピット
57静岡支部 支部長 池谷友伯
指導部長 青藤仰

環境にやさしい花の未来へ！ well-blooming project 講習会のご案内

いつも57静岡支部の運営にご協力をいただき、誠にありがとうございます。
このたび、花の国日本協議会の小川典子さんをお迎えして「well-blooming project 講習会」を開催いたします。世界が抱える環境問題の現状や、国内での事例、エコラッピングの実技やグループディスカッションを通じて、花業界の最新の取り組みをご紹介します。
難しく考えるのではなく「自店ですぐにご紹介いただけます。まずは一歩踏み出しましょう。」
敬具

well-blooming project 講習会 —未来へつなぐエコラッピングを学ぶ— 講師 小川典子さん

一般社団法人花の国日本協議会 プロモーション推進室長/フラワーシーンプロデューサー
フラワーバレンタイン、WEEKEND FLOWER、#花のABCワークショップなど
消費拡大プロモーションに続き、花業界を未来に繋げる環境アクションを推進中。

- ・内容 講義：well-blooming project、環境問題の現状について
実技：環境にやさしいラッピング資材と活用アイデア
ディスカッション：各店舗での「エコキーワード」を作る
- ・日程 1月21日(火) 14:00~16:30 (受付13:30~)
- ・会場 するが花き卸売市場 2階会議室
- ・持ち物 花切りバサミ、ペーパーの切れるハサミ、ぞうきん
- ・参加費 1,000円(税込) 総合精算にてお支払い、非会員は当日現金にて)

静岡支部の
約25名がご参加

③ 花店と花流通の環境アクション活動

◆第3回花エコラッピング研究会共創ワークショップ（11/6）

参加者リスト

リアル参加：18名 Zoom参加：15名

※参加者全員に当日資料とZoom録画を配布

11/6 第3回 花エコラッピング研究会共創ワークショップ参加者リスト						2024/11/6	国産花き需要拡大推進協議会
	リアル参加	業種	所属・役職				
A	薄木 健友	小売	株式会社花佳	代表取締役			北海道
B	蔵田 由貴美	小売	株式会社ワイズスタイル	代表取締役			青森市
B	三浦 素直	小売	パーク・コーポレーション	マーチャンダイジング室 マネージャー			東京都
C	大草 久美子	小売	パーク・コーポレーション	マーチャンダイジング室 商品企画・切花担当			東京都
C	渡辺 浩子	小売	有限会社キタザワ・花と緑のキタザワ	取締役			静岡県
A	荒木 香理	小売	株式会社リベルテ（レミルフォイユドゥリベルテ）	サステナビリティ推進室			東京都
B	駄道	小売	レミルフォイユドゥリベルテ吉祥寺店	マネージャー			東京都
A	西潟 聡	関連資材	株式会社東京堂	マーケティングデザイン担当統括マネージャー			東京都
B	今井 博之	関連資材	株式会社東京堂	商品部マネージャー			東京都
C	米田 博行	関連資材	松村工芸株式会社	東京営業部・部長			大阪府
A	守重 信乃	関連資材	インバック株式会社				東京都
B	平野 拓朗	関連資材	株式会社クレイ	営業部			東京都
C	大橋 隆行	関連資材	株式会社シモジマ	ビジネスディベロップメント部			東京都
講師・コーディネーター／事務局							
	宇山 浩 先生	Zoom	大阪大学大学院 教授	工学研究科応用化学専攻高分子材料化学領域			
	関根 久仁子 先生		カムフル株式会社	代表取締役／環境カウンセラー			
	水野 浩行		カムフル株式会社	取締役			
	鹿子木 慶一		花の国日本協議会／国産花き需要拡大推進協議会	事務局			
	十川 雅子		花の国日本協議会／国産花き需要拡大推進協議会	well-blooming project 担当			
	小川 典子		花の国日本協議会／国産花き需要拡大推進協議会	well-blooming project 担当			
	Zoom参加	業種	所属・役職				
	森澤 有子	小売	新宅生花店	代表			広島県
	浅石 桂子	小売	フラワーショップかおる	店長代理			秋田市
	今井 美穂	小売	Forest	営業企画			千葉県
	浅賀 秀弥	小売	LILAC AVENUE'91	代表取締役			愛知県
	丹内 美裕	小売	株式会社花の店サトウ	企画販促担当			福島県
	田中 武都美	小売	小椋生花店	販売員			鳥取県
	阿部 真己	小売	西濃フラワー	店長			岐阜県
	藤本 祐矢	小売	株式会社ランドフローラ/日比谷花壇・ルコネル	園芸事業部企画担当			東京都
	小林 礼	小売	くさむすぶ	オーナー			千葉県
	塚田 知佳	その他	株式会社Hideyuki Niwa Design Office	営業			東京都
	寺家 依子	関連資材	スミザーズオアシスジャパン	エリアストラテジーディレクター			東京都
	林 彩子	種苗	イノテオ精興園株	営業部営業課			広島県
	大矢 みな	小売	はなも	代表取締役			千葉県
	御供 孝史	小売	東光フローラ	代表取締役			東京都

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆第3回花エコラッピング研究会共創ワークショップ (11/6)

【第1部】セミナー (ハイブリッド)

レクチャー&質疑応答

①最新の環境動向 (カムフル関根氏)

～環境配慮型設計・グリーンウォッシュ～ 先進事例なども交え、次のステップ&紙について

②プラスチック最前線のお話 (大阪大学宇山教授)

※参加者の皆さまには事前に動画を見てきてもらう

～バイオプラ、再生プラ、生分解 (海洋・土壌) などバージンプラ代替資材・器なども～

【第2部】日常的に店頭で環境アクションを伝える

「接客トーク」について各グループ発表



花が好き だからエコも好き
とりあえずスタートしてみました
とりあえずスタートしましょう

いやしのプレゼント いつまでも
ステキな空間 スパシイ地球

花と環境を未来へ

心に響く エコな取り組み
素敵エコは未来の花屋
エコラッピングでセンスと環境を磨こう
オシャレなエコを考えよう!

ミライにつながる エコチャレンジ
未来へのギフトの第一歩
ムダなく品質センスで勝負

未来のことだけでなく、未来から見たイマのこと
すばらしい過去になろう! (サントリー)
10年後、20年後の自分から今の自分へのメッセージ的な
1人の100歩より100人の1歩! (関根先生)

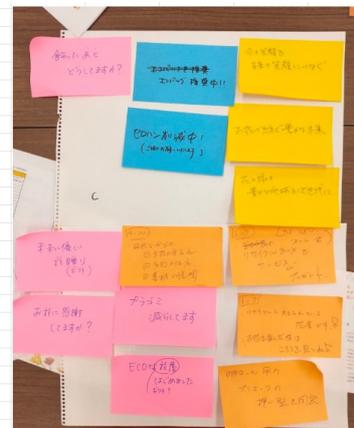
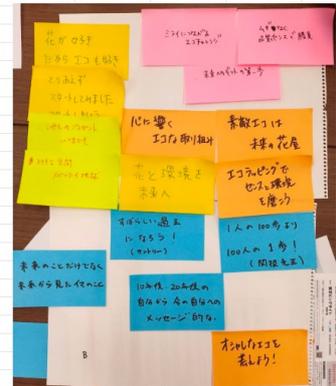
エコバッグ推奨中!
ゼロハン削減中! (ご協力お願いします)

今の笑顔を未来の笑顔につなぐ
お花で訪く豊かな未来
花と緑の豊かな地球を次世代に

飾ったあと、どうしますか?
未来に優しい花贈り (ギフト)
お花に感謝して頂けますか?
プラごみ減らして頂けます
ecoな花屋、はじめました
ecoなギフト、はじめました

【ツール】QRコードでの
①お花の手入れ
②分別の仕方
③素材の説明

【トーク】
カゴ、リボン、袋、フィルムなど・・・
リサイクルBOXをサービス or プレゼント
リサイクルに力を入れている花屋です
お花を楽しんだ後はごちらを見てね!
OPPロール用のプラマークの押し型を開発



③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆ 第3回花エコラッピング研究会共創ワークショップ (11/6)

【第2部】 各社様の環境配慮資材ご紹介&ディスカッション

資材メーカー様より各社様の新商品やイチ押し商品をご紹介&ディスカッションで大いに盛り上がり！
花店様からも現在工夫していることや資材メーカー様への要望をお伝えいただけました。



③ 花店と花流通の環境アクション活動

◆第4回花エコラッピング研究会共創ワークショップ (2/25)

参加者リスト

リアル参加：26名 Zoom参加：17名

※参加者全員に当日資料とZoom録画を配布

2025/2/25 第4回花エコラッピング研究会共創ワークショップ参加者リスト (敬称略)								国産花き需要拡大推進協議会
No.	資料モニター AB	リアル参加	業種	所属・役職		所在地	懇親会	当日グループ
1	A	薄木 健友	小売	フルーロン花佳	代表取締役	北海道	●	A
2	A	渡辺 浩子	小売	花と緑のキタザワ	取締役	静岡県	前向きに検討	B
3	A	奥田 誠	小売	花やの六さん	代表取締役	三重県	●	C
4		荒木 香理	小売	リベルテ/les mille feuilles de liberté	サスティナビリティ推進部 シニアマネージャー	東京都	前向きに検討	B
5		三浦 素直	小売	パーク・コーポレーション/青山フラワーマーケット	マーチャンダイジング室 マネージャー	東京都	前向きに検討	A
6		大草 久美子	小売	パーク・コーポレーション/青山フラワーマーケット	MD 切花商品開発	東京都	前向きに検討	C
7		藤本 祐矢	小売	ランドフローラ	園芸事業統括部 店舗課 企画担当	東京都	前向きに検討	B
8		山崎 洋平	関連資材	シモジマ	営業統括本部	東京都	●	A
9		西潟 聡	関連資材	東京堂	マーケティングデザイン担当統括マネージャー	東京都	●	C
10		川田 聡一	関連資材	東京堂	第二営業部	東京都	●	B
11		根岸	関連資材	スミザースオアシスジャパン	営業	東京都	×	C
12		今井 美穂	デザイナー	薔と蒼	フラワーデザイナー・講師	神奈川県	前向きに検討	A
講師・コーディネーター/事務局								
No.		宇山 浩 先生	ビデオ	大阪大学大学院 工学研究科応用化学専攻高分子材料化学領域	教授			
13		鬼沢 良子 先生		NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット	理事長		●	
14		関根 久仁子 先生		カムフル株式会社	代表取締役/環境カウンセラー		●	
15		山田 秀夫 先生		日本バイオプラスチック協会	事務局長			
16	<A>	花市 岳 先生		フタムラ化学株式会社	フィルム営業本部セルローズ市場開発グループ 兼 糖質事業 糖質営業グループ			
17		森 浩之		日本バイオプラスチック協会	技術担当顧問			
18		駒谷 隆志		日本バイオプラスチック協会	識別表示制度担当			
19		横尾 伸介		日本バイオプラスチック協会	企画調査活動担当			
20	<A>	細井 弘幸		フタムラ化学株式会社	セルローズ市場開発グループ 兼 糖質事業 糖質営業グループ			
21	<A>	森		フタムラ化学株式会社	セルローズ市場開発グループ 兼 糖質事業 糖質営業グループ			
22	<A>	原田 亮太		日本紙バルブ商事株式会社	機能材営業本部 機能材一部化成品・合成紙一課			
23	<A>	篠原 様		日本紙バルブ商事株式会社	機能材営業本部 機能材一部化成品・合成紙一課			
24		鹿子木 慶一		花の国日本協議会/国産花き需要拡大推進協議会	事務局			
25		小川 典子		花の国日本協議会/国産花き需要拡大推進協議会	well-blooming project 担当		●	
26		十川 雅子		花の国日本協議会/国産花き需要拡大推進協議会	well-blooming project 担当		×	
Zoom参加 (前半講義14:05~15:15予定)								
No.			業種	所属・役職		所在地		
1	A	森澤 有子	小売	新宅生花店	代表	広島県		
2	A	福田 智雪	小売	フローラルポート	本店	福岡県		
3	A	長江 康紀	小売	FLORIST MIKI	代表取締役	愛知県		
4	A	蔵田 由貴美	小売	ワイススタイル	代表取締役	青森県		
5	A	平田 知亜	小売	平田花園	取締役	三重県		
6	B	市川 和	小売	ヌポー生花店/はなやのミカタ	販促事業部	長野県	録画	
7	B	山下 泰斗	小売	フラワーショップみなど	代表取締役社長	広島県		
8	B	田中 武都美	小売	小椋生花店	販売員	鳥取県		
9		神子 和義	小売	ファンシーフラワー	取締役	山形県		
10		浅賀 秀弥	小売	ライラック通り	代表取締役	愛知県		
11		佐藤 純男	小売	花の店サトウ	代表取締役社長	福島県		
12		尾藤 徳仁	関連資材	インバック	フラワーパッケージング事業部・常務取締役	東京都		
13		米田 博行	関連資材	松村工芸	東京営業部 部長	大阪府		
14		佐藤 清人	関連資材	シモジマ	特販営業部	東京都		
15		小泉 麻子	関連資材	シモジマ	特販営業部	東京都		
16		河田 牧子	関連資材	東京リボン	クリエイティブ本部・商品開発課	東京都		
17		菊谷 晴美	卸売市場	大分園芸花市場	社長	大分県	録画	

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆ 第4回花エコラッピング研究会共創ワークショップ (2/25)

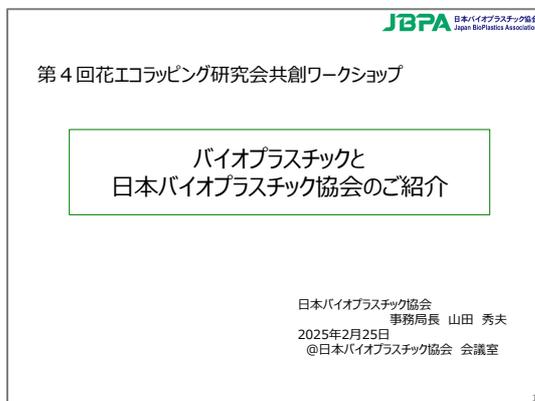


会場：
日本バイオプラスチック協会様会議室

【第1部】セミナー (ハイブリッド)

レクチャー&質疑応答

- ① 日本バイオプラスチック協会・山田事務局長「バイオプラスチックについて」
- ② フタムラ化学・花市様「OPPフィルムとセロハンについて」
- ③ 元気ネット・鬼沢理事長「わかりにくい紙のリサイクル」
- ④ 大阪大学・宇山教授「プラスチック資源循環に向けて」※ビデオレター



③ 花店と花流通の環境アクション活動

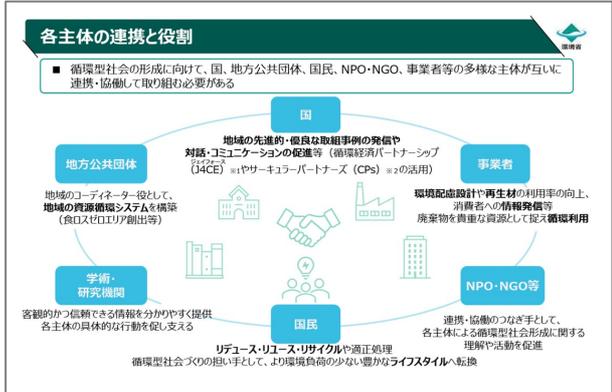
(続き) ◆ 第4回花エコラッピング研究会共創ワークショップ (2/25)

【第2部】環境にまつわる最新情報の共有

我が国の現状・課題と、解決に向けた道筋 (循環経済先進国としての国家戦略)

■ 資源循環への対応は、環境面のみならず、経済・社会面からも重要な社会的課題。
■ 循環経済への移行に国家戦略として取り組み、環境制約的、産業競争力強化・経済安全保障、地方創生・質の高い暮らしの実現といった様々な社会的課題を同時に解決。

環境制約	主な課題・背景	主な政策的対応	実現される将来像
① 気候変動	気候変動による自然環境の劣化	-ネット・ゼロ、カーボン・ニュートラルの統合的施策(資源循環が約36%のGHG削減に貢献可能) -廃棄物の適正処理の確保、有害廃棄物対策	-資源消費の最小化、廃棄物の発生抑制 -気候変動、生物多様性保全、環境汚染防止等の同時解決(シナジー効果) -後継世代に経済成長の絶対的アジャリ
② 産業競争力強化	バッテリー・自動車、包装材料等での再生材料利用の進展 世界資源価格高騰・価格競争力低下の懸念	-環境配慮設計・高度な資源効率で再生材の利得・増大 -CO2フリー・循環性等の国際ルール形成主導 -輸入した原料・食料等の資源を最大限有効利用 -鉱物等の国内外一体的な資源確保を強化	-ライフサイクル全体で徹底的な資源循環の実現 -国内外一体の資源循環体制構築 -製品・サービスの競争力向上 -我が国の国際的なプレゼンス向上
③ 質の高い暮らし	地域経済の縮小、人口減少、少子高齢化、空き家、空き店舗等 大産生・大量消費・大量廃棄型の社会からの脱却が必要	-地域特性を活かし資源循環システムの構築 -地方公共団体が連携協働を促進 -再生材を利用した製品、リユース・リペア、食品ロス・フラスパロス削減等でのライフスタイル転換	-地域産業の振興や雇用創出、コミュニティの再生など、地域課題の解決 -地域資源の特性を生かした魅力ある地域づくり -多様な選択の中で行動・ライフスタイルを転換し質の高い暮らしを実現



EUの最新情報: PPWRを施行へ (インパクト様に教えていただきました)

2022年11月、欧州委員会は、EU域内の包装全般の廃棄物の削減等を目的に、**包装・包装廃棄物規則案 (PPWR: Packaging and Packaging Waste Regulation)** を提案。
2024年3月、欧州委員会、EU理事会及び欧州議会は、トリノで本規則案に暫定合意。
2024年4月の欧州議会本会議で暫定合意案を可決。今後、EU理事会で採択予定。

- ①食品に限らず**全ての包装及び包装廃棄物が対象**
- ②**包装廃棄物削減**に向け、以下の取組を強力に推進
 - ①廃棄削減 (prevention/avoiding waste)
 - ②再利用 (reuse)
 - ③リサイクル (recycling)
- ③**輸入品を含め、多くの規制が2030年より適用**

出典: E U 理事会 HP <https://www.consilium.europa.eu/en/policies/packaging/>

購買における社会・環境への意識

Q. 貴方があなたが買物をする際、その商品が環境や社会に与える影響をどの程度意識していますか。
(1. まったく意識していない 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. いつも意識している)

調査年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	平均
2024年調査	9.3	2.9	9.8	11.0	22.7	16.3	13.4	7.0			5.12
2023年調査	8.5	3.4	9.6	11.6	21.8	16.3	13.4	8.1			5.15
2022年調査	9.8	3.0	9.4	11.1	22.0	15.4	14.1	7.7			5.08

・上位は「ミニマル」「最小限」「ロングライフ(長期的)」「サーキュラー(循環)」に関する項目があった。
・「売上の一部が環境や社会のために寄付される商品を買う」は昨年より3ポイント上昇し4割超に、10~20代ではおよそ割に上。
・10代(16~19歳)と70代が比較的高めの傾向。
・若年層で「不要になったがまだ使えるものは人にあげたり売ったりする」「新品を買わずに中古品を買う」「新品を買わずに借りたりシェアしたりする」といった「サーキュラー」や「シェア」に関する行動が最も高年齢層から変わらないが、特に10代でその数値が高く、いずれも全体から10ポイント以上の差が開いた。

出典: 情報堂「生活者のサステナブル購買行動調査2024」

社会・環境のためになる行動実践度は過去最高に

Q. 貴方、あなたが買物をする際、以下のようなことへの実践度をどの程度意識して買物していますか。
(1. ほとんど実践していない 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. ほぼ実践している)

調査年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
2024年調査	90.9	77.8	76.9	74.7	61.1	55.2	44.8	44.1	42.6	40.1	25.4
2023年調査	88.8	77.7	76.2	74.0	60.8	54.8	44.0	44.0	42.2	38.3	22.3
2022年調査	90.9	78.2	76.2	73.7	62.1	56.5	45.9	45.2	41.0	37.4	22.3

・「売上の一部が環境や社会のために寄付される商品を買う」は昨年より3ポイント~10~20代ではおよそ5割にのぼる。

出典: 情報堂「生活者のサステナブル購買行動調査2024」

70代がサステナブル消費を支持する理由はいくつか考えられます。

若い世代が環境意識の高さや将来への不安からサステナブル消費を支持するのは自然ですが、70代にも独自の背景があります。

- 1. 「もったいない」精神の影響**
70代の多くは、戦後の物資が乏しい時代を経験しており、「物を大切に」「使切らぬ」「無駄を減らす」といった価値観が根付いています。サステナブル消費は、この考えと親和性が高いため、支持しやすいです。
- 2. 健康志向と環境意識の高まり**
シニア層は健康を重視する傾向が強く、有機食品や環境に優しい製品への関心が高いです。また、自然環境が健康に及ぼす影響も理解しやすいため、サステナブルな選択に共感しやすいです。
- 3. 孫世代の未来を考慮**
「自分たちが生きている間だけでなく、子どもや孫の世代により良い環境を残したい」という思いが強く、環境保護や持続可能な消費行動を支持する理由になります。
- 4. 経済的な合理性**
年金生活に入ると、節約志向が強まります。サステナブル消費は「長く使えるものを選ぶ」「リユース・リサイクルを活用する」といった側面があり、コストパフォーマンスの観点からも支持されやすいです。
- 5. 情報の影響**
最近ではテレビや新聞でもSDGsやサステナブル消費が取り上げられることが増え、高齢者もその価値を理解しやすくなっています。さらに、地域活動や生協などを通じて、サステナブルな考え方が広まりやすい環境があります。

こうした理由から、70代の人々もサステナブル消費を積極的に支持する傾向があるのです。

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆ 第4回花エコラッピング研究会共創ワークショップ (2/25)

【第2部】グループディスカッション

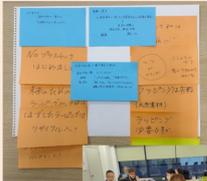
ディスカッションテーマ 2

花業界の環境アクションを伝え、お客様と協働するために
店内にどんなツールが必要か？

具体的な文言と店頭で必要なツールを
考えてください

(5月下旬～6月の環境月間に向けて
使用するイメージ)

ディスカッション・ポストイット内容：Aチーム



- プラ使わない
 - ・「自然のままが一番きれい」
 - ・ 不自然なモノは使いません。
- 資源に還す
 - ・ **エコ資材費用の一部、又は通常資材との差額を募金に**
 - ・ 廃袋を別冊に
 - ・ 保全活動、植林活動
 - ・ 募金箱
 - ・ 基金にする
- **No プラスチック**
 - ・ 花屋である事の原点を伝える
 - ・ 認知行動に響くマーク ステッカー
 - ・ 別袋「ラッピングは有料」「必要ですか」
 - ・ 寄り添う 未来のため、ノープラスチック始めました。
 - ・ 情報を持った模造、資材、**分別QRコード**
- **未来のためのラッピング** やってます
 - ・ マークプラスチックフリー ミシュランマーク
 - ・ 昔のTOPICIT みたいな
 - ・ **はずしたラッピングはリサイクルへ!**
 - ・ ラッピングは有料(天然素材)
 - ・ ラッピング 必要ですか。

ディスカッション・ポストイット内容：Bチーム



- 地球にやさしいラッピングです
- **ウラリリサイクル方法書く。**
- **ラッピング** ※マークや1単語で視覚からわかりやすく
- お客様の参加を向す。プラスチック製の袋の使用の削減のため、マイバッグにご協力お願いします。
- **のぼり** 花業界もやっています
- **ミニPOP**
- **スタンプラリー**
- ECOな取組みをしている店のスタンプラリー
- 花のある未来のために バスケット回収しています
- (大きなテーマとは別に) **自店(自社)の取り組み内容を追加出来るもの**
- **お花柄のエコバッグ**
- 400円でガチャガチャできます!!

ディスカッション・ポストイット内容：Cチーム



- 一緒に考えましょう。地球に優しいエコラッピング!
 - SNSで全国の花屋からのワンカット動画
 - **非営利/営利の別**
 - **ホスター QRや卓上**
 - **商品タグを**
 - お客様に伝える
 - ・ 「Well blooming」としてご自宅用には簡易包装をおすすめしております
 - **動画**
 - **アプリスタンプ**
 - SNS 最新
 - 製品、特典
 - 袋は繰り返し使って頂けます
 - 分別方法 お気軽にお尋ね下さい
 - 花が壊れたまま持ち帰る。エコだね
 - **岡山ラフォーマーケットはWell blooming project を参加しています**
- <言葉>
- 環境にやさしい製品
 - プラスチック減らしていきます。
 - 見せたま持ち帰るのがかっこいい



③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆ 第4回花エコラッピング研究会共創ワークショップ (2/25)

花エコラッピング研究会共創ワークショップで議論、
参加花店の声を反映した新しい店頭ツール開発

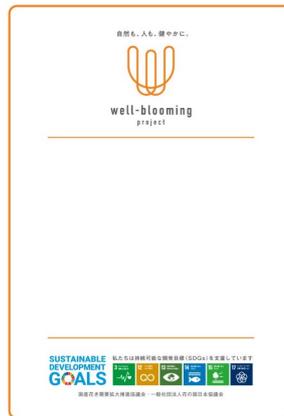
well-blooming project 公式サイト : 会員用ダウンロードツール追加

■well-blooming project説明用POP



- A3 [JPEG >](#) [PDF >](#)
- A4 [JPEG >](#) [PDF >](#)
- A5 [JPEG >](#) [PDF >](#)

■環境アクション宣言用POP



- A3 [パワーポイント >](#) [PDF >](#)
- A4 [パワーポイント >](#) [PDF >](#)
- A5 [パワーポイント >](#) [PDF >](#)

■Sample POP



自店・自社で決めた「環境アクション」
を記載し、お客様や社内への告知に
ご活用ください。

【NEW】 ■環境アクション宣言用POP



- A3 [パワーポイント >](#) [PDF >](#)
- A4 [パワーポイント >](#) [PDF >](#)
- A5 [パワーポイント >](#) [PDF >](#)

【NEW】 ■Sample POP



自店・自社で決めた「環境アクション」
を記載し、お客様や社内への告知に
ご活用ください。

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆ 第4回花エコラッピング研究会共創ワークショップ° (2/25)

花エコラッピング研究会共創ワークショップで議論、
参加花店の声を反映した新しい店頭ツール開発 (続き)

well-blooming project 公式サイト : 会員用ダウンロードツール追加

↓ 新POP4パターン/A3・A4タテ半分サイズ (PDF・jpgで提供)

【NEW】 縦長POP

レジ機など狭いスペースのPOPとして、2枚並べてポスターのように壁に貼るなど工夫してご利用ください。
空欄バージョンは自由に文言を記入してご利用ください。



※掲載ページURL (会員限定)

https://homeuse-hana.jp/wellblooming_pw/

③ 花店と花流通の環境アクション活動

◆ラッピングにまつわる「使い捨てプラスチック」課題の進捗

Reduce 花店の使い捨てプラ削減取り組み事例

「平田花園」の場合

【平田花園】
(三重県桑名市)
hirata-kaen.jp



リボンを従来のものから紙素材に変更

「母の日から取り入れた紙素材のリボンはスタッフからもかわいいと好評で一部の商品から始めようと思っていたのですが、最終的に結構な割合で使いました。お客様からもリボンが細い、従来に比べ質素に感じる、などのご意見もいまのところなく、やはり自然のもの(花)には自然素材のものがしっくりくるんだな、と実感しています」
専務取締役：平田知亜さん



Instagramでも顧客に向けてわかりやすくポスト。ちなみに、発売30年になる「スタンディングブーケ」には、再生プラ製のブーケホルダー(フランス製)を使用。目に見えない部分も環境に配慮している。

「well-blooming project」で使い捨てラッピングやプラスチックの削減を呼びかけるPOPとともに、紙リボンの展示も。意図を伝えながらもかわいらしいディスプレイが素敵。



「花やの六さん」の場合

【花やの六さん】
(三重県津市)
www.hanaya-63.co.jp



ラッピングのセロハン削減 & 顧客理解への注力

「取り組みのひとつとして春より「セロハンの削減」から始めました。セロハンなしに抵抗感がありましたが、お客様に説明をさせていただくと思った以上にご理解いただけていると実感しております。スタッフ間で環境への取り組みを中心に、行うチームを立ち上げ、ポップやカードの作成など取り組みを提案し、社員全体で共有する体制を整えました。「花屋として私たちができること」「私たちが広げること」「受け入れること」を軸とし、取り組みの姿勢が明確にわかるようにできる限りデジタル化することにいたしました。これからは環境への一助となりますよう、肩の力を入れるのではなく、楽しみながら取り組んでまいります」
常務：奥田高代さん



お客様に向けた案内ペーパーを作成し花束などに添付。なぜこの取り組みをするのかなどを丁寧に語りかける内容に好感がもてる。3年前から実行しているコショウランの回収サービスも継続中だ。

「SEINO FLOWER」の場合

【SEINO FLOWER】
(岐阜県大垣市)
seinoflower.net



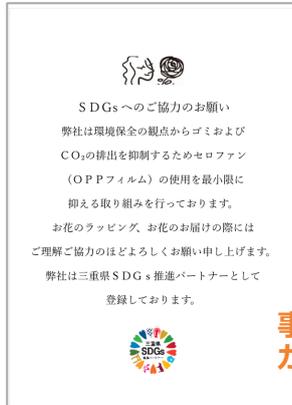
ラッピングのセロハンをできるだけ削減

「花束は雨のときや大きくて形が保たれにくいもの以外はほぼセロハンなしで販売できています。アレンジメントに関してはまだつけてほしいとおっしゃる方もいらっしゃいますが、配達にはほぼセロハンなしです。お客様よりも私たち花屋のほうにセロハンへの固執があるだけだなあと感じました」
店長：阿部真己さん



上/配達のアレンジメントもほぼセロハンなしを実現。左下/店の入り口に「well-blooming project」参加店であることを示すステッカーが。右下/「20歳の新人社員が入ったことをきっかけにセロハンの使用率がグッと下がりました。最初で作ってくれた花束がセロハンなしで、それが当たり前といった感じでしたので、そのままセロハンなしで私も作り始めたという流れです」とも教えてくれた。

雑誌『フローリスト』連載記事より



事例：花やの六さん、ギフトブーケにカードを添付してご理解いただく工夫

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆ラッピングにまつわる「使い捨てプラスチック」課題の進捗

Renewable「紙化」の取り組み事例

Topics2
「well-blooming project」
参加店の取り組みヒアリングレポート

【株式会社日比谷花壇】
www.hibiya.co.jp

「日比谷花壇」の場合

リテール第2事業部 部長
大瀧 久美子さん

広報室
青木 渉さん



2年をかけたラッピング紙化、そしてこれから

1872年(明治5年)創業、全国に約190もの店舗・拠点を擁する「日比谷花壇」。少しずつ環境に配慮した取り組みを行っていたが、2020年ごろからその動きが加速。まずは社会的にもフォーカスされてきていた“プラスチック削減”に力を入れ、店頭

のラッピング資材をセロハンから紙に変更した。リサイクルしづらいセロハンと異なり、紙はリサイクルの優等生。およそ2年の時間をかけて取り組み、いまではラッピング資材は基本的に紙となった。

とはいえセロハンが常識となっていた状況のなか、当初はスタッフの戸惑いも大きかった。会議などで紙化の意図をしっかりと伝え、ラッピングのマニュアルも顧客の声を拾い上げながらよりやりやすく美しいものになるよう試行錯誤を重ねて2~3度は作り直した。使用するペーパーも資材の取引先などと相談しながら少しずつ変化さ

せている。

一方、顧客からの戸惑いの声などは意外と少なかったという。紙化への告知は大々的には行わず、ふだんの営業のなかでシームレスに移した。いまでもとくに要望のある場合や必要な状況であればセロハンを使用することもあるが、基本的にラッピングは紙だ。昨夏には看板商品である置き型花束「Chouchou Fleur」もリニューアル。これまで使用していた保水用のプラスチックカップを無漂白の紙製カップへと変更した。

全店舗においてラッピングの紙化を完了しているが、店舗の立地によっては湿度などの関係でペーパーがよれてしまうなどの問題も出てきており、これからはこうしたケース別の問題を解決していきたいという。また、ラッピングだけでなく、たとえばPOPのパウチをなくして厚紙に変更するなどまずは店舗の見えるところから変えていき、その後見えない店内のことへも進めていきたい考えた。

「花や緑を扱う企業として、できることからでも変えていこう」という思いから環境に対する取り組みを進めてきたと大瀧さん、青木さん。2024年9月11日~25日には東京・渋谷にて同社がめざす持続可能な花店を形にしたポップアップショップ「サステナチャレンジショップ」を展開し、好評を博した。これからの同社の動きにますます注目したい。



期間限定「サステナチャレンジショップ」の様子。プラスチック不使用はラッピングだけでなく仕器も。MPS認証の花とともに一般消費者にアピールした。



花束のラッピング。ハリのある白紙を外側に、花束や季節の色味に合わせたカラーペーパーを内側に配する2枚重ねが基本。

3/保水をプラスチックカップから無漂白の紙製カップへ変更。さまざまに試して辿り着いたのは既存のスプカップをカスタマイズして使うこと。4/お手入れについての説明カードもばっちり準備。頼もしい。



人気の置き型花束「Chouchou Fleur」。デザイナー石井千花さんが描くボタニカル柄のペーパーは季節ごとに変化があり楽しい。



雑誌『フローリスト』連載記事より

12月、店頭で新しい紙製パッケージ発見！！

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆ラッピングにまつわる「使い捨てプラスチック」課題の進捗

Renewable「紙化」の取り組み事例

事例 「減らそう使い捨てラッピング」
花店の取り組み

「株式会社リベルテ」の場合

株式会社リベルテ
les mille feuilles de liberté

サステナビリティ推進部 シニアマネージャー
荒木香理さん



<http://www.liberte-f.co.jp/>

パリで受け継いだ紙のラッピング

東京都内を中心に20店舗を展開する花店「les mille feuilles de liberté」(レミルフォイエドゥリベルテ)。その運営会社リベルテの設立は1979年。設立からしばらくの後、パリのマル地区に本店を構える生花店「レミルフォイエ」と出会い感銘を受け、1999年に現在の「レミルフォイエ東京店」が誕生した。

受け継いだものはそのビジュアルだけでなく、「土に還るもの、“紙”のラッピングにこだわる」信念にも及び、以来、紙とラフィアを組み合わせたセロハンを使わないラッピングを守り続けてきた。



絵画のように美しく、と考えられた白い画用紙にカラーペーパーを合わせるラッピングスタイル。店のトレードマークにもなっている。店のペーパーホルダーには色とりどりの薄紙が並ぶ。束ねるのは基本的にラフィア。

このように早くから環境意識も高かった同社だが、2024年さらなる取り組みを始めた。10月1日から10日間実施した「well-blooming 10days challenge」に合わせて「Going GREEN」と題し、環境に配慮した花束の新品を開発・提案した。



新商品「Bouquet Debout」
—ブーケドゥー そのまま飾れるブーケ。紙製のボックスと保水カップ(下)を使用したもので、名前の通りそのまま飾ることができる。紙製ボックスは組み立てやすくオペレーションもスムーズ。



この新商品「Bouquet Debout」の開発を考えるきっかけとなったのが、クライアントであるヨーロッパのハイブランドからの要望だった。それは取引のあるサプライチェーンとして「CDP」に参加してほしいというもの。「CDP」とは正式名称を「カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト」という国際的NGOで、気候変動など環境関連の課題解決に取り組んでいる。

そのため、同社ではまず現状把握をすべくCO₂排出量の算出等を行うことに。全従業員の通勤距離・手段からCO₂を割り出したり、全店舗の電力使用量やごみの排出量を調べたり——並々ならぬ作業だったがその大変さを乗り越えて、いまでできる限りの調査を敢行。結果、件のハイブランドがCDPの最高スコアAを獲得することにも寄与し、温室効果ガスの削減にかんする具体的な目標の設定も叶ったという。

フローラルフォーム削減を目指して

その目標がフローラルフォームの使用量30%削減だ。それと同時にハイブランドが顧客に贈っていたバースデーフラワー

をブーケスタイルに変更。脱プラスチックが進むヨーロッパでは、プラスチックの一種であるフローラルフォームは避けられる傾向にあり、その現状に沿うように移行した。さらにリベルテの各店舗でもフローラルフォームを削減すべくブーケスタイルを推奨していこうと考え、開発されたのがこの「Bouquet Debout」だった。

さまざまな試行錯誤の末に生み出された「Bouquet Debout」は各店舗で販売され、発売後15日目にして全体で約300個を売り上げるなど好評を呼んでいる。

ホームユースの花束も脱プラスチック

じつは今回、新商品以外に、ホームユースの花を包んでいたセロハンを紙に換えることでも脱プラスチックを図った。



ロゴ入りのオリジナルペーパーを作成し、セロハンの代わりに使用。スタッフに社内アンケートで意見を聞きながらブラッシュアップしていきたいという。

「初めてこうした環境の取り組みに参加させていただいてスタッフの意識が変わったと感じました。従業員が200名ほどいて、もっと戸惑いがあると思っていましたが、

「改めてセロハンをたくさん使っていたと実感した」、「こんなに減らせるんだ」、という声が上がってきました。ひとつのよいきっかけになったと思います」と今回の「well-blooming 10days challenge」への参加について荒木さんは語る。

雑誌『フローリスト』連載記事より

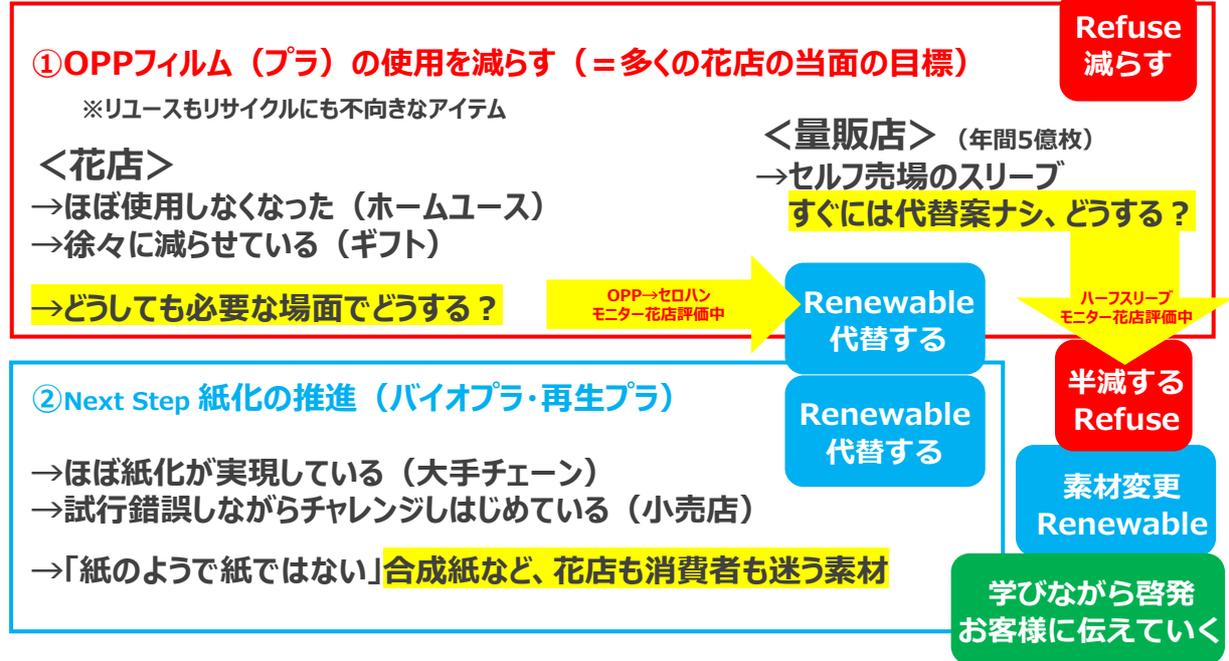
<大手町店>
フローラルフォーム使用の
作り置きアレンジ商品を撤廃
→紙製パッケージの新商品へ



外資の取引先からの
要望がきっかけ
今後は日本企業からも
このような要望
増える状況に備えよう！

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆ラッピングにまつわる「使い捨てプラスチック」課題の進捗



◆資材モニターA OPPフィルム→ゼロハン化計画

- 【ご協力店】
- 企画A:
 - 北海道 フルーロン花佳 様
 - 青森県 Y's Style 様
 - 東京都 Flower Shop 楓 様
 - 神奈川県 フローリストせきど 様
 - 千葉県 花武 様
 - 静岡県 花と緑のキタザワ 様
 - 愛知県 フローリストみき 様
 - 三重県 花やの六さん 様
 - 三重県 平田花園 様
 - 大阪府 サトウ花店 様
 - 広島県 はな平 様
 - 広島県 新宅生花店 様
 - 広島県 フラワーショップ華や 様
 - 福岡県 フローラルポート 様
 - 企画B: 年間5億枚使用
 - 長野県 スポ一生花店 様
 - 大阪府 Flower Me-you 様
 - 広島県 フラワーショップみなと 様
 - 鳥取県 小椋生花店 様
 - 福岡県 花Urara 様

Floral Port

北九州「フローラルポート」
福田社長のブログより

	ゼロファン	OPPフィルム
耐水性	×	○
耐熱性	○	×
透明度	○	○
印刷適正	○	○
強度	手で切れる	袋の裏面部以外は切れない
生分解性	○	×

BLOG

OPPとゼロハン

Category: スタッフより、新商品、ブログ

2025.02.18
北九州市小倉北区大手町、唐山公園前にあるフラワーバーレー田舎です。

OPPフィルムとゼロハン。どちらも透明な素材です。

花屋さんで通常使われているのがOPPフィルム。ゼロハン(ゼロファン)はわかりやすく言うとゼロハンテープです。

これ、どう違うのか?

この違い、実はよく知りませんでした。

今全国規模で、花業界で「ウェルブルミミングプロジェクト」という環境アクションが始まっています。当店も賛同し、このプロジェクトに関わっています。

今回花屋で使っているOPPフィルムをゼロファンに置き換えられないか?という試みを行っています。昨日サンプルでゼロファンのロールフィルムが当店に届きました。

ちょっと触感が違いますが、透明度は高い。水に弱く強度が少し劣るようですのでこれから試しに使用用途や使う場面を検証していきます。

ゼロファンは木製パルプ原料なので燃やすと燃えて有毒ガスが発生しない。OPPは燃えずに腐げます。

詳しくは→ゼロファンとOPPの違いについて

ご興味のある方は当店で実際に触っていただけますのでお申し付けください。

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆資材モニターA OPPフィルム→セロハン化計画

三重県「平田花園」より



左2本がセロファン、右がOPP



透明感の違い＝
左がセロファン、右がOPP

わざと手でくしゃっと
左がセロファン、右がOPP



セロハン耐水性確認
＝3日目から水分を
含んでふやけた感じ、
4日目に外側にしみて
きた



青森県「Y's STYLE」より

環境への配慮の観点から、出来ることの一つとしてこういった資材を取り入れていければと思っていたので、知る、使ういいきっかけとなった



セロファンのシワが
特に気になる



左がセロファン、シワが目立つ
右はOPP、ハリがあってきれい



左がセロファン、右はOPP、
透明感も並べると違いわかる

③ 花店と花流通の環境アクション活動

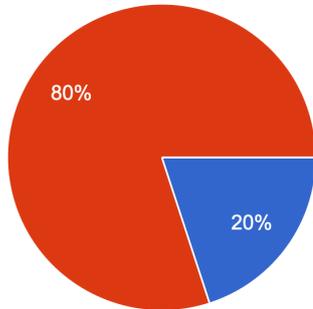
(続き) ◆資材モニターA OPPフィルム→セロハン化計画

事後アンケート回答

アンケートフォーム12問（設問ご確認用）：<https://forms.gle/JgEw1C5VSDfdcve6A>
15店舗中15店舗（全店舗）のご回答

3)

日頃ご使用の「OPPフィルム」と「セロハン」は...来でプラスチックではないことをご存知でしたか？
15件の回答



- 1 もともと知っていた
- 2 今回のモニター企画を通じて初めて知...
- 3 現時点で違いをよく理解できていない

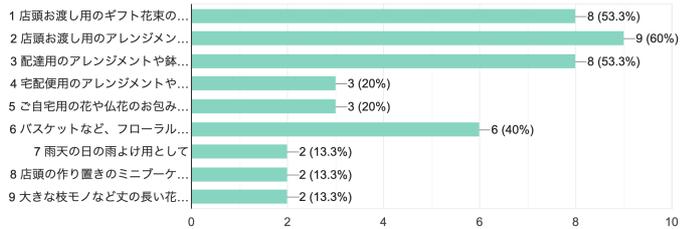
セロハン認知

セロハン用途

4) 今回のNature Flex「セロハンロール」をどのような用途でお試されましたか？（複数回答可）

- 1 店頭お渡し用のギフト花束のラッピングとして
- 2 店頭お渡し用のアレンジメントや鉢物のラッピングとして
- 3 配達用のアレンジメントや鉢物、花束の保護用として
- 4 宅配使用のアレンジメントや鉢物、花束のラッピングとして
- 5 ご自宅用の花や仏花のお包み用として
- 6 バスケットなど、フローラルフォームの保水用として
- 7 雨天の日の雨よけ用として
- 8 店頭の作り置きミニブーケや仏花、アレンジメントのラッピングとして
- 9 大きな株モノなど丈の長い花材のお包み用として
- その他...

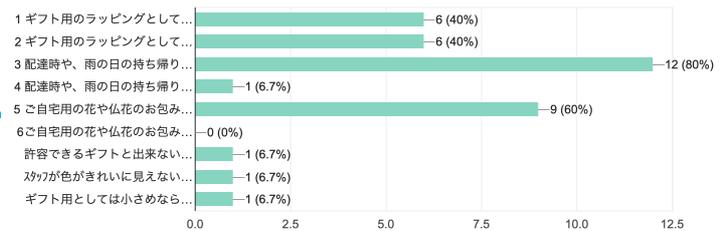
4) 今回のNature Flex「セロハンロール」をどのような用途でお試されましたか？（複数回答可）
15件の回答



5) 今回のNature Flex「セロハンロール」は、OPPフィルムに比べやや透明感が劣ります。そのあたりの許容度について教えてください。（複数回答可）

- 1 ギフト用のラッピングとして許容できる
- 2 ギフト用のラッピングとしては許容できない
- 3 配達時や、雨の日の持ち帰りの保護用として許容できる
- 4 配達時や、雨の日の持ち帰りの保護用としても許容できない
- 5 ご自宅用の花や仏花のお包み用としてなら許容できる
- 6 ご自宅用の花や仏花のお包み用としても難しい
- その他...

5) 今回のNature Flex「セロハンロール」は、OPPフィルムに比...ます。そのあたりの許容度について教えてください。
15件の回答



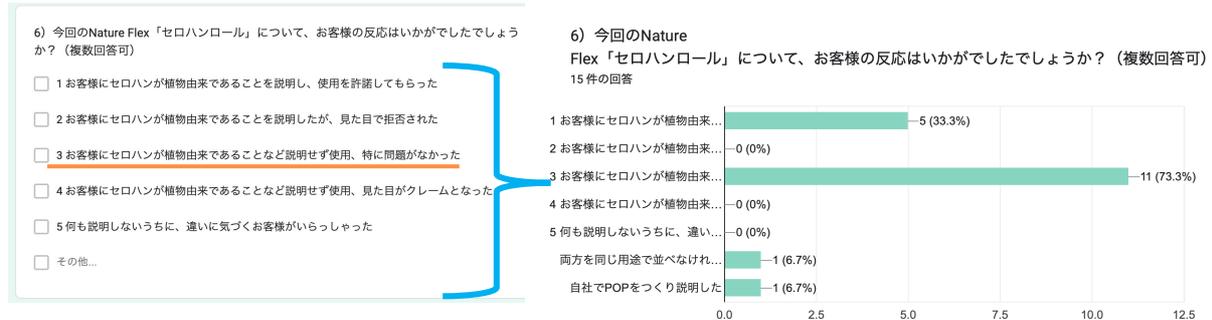
セロハン透明度の関する花専門店の許容範囲

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆資材モニターA OPPフィルム→ゼロハン化計画

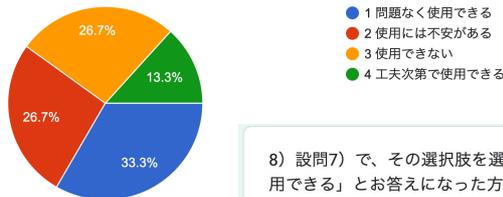
事後アンケート回答

15店舗中15店舗（全店舗）のご回答



ゼロハン消費者の許容

7) 今回のNature Flex「ゼロハンロール」について、バスケットA...水用に使用することについてはいかがでしょうか？
15件の回答



ゼロハン防水性 (吸水性スポンジ対応)

8) 設問7)で、その選択肢を選ばれた理由を具体的に教えてください。（選択肢「4 工夫次第で使用できる」とお答えになった方は、どのように工夫されたかも教えてください）
12件の回答

- 染みってくる程度ではありますが、ラッピングペーパーやかごにも染みってくるので不安がある。
- 水を含むと柔らかくなる
滲んだ感じがする
- 試してはいたのですが、参考画像等でしみ等があるようなので、実際お客様の商品へ使用するには不安がある
- この用途でしわ、色は問題ないが、長期使用では水分が染み出てきてしまう
- 当店のバスケットはライナー付きのバスケットを使っているのでライナーの内側で使用しています。
一枚ゼロハン引くだけで消費者が水を足すのに足しやすくなります。
- 水に濡れると柔らかくなるので耐久性が心配
- 試した結果、水漏れがあったため。
- やや薄く透明感はないですが、スポンジの保水用などのファンデーションワークは、見た目の透明感が劣る事もお客様にはわかりにくいので全く問題なく使用できると感じました。
- フラワーベース（籠タイプ）使用した場合、漏れるというより何となく水分が滲んでいる。
別タイプのフラワーベースに使用したが同様の現象があった。
- 特に濡れもなく使用できたため
- ご自宅用などの包装はゼロファンでも大丈夫かなって感じます
- アレンジの吸水スポンジに使う際には、ラッピングペーパーと重ねて使うため、問題なく使えました。
- 弊社はアレンジにはカラーゼロハンを使用していて薄手の素材は万が一破れる心配があるため
漏れなどなく使用できた

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆資材モニターA OPPフィルム→セロハン化計画

事後アンケート回答

15店舗中15店舗（全店舗）のご回答

セロハン／OPPフィルム作業性について

9) 「セロハンロール」について、OPPフィルムと作業性の違いについて、気づいた点や気になった点をできるだけ詳しく教えてください。（ロール幅による違いもあれば教えてください）

12件の回答

OPPに比べ裂けやすいので扱いに注意が必要と感じたが、気を付ければ問題ない。

ハリ感に乏しく、胡蝶蘭のラッピングには向いてない

保水性に問題がある
しばらくすると、滲んだ感じ

もう少し厚みがあると使用する時捌きやすい

大きな物への使用が難しいので、幅は短くてもいい

大きいアレンジメントで使用しましたが、ハリが無いので大きいものだと垂れてしまう。

- ・張りが違うので、ラッピングではもたつきが有り、慣れた手さばきがし難い。（引っ張る力具合など）
- ・二種類のカットサイズのを常時使用しているので、サイズ感がつかみにくく無駄が出る。

アレンジメントの包装くらいしかフィルムは使ってませんが
70cmと50cmのロールに使い慣れております

OPPのように厚みの違うセロハンロールが欲しい

普段使用しているOPPフィルムに比べやわらかく、しわが残りやすいので気を付けた。

やや、薄いので、ハリが無かった(番手にもよるのかもしれませんが)ので、ラッピングの時に、カチッと決まりにくい感じはありました。

薄さの違い程度でそんなに違和感なし

短いロールはブーケのラッピング時に切る必要がなく、使いやすかった。

セロファンの方がどうしても濁った感じがあるので、ギフト用の花束などでは難しいと思った。

柔らかくシワになりやすいので、花束の保護に使うには向かないと思いました。

弊社は#50の厚さを使用しているため薄さが気になった

色が少し気になる程度で使用上は大きく問題ない

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆資材モニターA OPPフィルム→セロハン化計画

事後アンケート回答

15店舗中15店舗（全店舗）のご回答

セロハン使用感

10) 「セロハンロール」を使用してみて、ご自身、および貴店スタッフのご感想やご意見がありましたら教えてください。

12件の回答

透明度は確かにOPPに劣りますが、お客様の的には全く気になさらない様です。むしろ環境にやさしいというお話をすると感心される方が多いです。

自店アピールとして、環境に配慮しているという話がお客さまと出来て良かった

但し、口頭で伝えるにはアピール感に乏しく、簡単な説明書等有れば良かった

スタッフ教育用にも使えるので

コスト的に、違いを数値化してほしい

やはり見た目の透明感やハリは、OPPフィルムに比べ劣るので使いづらいと思う反面、環境問題等を考えたときに日々使うものなので環境にやさしい方がいいので、悩ましいと感じました。

(スタッフから) 使いにくさ、色、しわ等気になるところはあるが、使う時の罪悪感が無いのが、気持ち的にとても楽。

環境問題への取り組みをお客様にご説明できたことは良いきっかけになったと思います

厚みや幅などのバリエーションが増えれば使用用途も増えてくると思う

モニター中であることを知らないスタッフが、セロハンロールでラッピングしてあるアレンジメントに触った際、「いつもよりフィルムが柔らかいというか、違う感じがしますが大丈夫ですか?」と聞いてきました。無意識に触れても違いがあるのだと、気づきました。

透明感がやや劣るので、OPPで慣れているからか「お客様の反応が不安」と、感じながら使用しました。(これは慣れだと思います)今回お客様には何の告知もせず使用しましたが、セロハンについて不満を言われたりする事もなかったので、仮に本格的に導入となってもすんなり行く気がします。見た目の透明感が劣る事は、ほんと、使う花屋の「慣れ」だと思います...

花束を包むラッピングに使用すると花の色目がこもって見える。クリアでないため全体を覆うように使用することには難しい。なるべく花にかぶらないようにラッピングしたとしても本来の花を保護する役割にはならない。ほんのり茶系の色がどうしても目立ってしまう。

※セロハンの普及が望ましいですが、水漏れが一番の弱点。環境価値が高いのは非常に魅力的ですが、実際に取り入れるのは難しい。水漏れ対策、透明度が上がれば需要は高くなると予想。価格もOPP同様が望ましい。

OPPフィルムに比べて、張りがなくすぐにしわになってしまった。また、くすんでおりお花がはっきり見えなかった。

セロハンロールの方が柔らかいので、工夫次第では使いやすいと思います。

小さなアレンジをラッピングする程度なら使えると思いましたが、花束には向かないと思いました。また、カットしてしばらく置いておくと、ちょっとベタつくような気がしました。

環境への意識をしているPRにはつながった

環境保護への取り組みの第一歩となった

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆資材モニターA OPPフィルム→セロハン化計画

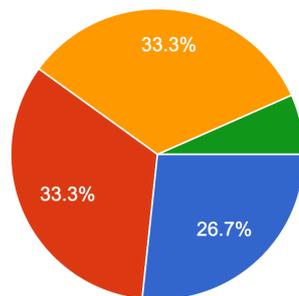
事後アンケート回答

15店舗中15店舗（全店舗）のご回答

OPPフィルムの使用状況とそれを踏まえたセロハンの活用可能性について

11) 貴店における、現在のOPPフィルムの使用状況を教えてください。

15件の回答



- 1 一年前に比べ、OPPフィルムの使用...
- 2 一年前に比べ、OPPフィルムの使用...
- 3 一年前と同様に、OPPフィルムは常...
- 4 もともとOPPフィルムはほとんど利...

11-b) 11) で「1」と回答した方にお伺いします。OPPフィルムの使用を格段に減らせているので、「セロハン」も必要なさそうでしょうか？もしも使用するとしたら、どのような用途や場面が考えられますか？

4件の回答

セロハンは場合によっては必要です。しかし、アレンジなどの保護としては紙を使用しています。

防水、という面では今のところ不可欠。減らせるけど、無くせないのが現実。

確かに、アレンジメントのバスケットと吸水性スポンジとの間の防水の効果が無いのでそうかもしれません。

将来的には不要になることを望む。まだまだ時間がかかりますが。

11-b) 11) で「2」「3」と回答した方にお伺いします。現在使用のOPPフィルムから、「セロハン」に切り替えることはできそうでしょうか？（価格は同等と想定して）切り替えの可否、用途による使い分けの可能性など、教えてください。

7件の回答

全く問題ない。

おそらく完全には難しいとは思いますが、使い分けをもう少しはっきりさせることや、デザインを工夫することで切り替えられるものがあれば今より使用場面も増えるのかなと思います。

ラッピングとして使用可、ただし花束に使用した場合触感として違和感はある

価格的に変わりがなければ、切り替えは可能と感じます。前の設問でも答えましたが、とにかく透明感が劣るという欠点？も、すごく。と、いうわけではないので、とにかく使う花屋一人一人の「慣れ」だと思います。

ギフト用の場合は、お花がきれいに見えないためOPPシートの使用を継続すると思う。

不可 セロファンがもう少し厚手で透明になれば切り替えを検討します

スタッフ間でも、環境のことを考えてセロハンに移行した方がいいのではないかと話が出たので、価格に大差ないのであれば用途に応じて変更していけたらと思います。

全てではないですが環境に配慮して少しずつ切り替えも必要かなと考えるきっかけになりました。できれば価格は安価なほうが良いですね。なかなか資材に付加価値を付けづらいです。

シチュエーションによっては使用可能できる。透明度の改良を要する。

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆資材モニターA OPPフィルム→ゼロハン化計画

事後アンケート回答

15店舗中15店舗（全店舗）のご回答

ゼロハン価格について

12) 最後の設問になります。今回ご使用のNature Flex「ゼロハンロール」の価格感について教えてください。現在購入しているOPPフィルムと同幅・同長さとして、どのくらい割高でも許容できそうですでしょうか？

12件の回答

2割増し程度ならすべて切り替えると思う。

1割なら導入します。

同じくらいの価格帯であれば検討したい

同価格（もしくは低価格）が理想的だが、多少高くても移行したいと考えている。（使う側の気持ちの問題、お客様に処理を説明しやすい、高いと思うと節約する）が、完全防水が前提になる。

当店は、アレンジメントの包装、ベースのインナーしか使用していないので価格は気にしてません。やるか、やらないか気持ち一つではないかと思えます
もちろん、当店は賛同致します

出来れば同じ価格帯が望ましい

OPPフィルムより安価なら検討したいが、防水の意味でOPPフィルムをゼロにはできないので結果的に両方仕入れることになるのは負担だと感じます。

同価格なら検討できると思います

1割増か同価格ならマーケット需要あり。その前に花屋の意識を変えないとスタートラインが切れない。

割安ならば使用すると思うが、同じ価格帯ならばOPPフィルムを使用してしまうと思う。ただ、短めのロールは使いやすかったため検討してもよいかもと思った。

同じ価格なら検討したい

同じ価格帯なら検討したいと思います。

20%プラスぐらいでしょうか

同価格なら使用を検討したい。

③ 花店と花流通の環境アクション活動

◆ 資材モニターB ハーフスリーブ化計画

広島県「フラワーショップみなと」より

弊社では、対象サイズのパック花の花の長さは55cmで加工しています。

- 50cm丈スリーブ：現在使用しているものと同サイズ
- 45cm丈スリーブ：今回のモニター対象で使用★
- 35cm丈スリーブ：花55cmには短く、下側が広く開きすぎ

①見た目 商品として全く問題ない

②加工

良い点： レーン作業でスリーブに入れやすく効率が上がる
(スリーブ下側が広いので)

蒸れが抑えられる

スリーブの在庫スペースが縮小できる (少々ですが)

改善点： 下から枝分かれしているS P 状の花の場合はゴムがかかりにくい (※1)
上まで脱葉する必要がある

③店頭 スリーブの下部分はバケツで隠れているので見た目は変わらない

蒸れが抑えられる

仏壇用などに短くすることを希望される場合に、切りやすい (スリーブが干渉しない)

結果、弊社では全く問題なく導入できます。(※1を除く/特に夏は良い)

希望としては、最も多く使用するサイズなので、短くなった分コストダウンを図ることができれば最良。

島根県「小椋生花店」より

※今回お送りしました3種類のスリーブ、一番長いものから「L」、「M」、「S」と表現しますので、ご回答も「L」「M」「S」でお答えください。また、「長さ」は、切り取り線の下から、スリーブ本体の長さでお願いいたします。

◆Q1：貴店では通常スリーブをどのような商品でご使用ですか？あてはまるもの全てに○をしてください。

③④は具体的に教えてください。

(○) ①スーパーなどへの納品分

() ②自店の店頭商品のうち仏花

() ③自店の店頭商品のうち仏花以外 () 例：榊、洋花単品

() ④その他 ()

◆Q2：スリーブを使用する花束の制作はどのようにされていますか？あてはまるものに1つだけ○をしてください。

(○) ①基本的に手で組んでいる

() ②基本的にタバリンのような機械を使用している

() ③商品によって手組みと機械を使い分けている

◆Q3：貴店で日頃、最も多く使用しているスリーブは、「L」「M」「S」のどの長さのものになりますか？あてはまる長さが無い場合は、実際の長さを教えてください。

Lサイズ相当のもの

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆資材モニターB ハーフスリーブ化計画

(続き) 島根県「小椋生花店」より

- ◆Q4：Q2でお答えいただいた長さのスリーブは、毎月何枚くらい使用していますか？月によってばらつきがあると思いますが、平均すると何枚くらい教えてください。

1500枚程度

- ◆Q5：貴店では日頃、スリーブを使用する花束を約何センチで制作されていますか？代表的な商品の花丈（長さ）について教えてください。
例：仏花（〇cm）、洋花単品（〇cm）、マム単品（〇cm）・・・など

罎やスイートピーなど元々短めの花以外は洋花、仏花全て60センチで制作。

- ◆Q6：私たちは今回の実験で、今まで「L」サイズ相当の長さのスリーブを使用していた商品が、今回お送りした「M」サイズでも問題ないかどうか、検証できればと考えました。「M」サイズのスリーブの使い勝手がどうだったか、良い点悪い点含め、具体的に教えてください。（もしも、もう少し短くても大丈夫そうというご意見がありましたら、何センチでも大丈夫そうか教えてください）

Mサイズ相当のものは、当店で制作している60センチのパック花に対して短く、正直使いづらかったです。葉っぱもたくさん落とさないとイケなくなり、やや手間が増えた感がありました。いつも、手作業で輪ゴム(18サイズ)を使ってまとめているのですが、スリーブから出ている茎部分が長いので、まとめるに苦しかったです。逆に上辺が広すぎた気がするので上辺を短くして長さを長くしてもらえたらなあ、と思いました。

- ◆Q7：今後、「M」サイズが販売されるようになったら、購入されるご意向はありますか？価格面とあわせて教えてください。（例：今までと同じ価格でも買う、価格が安くなれば検討したい・・・など）

Q6の回答の通り、当店の現在のパック花60センチに対して今回のサイズでは使いにくかったので、サイズ感やもちろん価格面についても、検討を要するかと思います。

- ◆Q8：「S」サイズについては、長さに対して上辺も下辺も長すぎたことと思いますが、このままで使用できる場面がありましたでしょうか？（例：鉢用のスリーブ、花部分の保護・・・など）試してみただけいまいちだった・・・といったことがありましたら、そちらも教えてください。

Sサイズについては罎や短めのお花に使いました。時節柄、ミニブーケにも使いました。こちらについては、これまで長いものを短く切って使っていたので良かったのですが、確かに言われてみると。。。上辺下辺がもう少し狭くても良いのかも??



③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆資材モニターB ハーフスリーブ化計画

(続き) 島根県「小椋生花店」より

- ◆Q9：現在のスリーブの原材料はOPPフィルムというプラスチック（石油製品）になります。社会的に、できるだけ使い捨てのプラスチックを減らしていこう、という風潮がこれからますます強まると思われますが、「スリーブ」に関して、現在（もしくは以前でも）何か取り組んでいらっしゃることはありますか？

当店はこのプロジェクトに参加した当初から、スーパーに納品したお花が残念ながら売れ残り回収した場合、スリーブを外して、汚れを拭き取り再利用しています。初めは「拭いたとはいえ再利用は汚い感じがするなど言われなかなあ？」と、不安な部分もありましたが、お客様や納品先も、すんなりと受け入れて下さっています。最初は面倒くさがっていた店主やスタッフも今では普通に再利用をしてくれています。

- ◆Q10：（スーパーなど量販店とお取引がある方へ）最近スーパーなどで、食品用のトレー回収などご家庭で排出されるプラスチック容器の回収などが始まっています。貴店のお取引先でもそのような取り組みはありそうでしょうか？

食品用トレーの回収ボックスが設置されており、利用しているお客様が多数おられます。

- ◆Q11：最後に、今回のモニター企画にご参画いただきまして、お気づきの点やご意見・ご感想がありましたらぜひ教えてください。

当店では、長年当たり前のようにパック花のサイズを変更せずに60センチで制作して来ましたが、これから切り花も出荷サイズが短くなっていくと予想されます。ほぼ、すべてのお客様は(特に仏花)は、半分くらいのサイズにまでカットして飾ってられると思います。スーパーパック花自体のサイズの見直しが必要だと感じました。タイミング的に繁忙期前～繁忙期最中の検証となり、しっかりと検証できなかったのが、残念であり申し訳なくもありますが、もし、またこのような機会があれば、その時はお客様にもモニターとなっていただき、一緒に検討して頂けたら、と思います。

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆well-blooming project メディア露出



プロジェクトの目的は、花業界全体がSDGsの達成に向けて活動することです。国産花需要拡大推進協議会（事務局・花の国日本協会は）の「エルブルミーンプロジェクト」を開始し、全国の生花店約300店舗が参加し、店頭から環境配慮の生花を販売し、SDGsの達成に貢献することを目的としています。

花き業界もSDGs

プラ削減や認証品販売 店頭から環境配慮

プロジェクトに110団体

花き業界では、持続可能な消費（SDGs）の達成に向けて取り組みが始まっている。消費に近い生花店店頭から環境配慮の生花を販売し、SDGsの達成に貢献することを目的として、プロジェクトを期間限定で展開する。花き業界では、持続可能な消費（SDGs）の達成に向けて取り組みが始まっている。消費に近い生花店店頭から環境配慮の生花を販売し、SDGsの達成に貢献することを目的として、プロジェクトを期間限定で展開する。

「環境配慮型」の生花を販売し、SDGsの達成に貢献することを目的として、プロジェクトを期間限定で展開する。



トレンド情報局



環境配慮型生花を販売する生花店（ササチヤテナチャレンジショップ）

新聞記事&WEB

2025年3月18日（火）
日本農業新聞
流通経済5ページ
<https://www.agrinfo.co.jp/economy/index/294623>



2025年4月16日（水）
朝日新聞に連載



Local Journal

2025年(令和7年)4月16日(水) 13版 地域総合 18

全国各地の話題や人気企画をお届けします

挑戦の春 大人だって

新年度が始まりました。春は新たな取り組みを始めるには格好な季節です。全国各地の記者が取材した「挑戦する人たち」の記事を紹介します。
(印刷や開書などは記事掲載時のものです)



環境配慮型生花を販売する生花店（ササチヤテナチャレンジショップ）

食と農のいま

生花、産地も店先も環境に配慮

SDGs 業界で取り組む

花き業界では、持続可能な消費（SDGs）の達成に向けて取り組みが始まっている。消費に近い生花店店頭から環境配慮の生花を販売し、SDGsの達成に貢献することを目的として、プロジェクトを期間限定で展開する。

「環境配慮型」の生花を販売し、SDGsの達成に貢献することを目的として、プロジェクトを期間限定で展開する。

③ 花店と花流通の環境アクション活動

(続き) ◆well-blooming project メディア露出

世界的園芸専門誌『Floriculture International』4月号

世界60カ国以上、12.5万人に読まれているAIPH（国際園芸家協会）が母体の国際的な花業界誌『Floriculture International』4月号（4/8発行／WEB版のみ）にて、「サステナブルパッケージング」特集にあたり、日本の取り組みとして well-blooming project の活動をご紹介いただく。

https://aiph.org/floriculture/latest-edition/?utm_source=newsletter&utm_medium=email&utm_campaign=fcinewmagapril25&utm_id=fcinewmagapril25



30ページにわたるサステナ特集
p.42-43に掲載
「花エコ資材カタログvol.1」と
花店における取り組みが紹介される

JAPAN

NEW THINKING ON FLOWER PACKAGING IN JAPAN

Sustainability in packaging is still a developing conversation in Japan's flower industry—but initiatives like the Well-blooming Project are opening the door to more mindful, eco-conscious practices.

In Japan, the floriculture sector is taking thoughtful steps toward more sustainable packaging, focusing on **practical, incremental change** and strong consumer engagement. The Flowering Japan Council—a voluntary alliance of growers, wholesalers, and retailers—has launched the Well-blooming Project to guide the industry away from single-use plastics and toward more environmentally conscious alternatives. The movement is being shaped by retail realities, with efforts currently centered on packaging that reaches consumers directly. Many flower retailers are now questioning the use of petroleum-based materials, though the transition has been uneven. While some embrace sustainability, others remain uncertain about where to begin. The Well-blooming Project aims to bridge this gap with education, product testing, and collaborative innovation.

A CATALOGUE FOR PRACTICAL CHANGE
A central part of this initiative is the newly released Floral Eco Materials Catalogue Vol.1, a visual and accessible guide to greener packaging materials. It acknowledges that Japan still has relatively few eco-friendly options available, but encourages retailers to actively request better alternatives from suppliers. The catalogue is designed to evolve with industry input, gradually expanding its offerings based on market demand and shared ideas.

EXPLORING ALTERNATIVES: FROM PAPER TO BIOMASS
Current proposals include paper-based solutions such as polyethylene-coated paper cups and bouquet sleeves, packaging made from recycled milk cartons, and hybrid options that reduce plastic use by combining it with paper. There are also FSC-certified paper sleeves, recycled artificial flowers, and ribbons made from repurposed denim and paper. Even biodegradable floral foam makes an appearance. Meanwhile, biomass-derived plastics are being explored for sleeves and shopping bags, with attention also being paid to materials used in vases—some now blended with corn or bamboo powder.

UPSTREAM: WHOLESALE WASTE AND DISTRIBUTION CHALLENGES
Beyond retail, wholesalers are confronting their own environmental challenges, particularly the large-scale disposal of plastic water buckets and pot trays. Hence, efforts are focused on reducing usage, efficiently reusing materials, and establishing closed-loop recycling systems. Future progress is expected to be shaped by

JAPAN

JAPAN'S FLORAL ECO MATERIALS AT A GLANCE

Here is a snapshot from the Well-blooming Project's sustainable packaging catalogue

- Challenge to "Paperisation"**
Paper cups for floral arrangements
Ready-made bouquet sleeves made from polyethylene-coated paper
Gift boxes crafted from recycled milk carton paper
Hybrid sleeves that reduce plastic use by 50% using paper backing
- Wrapping Reimagined with Paper & Recycled Materials**
FSC-certified paper sleeves supporting responsible forestry
Artificial flowers and greenery made from recycled materials
Ribbons made from recycled paper and leftover denim from clothing manufacture
- Plastic Reduction Through Biomass Innovation**
Marine biodegradable shopping bags
Sleeves containing ten to 30 per cent plant-derived biomass in blends with polyethylene or polypropylene
Educational focus on the "4Rs": Refuse, Reduce, Reuse, Recycle
- Eco-Friendly Vase and Box Materials**
Vases blended with corn or bamboo powder
Clear presentation boxes made from recycled PET bottles

'RETAILERS ARE NOW QUESTIONING THE USE OF PETROLEUM-BASED MATERIALS, BUT THEY'RE NOT ALWAYS SURE WHERE TO BEGIN'

regulatory guidance from Japan's Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries and the Ministry of the Environment.

CONSUMERS SHOW THE WAY
One of the most striking features of the Well-blooming Project is its effort to bring consumers into the conversation. In late 2024, a nationwide campaign, "Well-blooming to Days Challenge: Reduce Single-Use Wrapping", was conducted across 400 flower shops. A consumer survey held during the campaign found that 70 per cent of respondents—frequent flower buyers from across Japan—wanted to support florists who take sustainability seriously. Many expressed the belief that because flowers are a gift of nature, flower shops should play an active role in protecting the environment.

COST REMAINS A BARRIER—BUT ALSO AN OPPORTUNITY
Despite the ongoing challenge of higher costs for sustainable materials, early adopters have reported that switching to paper-based alternatives, streamlining product selections, and eliminating waste can reduce expenses over time. Consumer understanding and support will be vital in reinforcing these transitions, helping flower retailers move away from outdated practices.

LOOKING AHEAD TO GREEN X EXPO 2027
A significant milestone on the horizon is GREEN X EXPO 2027, the AIPH-Approved International Horticultural Expo to be held in Yokohama. The Flowering Japan Council is aligning its efforts with the expo's vision, aiming to showcase a new, environmentally responsible framework for the floral industry—one that can serve as a model for global peers and a lasting legacy for future generations.